

Honeywell

Vuquest™ 3310g

エリアイメージングスキャナ

ユーザーガイド

免責事項

Honeywell International Inc. (以下、ハネウエル社)は、本書に記載された仕様およびその他の情報を事前に断り無く変更することがあります。何か変更があったかどうかを確認するときは、かならずハネウエル社にお問い合わせください。本書の情報について、ハネウエル社では一切の保証をいたしません。

本書に技術的または編集上の誤りや記載漏れがあった場合、また本書の内容の保管、実施、あるいは使用の結果生じた事故や損害については、ハネウエル社では一切の責任を負いません。

本書には著作権で保護された情報が含まれ、著作権法の対象となります。本書のどの部分も、ハネウエル社の文章による事前承諾を得ずに複製、編集、または多言語への翻訳を行うことはできません。

© 2011 Honeywell International Inc. All rights reserved.

本書に記載されたその他の製品名やマークは各社の商標または登録商標である可能性があり、それぞれ所有者が権利を有しています。

ウェブアドレス: www.honeywellaidc.com

Microsoft® Windows®, Windows NT®, Windows 2000, Windows ME, Windows XP, ならびにWindowsロゴはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。本書に記載されたその他の製品名やマークは各社の商標または登録商標である可能性があり、それぞれ所有者が権利を有しています。

Vuquest 3310製品のコンプライアンス情報

アメリカ向け

FCCパート15サブパートBクラスB適合について

この装置はFCC規制のパート15に適合しており、動作は次の二つの条件を満たしています。

- 1.妨害を引き起こさない。
- 2.好ましくない動作の原因となる干渉を含め、受けたあらゆる妨害に耐える。

この装置はFCC規制のパート15に準拠するクラスBデジタル機器に対する制限に適合することがテストで確認されています。これらの規制は、居住地域に設置した時に妨害を適切に防止できるように設定されています。この装置はラジオ周波数のエネルギーを発生、使用、また場合によって放射します。指示通りに設置して使用しなければ、ラジオ受信を妨害することがあります。ただし、ここの設置例で妨害が起きないという保証はありません。この装置がラジオやテレビ受信への妨害の原因になった場合、妨害しているかどうかは装置のオン/オフにて確認可能です。使用者は以下の対策を一つまた複数試して妨害を解消してください。

- 受信アンテナの方向または位置を変える。
- 装置と受信機の間を離す。
- 装置を受信器とは別の回路のコンセントに接続する。
- 販売店あるいは経験のあるラジオ・テレビ技術者に相談する。

必要な場合には、販売店もしくは経験のあるラジオやテレビの技術者にさらなるアドバイスをお受けください。また、「インターフェースについて」というブックレットもご参照ください。これはFCCの現地オフィスにて入手可能です。ハネウェル社は統制品の無断の変更やハネウェル社からの指定を受けていない接続ケーブルや機器の置換や取り付けによるラジオやテレビへの妨害についての責任を負いません。その処理はユーザー様のご責任となります。

このシステムにはシールドデータケーブルをお使いください。この装置は3メートル以下のケーブルでテスト済みです。3メートル以上のケーブルはクラスBに適合しない場合があります。

注：ハネウェル社から明確に認可されていない変更や修正を機器に対して行った場合は、FCCからのこの機器操作への保障対象外になることもあります。

ULについて

ULはUL60950-1に適合しています。

カナダ

Industry Canada ICES-003

このクラスBデジタル装置はCanadian ICES-003に対応しており、動作は次の二つの条件を満たしています。

1. 妨害を引き起こさない
2. 好ましくない動作の原因となる干渉を含め、受けたあらゆる妨害に耐える。

Conformité à la réglementation canadienne

Cet appareil numérique de la Classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada. Son fonctionnement est assujéti aux conditions suivantes :

1. Cet appareil ne doit pas causer de brouillage préjudiciable.
2. Cet appareil doit pouvoir accepter tout brouillage reçu, y compris le brouillage pouvant causer un fonctionnement indésirable.

cULについて

cULはCSA C22.2 No.60950-1-07に適合しています。

ヨーロッパ



製品についているCEマークはEN55022 CLASS B、EN55024、EN61000-3-2、EN61000-3-3基準による2004/108/EC EMC Directiveに適合していることを示しています。
また、推奨される電源で出荷されている場合は2006/95/EC Low Voltage Directiveに適合しています。

詳細については、以下にお問い合わせください。
Honeywell Imaging & Mobility Europe BV
Nijverheidsweg 9-13
5627 BT Eindhoven
The Netherlands

ハネウェル社は、当社の製品をCEマークがなく、Low Voltage Directiveに適合しない機器（電源装置、パーソナルコンピュータなど）と使用された場合の一切の責任を負いません。

廃電気電子機器について

ハネウェル製品は2003年1月27日の廃電気電子機器（WEEE）指令、2002/96/EC OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND OF THE COUNCILに適合しています。

この製品は製造に付、天然資源の抽出と使用を求められていますが、この製品には、適切に処理しなければ、健康と環境に影響を及ぼす恐れのある有害物質が含まれている場合があります。

有害物質が環境に散布されないよう、また天然資源に対する圧力を軽減するため、製品の廃棄には適切な回収システムを利用されることをお勧めします。そのような回収システムでは、安全な方法で廃棄される製品のほとんどの材料が再利用またはリサイクルされます。



車輪付きゴミ箱にバツ印が付いた記号は、製品を都市ごみと共に廃棄してはならないことを示すものであり、製品の廃棄には適切な分別回収システムの利用が望まれるものです。収集、再利用、およびリサイクルの各システムの詳細が必要な場合は、地方自治体の廃棄物管理局にお問い合わせください。

また、この製品の環境パフォーマンスの詳細については、購入先にお問い合わせください。

ドイツ



お使いの製品にGSマークが付いている場合は、その製品がGS認証を受け、EN60950-1, Second Editionに適合していることを示しています。

韓国



この製品は韓国機関認証です。

台湾

お使いの製品に以下のマークが付いている場合は、その製品は台湾機関で認証されています。



BSMI基準: CNS13438, CNS14336-1

依據標準: CNS13438, CNS14336-1

世界各国向け

LEDの安全性について

試験の結果、IEC 62471:2006に従って、この装置は「免除されたリスクグループ」に分類されました。

CBスキーム

CBスキームのIEC 60950-1, Second Editionに適合しています。

特許

特許の一覧については、製品パッケージを参照のこと。

防塵防水

Vuquest 3310はIP53保護等級で、外部粒子と水滴に対して耐性があります。

警告



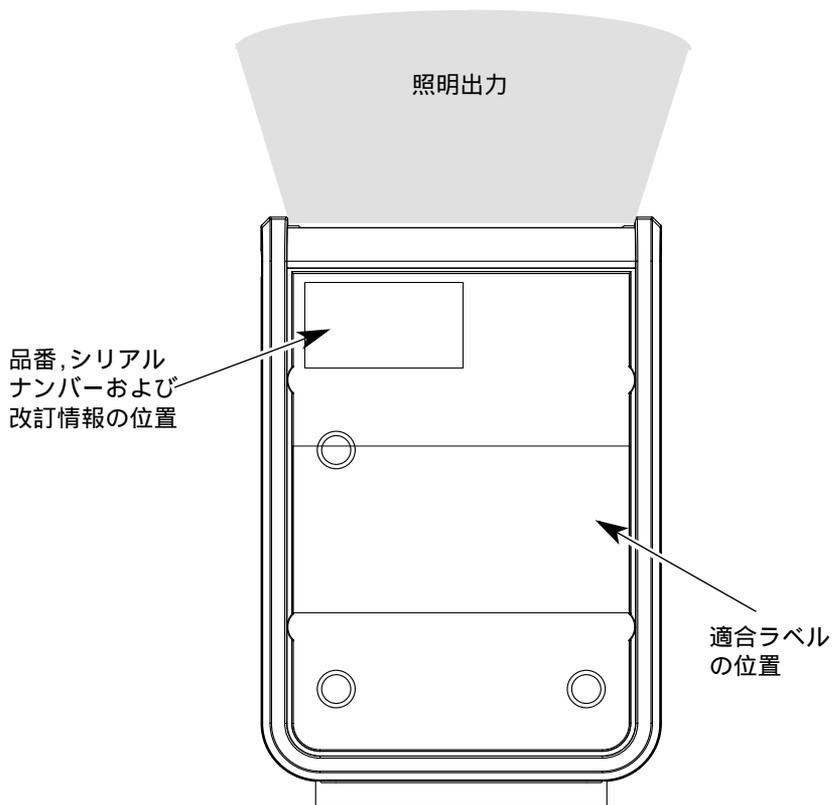
熱などによるけがの可能性を低減するために、スキャナの温度の高い部分に触らないでください。

注意



オプションの電源を持ったイメージャーに電源供給しない場合、基準順守を維持するために、制限電源または5 - 5.2 Vdc、最小1.0 Aのクラス2の適用可能な必要条件を満たさなければいけません。

求められる安全ラベル スキャナ



目次

第1章 - はじめに

本マニュアルについて.....	1-1
製品の開梱.....	1-1
接続.....	1-1
USBでの接続.....	1-1
キーボードウェッジでの接続.....	1-2
RS232シリアルポートでの接続.....	1-3
読取方法.....	1-4
メニューバーコードのセキュリティ設定.....	1-4
カスタムデフォルトの設定.....	1-5
カスタムデフォルトの再設定.....	1-5
初期設定の再設定.....	1-6

第2章 - インターフェースの設定

はじめに.....	2-1
インターフェースの設定 - プラグ&プレイ.....	2-1
キーボードウェッジ.....	2-1
ラップトップとの直接接続.....	2-1
RS232 シリアルポートの場合.....	2-2
IBM SurePos USBの場合.....	2-2
USBもしくはマッキントッシュキーボードの場合.....	2-3
USB HIDの場合.....	2-3
USB シリアルの場合.....	2-3
Verifone® Ruby 端末の初期設定.....	2-4
Gilbarco® 端末の初期設定.....	2-5
Honeywell 2面式カウンタースキャナ の補助ポート設定.....	2-5
Datalogic™Magellan© 2面式カウンター スキャナの補助ポート設定.....	2-6
NCR 2面式カウンタースキャナの補助ポート設定.....	2-6
Wincor Nixdorf 端末の初期設定.....	2-7
WincorNixdorfBeetle™ 端末の初期設定.....	2-7
国別キーボード.....	2-8
キーボードスタイル.....	2-15

キーボード転換.....	2-16
コントロールキャラクタの出力.....	2-17
キーボード調節.....	2-17
RS-232 ボーレート.....	2-20
RS-232 ワード長：データビット、ストップビット、 パリティ.....	2-21
RS-232 レシーバタイムアウト.....	2-22
RS-232 ハンドシェイク.....	2-22
RS232 タイムアウト.....	2-23
XON/XOFF.....	2-23
ACK/NAK.....	2-23
スキャナから2面式カウンタースキャナへの通信....	2-24
スキャナ-2面式カウンタースキャナパケットモード.....	2-24
スキャナ-2面式カウンタースキャナACK/NAKモード.....	2-25
スキャナ-2面式カウンタースキャナACK/NAKタイムアウト..	2-25

第3章 - 入力/出力 設定

起動ブザー.....	3-1
ブザーオンBELキャラクタ.....	3-1
トリガークリック.....	3-1
グッドリードインジケータ.....	3-2
ブザー - グッドリード.....	3-2
ブザー音量 - グッドリード.....	3-2
ブザーピッチ - グッドリード.....	3-3
ブザーピッチ - エラー.....	3-3
ブザー長 - グッドリード.....	3-3
LED - グッドリード.....	3-4
ブザー回数 - グッドリード.....	3-4
ブザー回数 - エラー.....	3-4
グッドリードディレイ.....	3-5
ユーザ指定のグッドリードディレイ.....	3-5
マニュアルトリガーモード.....	3-5
シリアルトリガーモード.....	3-6
リードタイムアウト.....	3-6
プレゼンテーションモード.....	3-6
デコード後のプレゼンテーションLEDの動作.....	3-7

プレゼンテーション感度.....	3-7
プレゼンテーションセンタリング.....	3-7
CodeGate [®]	3-9
ストリーミングプレゼンテーション™モード.....	3-10
携帯電話読取モード.....	3-10
画像撮影と送信.....	3-11
ハンズフリータイムアウト.....	3-11
リリードディレイ.....	3-11
ユーザー設定のリリードディレイ.....	3-12
照明ライト.....	3-12
エイマーディレイ.....	3-13
ユーザー設定のエイマーディレイ.....	3-13
スキャナタイムアウト.....	3-13
エイマーモード.....	3-14
センタリング.....	3-14
優先シンボル.....	3-16
優先度高シンボル.....	3-17
優先度低シンボル.....	3-17
優先度シンボルのタイムアウト.....	3-17
優先度シンボルのデフォルト.....	3-18
アウトプットシーケンスの概要.....	3-18
アウトプットシーケンス条件.....	3-18
アウトプットシーケンスのエディタ.....	3-18
アウトプットシーケンスの追加.....	3-19
他のプログラミング設定.....	3-19
アウトプットシーケンスエディタ.....	3-21
パーシャルシーケンス.....	3-21
アウトプットシーケンス条件.....	3-22
マルチプルシンボル.....	3-22
No Read.....	3-23
ビデオリバーズ.....	3-23
読取方向.....	3-24

第4章 - データ編集

プレフィックス/サフィックスについて.....	4-1
-------------------------	-----

プレフィックスまたはサフィックスの追加手順.....	4-1
1つまたはすべてのプレフィックス・サフィックスの削除....	4-2
キャリッジリターンサフィックスを全シンボルに追加する...	4-3
プリフィックスの選択.....	4-3
サフィックスの選択.....	4-4
ファンクションコード送信.....	4-4
キャラクタ間、フィクション間、および	
メッセージ間ディレイ.....	4-4
キャラクタ間ディレイ.....	4-5
ユーザー指定のキャラクタ間ディレイ.....	4-5
ファンクション間ディレイ.....	4-6
メッセージ間ディレイ.....	4-6

第5章 - データフォーマット

データフォーマットエディタについて.....	5-1
データフォーマットの追加.....	5-1
他のプログラム設定.....	5-3
ターミナルID表.....	5-4
データフォーマットエディタコマンド.....	5-4
移動コマンド.....	5-6
検索コマンド.....	5-6
その他のコマンド.....	5-8
データフォーマッタ.....	5-9
データフォーマット非適合エラーブザー.....	5-10
基準/代用データフォーマット.....	5-11
シングルスキャンデータフォーマット変更.....	5-11

第6章 - 外部 入力/出力

外部入力.....	6-1
外部トリガーコントロール.....	6-1
外部トリガー極性.....	6-1
外部トリガーパラメータ.....	6-2
外部出力.....	6-4
外部照明コントロール.....	6-4

外部照明パラメータ.....	6-5
外部照明図.....	6-6

第7章 - シンボル

全シンボル.....	7-2
読取桁数について.....	7-2
Codabar.....	7-3
Codabar連結機能.....	7-4
Code 39.....	7-6
Code 32 Pharmaceutical (PARAF).....	7-8
Full ASCII.....	7-9
Code 39コードページ.....	7-9
Interleaved 2 of 5.....	7-10
NEC 2 of 5.....	7-12
Code 93.....	7-14
Code 93コードページ.....	7-15
Straight 2 of 5 Industrial (three-bar start/stop).....	7-16
Straight 2 of 5 IATA (two-bar start/stop).....	7-17
Matrix 2 of 5.....	7-18
Code 11.....	7-19
Code 128.....	7-20
ISBT 128連結機能.....	7-20
Code 128コードページ.....	7-22
GS1-128.....	7-23
Telepen.....	7-24
UPC-A.....	7-25
拡張クーポンコード付UPC-A/EAN-13.....	7-27
クーポンGS1 DataBar出力.....	7-28
UPC-E0.....	7-28
UPC-E1.....	7-31
EAN/JAN-13.....	7-31
ISBN変換.....	7-33
EAN/JAN-8.....	7-34
MSI.....	7-36
GS1 DataBar Omnidirectional.....	7-38

GS1 DataBar Limited.....	7-38
GS1 DataBar Expanded.....	7-39
Trioptic Code.....	7-40
Codablock A.....	7-40
Codablock F.....	7-42
PDF417.....	7-43
MicroPDF417.....	7-44
GS1 Compositeコード.....	7-45
UPC/EAN Version.....	7-45
GS1エミュレーション.....	7-46
TCIF Linked Code 39(TLC39).....	7-47
QRコード.....	7-47
QRコードページ.....	7-48
Data Matrix.....	7-49
Data Matrixコードページ.....	7-49
Maxiコード.....	7-51
Aztecコード.....	7-52
Aztecコードページ.....	7-53
中国(Han Xin = 漢信)コード.....	7-54
郵便コード - 2D.....	7-55
2D郵便コード (単独).....	7-55
2D郵便コード (組み合わせ).....	7-56
郵便コード - 1次元バーコード.....	7-59
中国郵政 (Hong Kong 2 of 5).....	7-59
韓国郵政.....	7-61

第8章 - イメージングコマンド

シングル使用ベース.....	8-1
コマンドシンタックス.....	8-1
イメージスナップ - IMGSNP.....	8-2
IMGSNPモディファイ.....	8-2
画像送信 - IMGSHF.....	8-5
IMGSHFモディファイ.....	8-5
インテリジェント署名取り込み - IMGBOX.....	8-14
署名取り込みの最適化.....	8-14
IMGBOXモディファイ.....	8-15

RF初期設定のイメージングデバイス.....	8-19
------------------------	------

第9章 - インターフェースキー

キーボードファンクションの対応.....	9-1
サポートされているインターフェースキー.....	9-3

第10章 - ユーティリティ

全シンボルへのテストコードIDプレフィックス追加..	10-1
デコーダの改訂情報表示.....	10-1
読取ドライバの改訂情報表示.....	10-1
ソフトウェアの改訂情報表示.....	10-1
データフォーマットの表示.....	10-2
テストメニュー.....	10-2
TotalFreedom.....	10-2
アプリケーションのプラグイン (Apps).....	10-3
EZConfigについて.....	10-3
ウェブからのEZConfigのインストール.....	10-4

第11章 - シリアルプログラミングコマンド

記述上の語句.....	11-1
メニューコマンドシンタックス.....	11-1
質問コマンド.....	11-2
レスポンス.....	11-3
トリガーコマンド.....	11-4
標準の製品初期設定のリセット.....	11-4
メニューコマンド.....	11-5

第12章 - 製品仕様

3310スキャナ製品仕様.....	12-1
分解能.....	12-2
標準性能.....	12-2
マウント仕様.....	12-3
マウントガイドライン.....	12-4
標準ケーブルピンアウト.....	12-5

キーボードウェッジ.....	12-5
シリアルアプット.....	12-6
USB.....	12-7

第13章 - 保守

修理.....	13-1
保守.....	13-1
機器の清掃.....	13-1
ウインドウの清掃.....	13-1
ヘルスケア筐体.....	13-1
ケーブルとコネクタの点検.....	13-2
ケーブルの交換.....	13-2
インターフェースケーブルの交換.....	13-3
トラブルシューティング.....	13-3

第14章 - カスタマーサポート

第15章 - 付録チャート

シンボルチャート.....	15-1
ASCII変換チャート(Code Page 1252).....	15-4
印刷バーコードのコードページマッピング.....	15-6
ユニコードキーマップ.....	15-8
サンプルシンボル.....	
プログラミングチャート.....	

本マニュアルについて

本ユーザーズガイドでは、Vuquest™3310エリアイメージングスキャナのインストールとプログラム設定の手順について説明しています。また、製品の仕様、外形寸法、保証内容およびカスタマーサポートに関する情報も含まれています。

ハネウェル社のバーコードスキャナは工場出荷時にアメリカ市場における一般的な端末および通信装置用にプログラム設定されています。設定変更が必要な場合は、本書記載のバーコードを読み取ってプログラム設定してください。

アスタリスク(*)がついているオプションは工場出荷時の設定を示しています。

製品の開梱

梱包箱開封後、以下の手順に従ってください。

- 出荷時の損傷がないか、確認します。損傷があった場合は、すみやかに配送した運送会社へ連絡してください。
- 箱の中身に間違いがないか確認します。
- 返却もしくは保管用に、梱包箱はそのまま保管ください。

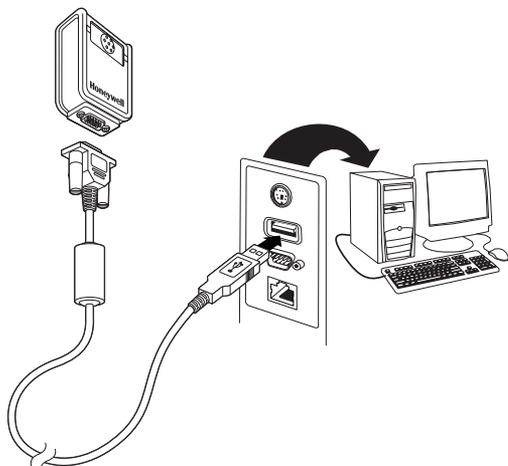
接続

USBで接続

スキャナをコンピュータのUSBポートに接続できます。

1. まず、適切なインターフェースケーブルと接続し、次にコンピュータと接続します。

スキャナのUSB
接続



2. スキャナからピーという音がします。
3. 本書記載の**サンプルシンボル**ページにあるバーコードを読み取り、スキャナの動作を確認してください。

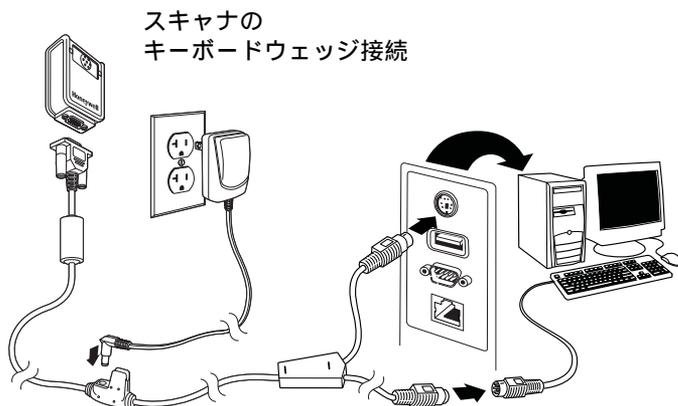
この機器はPCのUBSキーボードように初期設定されています。その他のUSB端末との接続については本書の**2-3ページ**を参照ください。

その他のUSBプログラム設定と技術情報についてはwww.honeywellaidc.comの「USB Application Note」をご参照ください。

キーボードウェッジでの接続

スキャナはキーボードとコンピュータの間を、「キーボードウェッジ」で接続できます。他にもシリアルポートとの接続や、ワンドエミュレーション・モードや非デコード出力モードでポータブルデータ端末に接続できます。以下はキーボードウェッジ接続の一例です。

1. 端末/コンピュータの電源をオフにし、裏側のキーボードケーブル接続をはずします。
2. 適切なインターフェースケーブルを当機器および端末/コンピュータに接続します。



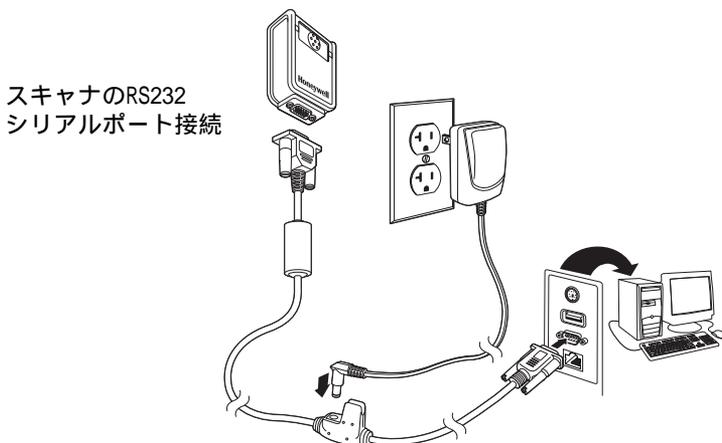
3. 端末/コンピュータの電源をオンにします。スキャナからピーッという音がします。
4. 本書記載の**サンプルシンボル**ページにあるバーコードを読み取り、スキャナの動作を確認してください。スキャナからピーッという音がします。

お使いのスキャナは、IBM PC AT互換機での米国キーボードウェッジ・インターフェース用に設定されています。バーコードデータにはキャリッジリターン（CR）がサフィックスが追加されます。

RS232シリアルポートでの接続

1. 端末/コンピュータの電源をオフにします。
2. 適切なインターフェースケーブルをスキャナに接続します。

注：スキャナが正常に作動するように、お使いの端末/コンピュータに適したケーブルをご用意ください。



3. シリアルコネクタをコンピュータのシリアルポートに差し込みます。
2本のネジを締めてコネクタをポートに固定します。
4. スキャナの接続が完了したら、コンピュータの電源を入れます。

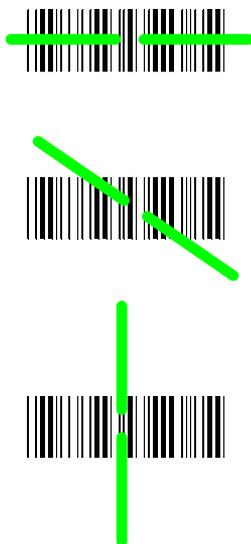
このインターフェースはボーレート115,200、8データバイト、パリティなし、1ストップビットに設定されています。

注：フェライトコアあるほうをスキャナに接続してください。
ケーブルの端に「DO NOT connect this end to the bar code scanner」
のほうをコンピュータに接続してください。

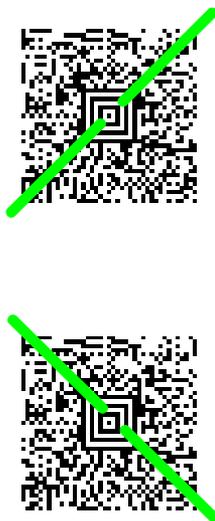
読取方法

スキャナには、スキャナの横方向の視界に相当する明るい緑のエイミングビームを投射するビューファインダがあります。エイミングビームは、バーコードの中央に合わせてください。ただし、読み取りやすくするためにどの方向にしてもかまいません。

Linear bar code



2D Matrix symbol



エイミングビームは、イメージャがバーコードに近づくと小さくなり、遠ざかると大きくなります。バーまたはエレメントが小さなシンボル（ミルサイズ）はイメージャを近づけて読み取り、大きなシンボル（ミルサイズ）は離して読み取ってください。1個または複数のシンボル（1ページまたは1個の物体）を読み取るときは、目標から適切な距離でイメージャを保持し、トリガを引き、エイミングビームをシンボルの中心に合わせてください。読み取るバーコードの反射が大きい場合は（ラミネートされている場合など）、無用な反射を避けるため、バーコードを15°～18°傾けることが必要な場合があります。

メニューバーコードのセキュリティ設定

ハネウェル社のスキャナ製品はメニューバーコードを読み取るか、シリアルコマンドを送るよう設計されています。メニューコード読み取りを規制したい場合は、メニューバーコードのセキュリティ設定をご利用可能です。詳しくは、お近くのテクニカルサポートオフィス(14-1ページの[テクニカルサポート](#)を参照)にご連絡ください。

カスタムデフォルトの設定

お客様自身のカスタムデフォルトのメニューコマンドをお作りになることができます。そのためには、以下の保存したいメニューコマンドもしくはシーケンスの前に**Set Custom Defaults**バーコードを読み取ってください。コマンドが裏表紙から数字のコードを読み取る必要がある場合は、そのあとに、**Save**のコードを読み取れば、シーケンス全体がカスタムデフォルトとして保存されます。次のカスタムデフォルトのためのコマンドを保存する前に**Set Custom Defaults**コードを再度読み取ります。

保存したいカスタムデフォルトをすべて入力したあと、**Save Custom Defaults**バーコードを読み取ります。



MNUCDF.
Set Custom Defaults



MNUCDS.
Save Custom Defaults

複数のカスタムデフォルトがあり、そのうち1つの設定を変えたい場合は、古い設定を上書きするだけです。例えば、ブザーボリュームをカスタムデフォルトでは低に設定しており、高に設定しようと思う場合、**Set Custom Defaults**バーコードを読み取り、それからBeeper Volume Highコードを読み取った後に**Save Custom Defaults**を読み取るだけです。他のカスタムデフォルトは残り、ブザーボリューム設定は更新されます。

カスタムデフォルトの再設定

ご使用のスキヤナでカスタムデフォルトを修復したい場合、**Activate Custom Defaults**バーコードを読み取ってください。これはスキヤナの設置をカスタムデフォルト設定に再設定するものです。カスタムデフォルトがない場合は、工場出荷時の初期設定値になります。カスタムデフォルトによって指定されていない設定はすべて工場出荷時設定になります。



DEFAULT.
Activate Custom Defaults

初期設定の再設定

 これを選択するとスキャナの設定を消去し、もともとの工場出荷時の初期設定値に再設定されます。またすべてのプラグインも消去されます。お使いのスキャナのプログラミングオプション状態が分からない場合やオプションを変更し、スキャナの工場出荷時初期設定を修復したい場合は、まず **Remove Custom Defaults** バーコードを読み取った後、**Activate Defaults** バーコードを読み取ります。これでスキャナの工場出荷時設定に再設定されます。



DEFOVR.

Remove Custom Defaults



DEFAULT.

Activate Defaults

11-5ページからのメニューコマンド表には各コマンドの初期設定値がリストアップされています。(設定ページのアスタリスク(*)で表示)

インターフェースの設定

はじめに

この章では、最適なインターフェースのためのシステム設定についてご紹介します。

インターフェースの設定 - プラグ&プレイ

プラグ&プレイバーコードにより一般的に用いられるインターフェース向けの簡易スキャナセットアップを行うことができます。

注： コードの1つを読み取った後、ホスト端末インターフェースを有効にするため、再起動する必要があります。

キーボードウェッジ

ご使用のシステムをIBM PC AT互換機やアメリカ向けのキーボードと互換性のあるキーボードウェッジインターフェースで設定される場合は、以下のバーコードを読み取ってください。キーボードウェッジは初期設定のインターフェースです。

注： 以下のバーコードはキャリッジ・リターン (CR) サフィックスも設定します。



PAP_AT.

IBM PC AT and Compatibles with
CR suffix

ラップトップとの直接接続

ほとんどのラップトップの場合、**Laptop Direct Connect**バーコードを用いれば、必須キーボードとの同時操作が可能になります。以下の**Laptop Direct Connect**バーコードもまたキャリッジ・リターン (CR) サフィックスの設定を行い、外付けキーボード ([2-16ページ](#)) の使用をオンにします。



PAPLTD.

Laptop Direct Connect
with CR suffix

RS232 シリアルポートの場合

RS232 Interfaceバーコードはパソコンもしくは端末のシリアルポートとの接続に用います。RS232 Interfaceバーコードもキャリッジ・リターン (CR) やラインフィード (LF) サフィックス、ならびに以下で示されるようなボーレートやデータフォーマット設定を行います。またトリガーモードもマニュアルに変更します。

オプション	設定
ボーレート	115,200 bps
データフォーマット	8データバイト、パリティビットなし、1ストップビット



PAP232.

RS232 Interface

IBM SurePos USBの場合

以下の「プラグ&プレイ」コードのうち一つを読み取り、IBM SurePos (USB handheldスキャナ) もしくは IBM SurePos (USB tabletopスキャナ) インターフェースとのスキャナ設定を行ってください。

注: コード読取の後、キャッシュレジスターを再起動して、インターフェースを有効にしてください。



PAPSPH.

USB IBM SurePos
(USB Handheld Scanner)
Interface



PAPSPT.

USB IBM SurePos
(USB Tabletop Scanner)
Interface

上記の各バーコードはそれぞれのシンボルに対するサフィックスも設定します。

シンボル	サフィックス	シンボル	サフィックス
EAN 8	0C	Code 39	00 0A 0B
EAN 13	16	Interleaved 2 of 5	00 0D 0B
UPC A	0D	Code 128	00 18 0B
UPC E	0A	Code 39	00 0A 0B

USBもしくはマッキントッシュキーボードの場合

以下のコードのうち一つを読み取り、パソコンキーボードのUSBもしくはマッキントッシュキーボードUSBとのスキャナ設定を行ってください。これらのコードを読み取ると、CRならびにLFも追加されます。



PAP124.
USB Keyboard (PC)



PAP125.
USB Keyboard (Mac)



TRMUSB134.
USB Japanese Keyboard (PC)

USB HIDの場合

以下のコードのうち一つを読み取り、USB HIDバーコードスキャナのスキャナ設定を行ってください。



PAP131.
USB HID Bar Code Scanner

USB シリアルの場合

以下のコードを読み取り、標準のRS232ベースのCOMポートにエミュレートするようスキャナを設定してください。お客様がMicrosoft® Windows® のパソコンをお使いの場合はハネウェルウェブサイトからドライバをダウンロードしていただく必要があります。www.honeywellaidc.com。このドライバには以下のCOM Port番号を 사용합니다。Apple® MacintoshコンピュータはスキャナをUSB CDCクラスデバイスと見なし、クラスドライバを自動的に用います。



TRMUSB130.
USB Serial

注： その他の機器構成（ボーレートなど）は必要ありません。

CTS/RTS Emulation



USBCTS1.
CTS/RTS Emulation On



USBCTS0.
* CTS/RTS Emulation Off

ACK/NAK Mode



USBACK1.
ACK/NAK Mode On



USBACK0.
* ACK/NAK Mode Off

Verifone® Ruby 端末の初期設定

Verifone Ruby端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキヤナを設定してください。このバーコードはボーレートを1200bps、データフォーマットを8データビット、パリティビットなし、1ストップビットにします。また、ラインフィード (LF) サフィックスならびに各シンボル用に以下のようなプレフィックス設定を行います。

シンボル	プリフィックス
UPC-A	A
UPC-E	A
EAN-8	FF
EAN-13	F



PAPERBY.
Verifone Ruby Settings

注： もしこのプログラムコードで期待しない結果になった場合は、[1-6ページ](#)のActivate Defaultsバーコードを読み取って、上のプログラミン
グコードを読み取ります。

Gilbarco® 端末の初期設定

Gilbarco端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを2400bpsに、データフォーマットを7データビット、偶数パリティビット、2ストップビットにします。また、キャリッジ・リターン（CR）サフィックスならびに各シンボルに以下のようなプレフィックス設定を行います。

シンボル	プリフィックス
UPC-A	A
UPC-E	E0
EAN-8	FF
EAN-13	F



PAPGLB.

Gilbarco Settings

注： もしこのプログラムコードで期待しない結果になった場合は、[1-6 ページ](#)のActivate Defaultsバーコードを読み取って、上のプログラミングコードを読み取ります。

Honeywell 2面式カウンタースキャナの補助ポート設定

Honeywell2面式カウンタースキャナの補助ポート構成の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを38400bps、データフォーマットを8データビット、パリティビットなし、1ストップビットにします。



PAPBIO.

Honeywell Bioptic Settings

注： もしこのプログラムコードで期待しない結果になった場合は、[1-6 ページ](#)のActivate Defaultsバーコードを読み取って、上のプログラミングコードを読み取ります。

Datalogic™ Magellan® 2面式カウンタースキャナの 補助ポート設定

Datalogic Magellan2面式カウンタースキャナの補助ポート構成の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを38400bps、データフォーマットを8データビット、パリティビットなし、1ストップビットにします。



PAPMAG.

Datalogic Magellan Bioptic Settings

注： もしこのプログラムコードで期待しない結果になった場合は、1-6ページのActivate Defaultsバーコードを読み取って、上のプログラミングコードを読み取ります。

NCR 2面式カウンタースキャナの補助ポート設定

NCR2面式カウンタースキャナの補助ポート構成の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。各シンボル用に以下のようなプレフィックス設定も行います。

シンボル	プリフィックス	シンボル	プリフィックス
UPC-A	A	Code 39	B1
UPC-E	E0	Interleaved 2 of 5	B2
EAN-8	FF	All other bar codes	B3
EAN-13	F		



PAPNCR.

NCR Bioptic Settings

注： もしこのプログラムコードで期待しない結果になった場合は、1-6ページのActivate Defaultsバーコードを読み取って、上のプログラミングコードを読み取ります。

Wincor Nixdorf 端末の初期設定

Wincor Nixdorf端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを9600bps、データフォーマットを8データビット、パリティビットなし、1ストップビットに設定します。



PAPWNX

Wincor Nixdorf Terminal Settings

注： もしこのプログラムコードで期待しない結果になった場合は、[1-6 ページ](#)のActivate Defaultsバーコードを読み取って、上のプログラミングコードを読み取ります。

Wincor Nixdorf Beetle™ 端末の初期設定

Wincor Nixdorf Beetle端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを115200bps、データフォーマットを8データビット、パリティビットなし、1ストップビットに設定します。各シンボル用に以下のようなプレフィックス設定も行います。

シンボル	プリフィックス	シンボル	プリフィックス
Code 128	K	EAN-13	A
Code 93	L	GS1-128	P
Codabar	N	Interleaved 2 of 5	I
UPC-A	A0	Straight 2 of 5 IATA	H
UPC-E	C	All other bar codes	M
EAN-8	B		



PAPBTL

Wincor Nixdorf Beetle Settings

注： もしこのプログラムコードで期待しない結果になった場合は、[1-6 ページ](#)のActivate Defaultsバーコードを読み取って、上のプログラミングコードを読み取ります。

国別キーボード

以下から該当する国コードを読み取り、自国もしくは自言語用のキーボードを設定します。原則として、以下の記号をサポートしますが、米国以外の国では特別な留意が必要です。

@ | \$ # { } [] = / ' \ < > ~



KBDCTY0.

* United States



KBDCTY88.

United States (Dvorak left)



KBDCTY30.

United States (International)



KBDCTY81.

Azeri (Cyrillic)



KBDCTY82.

Belarus



KBDCTY33.

Bosnia



KBDCTY87.

United States (Dvorak)



KBDCTY89.

United States (Dvorak right)



KBDCTY35.

Albania



KBDCTY80.

Azeri (Latin)



KBDCTY1.

Belgium



KBDCTY16.

Brazil

国別キーボード（続き）



KBDCTY52.
Bulgaria (Cyrillic)



KBDCTY54.
Canada (French legacy)



KBDCTY55.
Canada (Multilingual)



KBDCTY15.
Czech



KBDCTY39.
Czech (QWERTY)



KBDCTY8.
Denmark



KBDCTY59.
Brazil (MS)



KBDCTY53.
Bulgaria (Latin)



KBDCTY18.
Canada (French)



KBDCTY32.
Croatia



KBDCTY40.
Czech (Programmers)



KBDCTY38.
Czech (QWERTZ)



KBDCTY11.
Dutch (Netherlands)

国別キーボード (続き)



KBDCTY83.
Faeroese



KBDCTY3.
France



KBDCTY4.
Germany



KBDCTY64.
Greek (220 Latin)



KBDCTY65.
Greek (319 Latin)



KBDCTY63.
Greek (Latin)



KBDCTY41.
Estonia



KBDCTY2.
Finland



KBDCTY84.
Gaelic



KBDCTY17.
Greek



KBDCTY61.
Greek (220)



KBDCTY62.
Greek (319)



KBDCTY66.
Greek (MS)

国別キーボード（続き）



KBDCTY12.
Hebrew



KBDCTY19.
Hungary



KBDCTY73.
Irish



KBDCTY5.
Italy



KBDCTY78.
Kazakh



KBDCTY14.
Latin America



KBDCTY60.
Greek (Polytonic)



KBDCTY50.
Hungarian (101 key)



KBDCTY75.
Iceland



KBDCTY56.
Italian (142)



KBDCTY28.
Japan ASCII



KBDCTY79.
Kyrgyz (Cyrillic)



KBDCTY42.
Latvia

国別キーボード (続き)



KBDCTY44.
Lithuania



KBDCTY34.
Macedonia



KBDCTY86.
Mongolian (Cyrillic)



KBDCTY20.
Poland



KBDCTY58.
Polish (Programmers)



KBDCTY25.
Romania



KBDCTY43.
Latvia (QWERTY)



KBDCTY45.
Lithuania (IBM)



KBDCTY74.
Malta



KBDCTY9.
Norway



KBDCTY57.
Polish (214)



KBDCTY13.
Portugal



KBDCTY26.
Russia

国別キーボード（続き）



KBDCTY68.
Russian (Typewriter)



KBDCTY37.
Serbia (Cyrillic)



KBDCTY22.
Slovakia



KBDCTY48.
Slovakia (QWERTZ)



KBDCTY10.
Spain



KBDCTY23.
Sweden



KBDCTY67.
Russian (MS)



KBDCTY21.
SCS



KBDCTY36.
Serbia (Latin)



KBDCTY49.
Slovakia (QWERTY)



KBDCTY31.
Slovenia



KBDCTY51.
Spanish variation



KBDCTY29.
Switzerland (French)

国別キーボード（続き）



KBDCTY85.
Tatar



KBDCTY24.
Turkey Q



KBDCTY7.
United Kingdom



KBDCTY88.
United States (Dvorak left)



KBDCTY30.
United States (International)



KBDCTY6.
Switzerland (German)



KBDCTY27.
Turkey F



KBDCTY76.
Ukrainian



KBDCTY89.
United States (Dvorak right)



KBDCTY87.
United States (Dvorak)



KBDCTY77.
Uzbek (Cyrillic)

国別キーボードの全サポート情報および適応されるインターフェースについてはハネウェルウェブサイト (www.honeywell.com/aidc) をご参照ください。上記以外のキーボードを設定する必要がある場合は、下の**Program Keyboard Country**バーコードを読み取った後、裏表紙にある該当国の数値バーコードを読み取り、次にSaveバーコードを読み取ります。



KBDCTY.

Program Keyboard Country

キーボードスタイル

Caps LockやShift Lockなどのキーボードスタイルを設定します。 [Keyboard Conversion](#)設定を行った場合は、以下のキーボードスタイル設定すべてを上書きします。初期設定 = *Regular* (レギュラー)

通常、Caps Lockキーがオフの場合は、**Regular**を使用します。



KBDSTY0.

* **Regular**

通常、Caps Lockキーがオンの場合は、**Caps Lock**を使用します。



KBDSTY1.

Caps Lock

通常、ShiftLockキーがオンの場合は、**Shift Lock**を使用します。(U.S.キーボードでは通常不使用)



KBDSTY2.

Shift Lock

Caps Lockキーのオン/オフを切り換える場合は、**Automatic Caps Lock**を使用します。Caps Lockキーをオン/オフすると、ソフトが追跡反応確認して自動的に対応します。この設定を使用できるのは、Caps Lockの状態を確認するLEDがあるシステム(ATキーボード)の場合のみです。



KBDSTY6.

Automatic Caps Lock

Caps Lockの切り換えにCaps Lockキーを使用できない国（ドイツ、フランスなど）では**Autocaps via NumLock**のバーコードを読み取ります。NumLockオプションは、通常のAutocapsと同じ働きをしますが、Caps Lockの現在の状態を確認するには、NumLockを使用します。



KBDSTY7.

Autocaps via NumLock

外付けキーボード（IBM ATまたは相当品）を使用していない場合は、**Emulate External Keyboard**を読み取ります。



KBDSTY5.

Emulate External Keyboard

注： *Emulate External Keyboard*のバーコードを読み取った後は、コンピュータを必ず再起動してください。

キーボード転換

アルファベットのキーボード文字を強制的にすべて大文字またはすべて小文字にできます。例えば、「abc569GK」というバーコードの場合、**Convert All Characters to Upper Case**バーコードを読み取ると、「ABC569GK」と出力させることができます。また、**Convert All Characters to Lower Case**バーコードを読み取ると、「abc569gk」と出力します。

この設定は**キーボードスタイル**での設定を上書きします。

注： お使いのインターフェースがキーボードウェッジの場合は、**自動Caps Lock**（2-15ページ）のメニューコードをまず読み取ってください。そうでない場合は、ご希望と違う出力になることがあります。

初期設定 = *Keyboard Conversion Off*（キーボードの変換無効）



KBDCNV0.

* **Keyboard Conversion Off**



KBDCNV1.

**Convert All Characters
to Upper Case**



KBDCNV2.

**Convert All Characters
to Lower Case**

コントロールキャラクタの出力

この機能を選択すると、コントロールキャラクタの代わりにテキスト文字列を送信します。例えば、キャリッジ・リターンのためのコントロールキャラクタが必要なとき、ASCIIコード0Dの代わりに、「CR」と出力表示されます。15-4ページの[ASCII変換チャート\(コードページ 1252\)](#)を参照してください。00から1Fまでが変換されます。(チャートの最初の列)

注： Control + ASCIIモードはこのモードを上書きします。

初期設定 = Off (無効)



KBDNPE1.

Control Character Output On



KBDNPE0.

* Control Character Output Off

キーボード調節

ここでは、CTRL+ ASCIIコードやターボモードといった特別なキーボードの機能調節を行います。

Control + ASCII Mode On : 00 ~ 1Fの値について、ASCII制御キャラクタ用にキーを組み合わせて送信します。Windowsは推奨モードで、すべてのキーボードの国別キーボードがサポートされています。DOSモードはレガシーモードであり、すべてのキーボードの国別コードをサポートしているわけではありません。新規ユーザはWindowsモードをお使いください。CTRL+ASCIIの値については、9-1ページの[キーボードファンクションの対応](#)を参照してください。

Windows Mode Prefix/Suffix Off : 00 ~ 1Fの値についてASCII制御キャラクタ用にキーを組み合わせて送信しますが、プレフィックスならびにサフィックスの情報転送は一切行いません。

初期設定 = Control + ASCII Mode Off (Control + ASCIIモード無効)



KBDCAS2.

Windows Mode Control + ASCII
Mode On



KBDCAS0.

* Control + ASCII Mode Off



KBDCAS1.

DOS Mode Control + ASCII Mode
On



KBDCAS3.

Windows Mode Prefix/Suffix Off

(**Turbo Mode** : ターミナルへのキャラクタ転送を高速化します。ターミナルで
キャラクタの世見落としがある場合は使用しないでください。

初期設定 = Off (無効)



KBDTMD1.

Turbo Mode On



KBDTMD0.

* Turbo Mode Off

Numeric Keypad Mode : テンキーで入力したように数字を送信します。

初期設定 = Off (無効)



KBDNPS1.

Numeric Keypad Mode On



KBDNPS0.

* Numeric Keypad Mode Off

Automatic Direct Connect Mode : IBM AT型のターミナルを使用し、システムで
キャラクタの読み落としがある場合に使用できます。初期設定 = Off (無効)



KBDADC1.

**Automatic Direct Connect Mode
On**



KBDADC0.

*** Automatic Direct Connect
Mode Off**

RS232 ボーレート

スキャナからターミナルに指定の速度でデータを送信します。ホストターミナルはスキャナと必ず同じボーレートに設定してください。初期設定 = 115,200



232BAD0.

300



232BAD2.

1200



232BAD4.

4800



232BAD6.

19200



232BAD8.

57,600



232BAD1.

600



232BAD3.

2400



232BAD5.

9600



232BAD7.

38400



232BAD9.

* 115,200

RS232ワード長: データビット、ストップビット、パリティ

データビットはワード長をキャラクタあたり7または8データビットに設定します。アプリケーションで必要なのがASCII Hexキャラクタの0~7F(文字、数値、句読点)だけの場合は、7データビットを選択してください。フルセットのASCIIキャラクタを使用するアプリケーションの場合は、キャラクタあたり8データビットを選択します。初期設定 = 8。

ストップビットは1または2に設定します。初期設定 = 1。

パリティはキャラクタビットパターンが適正かどうかをチェックします。

初期設定 = None (なし)



232WRD3.

7 Data, 1 Stop, Parity Even



232WRD6.

7 Data, 1 Stop, Parity Odd



232WRD1.

7 Data, 2 Stop Parity None



232WRD5.

8 Data, 1 Stop, Parity Even



232WRD8.

8 Data, 1 Stop, Parity Odd



232WRD0.

7 Data, 1 Stop, Parity None



232WRD4.

7 Data, 2 Stop, Parity Even



232WRD7.

7 Data, 2 Stop, Parity Odd



232WRD2.

* 8 Data, 1 Stop, Parity None

RS232 レシーバータイムアウト

スキャナはRS232レシーバータイムアウトが切れるまで、データを受信するために待機しています。マニュアルまたはシリアルトリガーでタイムアウトをリセットします。RS232レシーバーがスリープ中の場合、キャラクタを送信してレシーバーを起動し、タイムアウトをリセットすることができます。CTSライン上トランザクションでも、レシーバーを起動します。

レシーバーが完全に起動するには300ミリ秒かかります。次のバーコードを読み取ってRS232 Receiver Timeout (RS232レシーバータイムアウト)を変更し、本書の裏表紙内側から数字を読み取り、次にSave (保存)を読み取ります。設定範囲は0~300秒です。 初期値 = 0 秒 (タイムアウトなし 常時オン)



232LPT.

RS232 Receiver Time-Out

RS232 ハンドシェイク

RS232ハンドシェイクとは、ホストデバイスから送信されるソフトウェアコマンドを利用して、スキャナからのデータ送信を制御するものです。RTS/CTSを無効にすると、データのフロー制御はできません。

Flow Control, No Timeout : 送信するデータがある場合、スキャナはRTSをアサートし、無期限にホストからアサートされたCTSを待ちます。

Two-Direction Flow Control : スキャナはホストへの送信が可能な場合、RTSをアサートし、ホストはデバイスへの送信が可能な場合CTSをアサートします。

Flow Control with Timeout : スキャナは送信するデータがある場合、RTSをアサートし、ホストにアサートされたCTSをディレー (遅延) 分 (2-23ページ)のRS232タイムアウトを参照) 待ちます。

初期設定 = RTS/CTS Off (RTS/CTS無効)



232CTS1.

Flow Control, No Timeout



232CTS2.

Two-Direction Flow Control



232CTS3.

Flow Control with Timeout



232CTS0.

* RTS/CTS Off

RS232 タイムアウト

タイムアウトつきのフロー制御を用いる場合は、ホストからのCTS待機時間の長さを設定しなければなりません。以下のバーコードを読み取り、タイムアウトの長さ（ミリ秒単位）を設定し、裏表紙にある数字を読み取ってタイムアウト（1～5100ミリ秒）を設定し、Save（保存）を読み取ってください。



232DEL.

RS232 Timeout

XON/XOFF

スキャナへデータ送信(XON/XOFF On)や送信中止(XON/XOFF Off)を行わせる際には標準ASCIIコントロールキャラクタが用いられます。ホストデバイスがXOFFキャラクタ(DC3, hex 13)をスキャナに送信することで送信を一時中断します。送信を再開するには、ホストからXONキャラクタ(DC1, hex 11)を送信します。データ送信はXOFF送信によって停止されたところから続行されます。

初期設定 = XON/XOFF Off (XON/XOFF 無効)



232XON1.

XON/XOFF On



232XON0.

* XON/XOFF Off

ACK/NAK

データ送信の後、スキャナはホストからのACKキャラクタ(hex 06) もしくはNAKキャラクタ(hex 15)レスポンスを待ちます。ACKを受け取ると、通信は完成し、スキャナはさらなるバーコードを探します。NAKを受け取ると、最後のバーコードが送信され、スキャナはACKやNAKを再度待ち受けま

ACK/NAKプロトコルを有効にする場合は、以下のACK/NAK On (ACK/NAK 有効) バーコードを読み取ってください。ACK/NAKプロトコルをオフにする場合はACK/NAK Off (ACK/NAK 無効) を読み取ります。
初期設定 = ACK/NAK Off (ACK/NAK 無効)



232ACK1.
ACK/NAK On



232ACK0.
* ACK/NAK Off

スキャナから2面式カウンタースキャナへの通信

以下の設定はハネウェル社製スキャナと2面式カウンタースキャナとの通信の接続に用います。

注： 2面式カウンタースキャナとの通信には、ボーレートを38400に、RS232 タイムアウトを3000に設定しなければなりません。詳しくは、2-20ページのRS232ボーレートならびに2-23ページのRS232タイムアウトをご参照ください。

スキャナ-2面式カウンタースキャナパケットモード

Packet Mode On (パケットモード有効) は2面式カウンタースキャナとの互換性のために、スキャナのフォーマットを設定するときに読み取ります。
初期設定 = Packet Mode Off (パケットモード 無効)



232PKT0.
* Packet Mode Off



232PKT2.
Packet Mode On

スキャナ-2面式カウンタースキャナ **ACK/NAK** モード

各パケットが送信された後、スキャナが2面式カウンタースキャナからのACKもしくはNAKを待つ場合には**Bioptic ACK/NAK On** (Bioptic ACK/NAK有効)を読み取ります。下記の2面式カウンタースキャナACK/NAKタイムアウトはスキャナがレスポンスに対しどの程度待つかを制御するものです。
初期設定 = Bioptic ACK/NAK Off (2面式スキャナ ACK/NAK 無効)



232NAK0.

* Bioptic ACK/NAK Off



232NAK1.

Bioptic ACK/NAK On

スキャナ-2面式カウンタースキャナ**ACK/NAK**タイムアウト

2面式カウンタースキャナからのACK/NAKレスポンスに対するタイムアウト時間(ミリ秒単位)を設定するものです。以下のバーコードを読み取り、裏表紙内側から数字を読み取り、タイムアウト時間(1~30,000 ミリ秒)を設定した後、Save(保存)を読み取ります。
初期設定 = 5100



232DLK.

ACK/NAK Timeout

入力・出力設定

起動ブザー

スキャナは、電源が入るとブザーが鳴るようになっています。起動ブザーをお使いにならない場合は、Offバーコードを読み取ってください。

初期設定 = Power Up Beeper On - Scanner (スキャナ、起動ブザー有効)



BEPPWR0.
Power Up Beeper Off -
Scanner



BEPPWR1.
* Power Up Beeper On -
Scanner

ブザーオンBELキャラクタ

ホストからのコマンドに対してブザーを鳴らしたい場合は、下のBeep on BEL On (BELブザー 有効) バーコードを読み取ってください。スキャナがホストからBELキャラクタを受信するたびにブザーが鳴ります。

初期設定 = Beep on BEL Off (BELブザー無効)



BELBEP0.
*Beep on BEL Off



BELBEP1.
Beep on BEL On

トリガークリック

トリガーを引くたびにクリック音が聞こえるようにしたい場合は、下のTrigger Click On (トリガークリック音 有効) バーコードを読み取ってください。クリック音が聞こえないようにするには、Trigger Click Off (トリガークリック音 無効) コードを読み取ります。(シリアルトリガーモードもしくは自動読み取りモードには影響しません。) 初期設定 = Trigger Click Off



BEPTRG0.
*Trigger Click Off



BEPTRG1.
Trigger Click On

グッドリードインジケータ

ブザー - グッドリード

読み取りに成功した場合のブザーをOnまたはOffに設定できます。この設定を無効にすると、読み取り成功時のインジケータの中でもブザーだけを無効にします。エラー発生時や設定変更時のブザーはすべて鳴動します。
初期設定 = *Beeper - Good Read On* (読取成功のブザー 有効)



BEPBEP0.

Beeper - Good Read Off



BEPBEP1.

*** Beeper - Good Read On**

ブザー音量 - グッドリード

読み取り成功時にスキャナが鳴らすブザーの音量を変更します。
初期設定 = *High* (高)



BEPLVL1.

Low



BEPLVL2.

Medium



BEPLVL3.

*** High**



BEPLVL0.

Off

ブザーピッチ - グッドリード

読み取り成功時にスキャナが鳴らすブザー音の音程（周波数）を変更します。初期設定 = *Medium*（中）



BEPFQ11600.
Low (1600 Hz)



BEPFQ12700.
* *Medium* (2700 Hz)



BEPFQ14200.
High (4200 Hz)

ブザーピッチ - エラー

読み取り失敗時やエラー発生時にスキャナが鳴らすブザーの音程（周波数）を変更します。初期設定 = *Razz*（低）



BEPFQ2250.
* *Razz* (250 Hz)



BEPFQ23250.
Medium (3250 Hz)



BEPFQ24200.
High (4200 Hz)

ブザー長 - グッドリード

読み取り成功時にスキャナが鳴らすブザー音の長さを変更します。初期設定 = *Normal*（通常）



BEPBIP0.
* *Normal Beep*



BEPBIP1.
Short Beep

LED - グッドリード

読み取り成功時に点灯するLEDをOnまたはOffに設定できます。

初期設定 = On (有効)



BEPLED1.

* LED - Good Read On



BEPLED0.

LED - Good Read Off

ブザー回数 - グッドリード

読み取り成功時のブザー回数を1~9に設定できます。読み取り成功時のブザー回数を設定すると、その回数を読み取り成功時のブザーとLEDの回数として適用されます。例えば、この設定をブザー5回に設定すると、読み取り成功に反応してブザーが5回鳴り、LEDが5回点滅します。ブザーとLEDの点滅は互いに同期しています。ブザー回数を変更するときは、次のバーコードを読み取り、次に裏表紙の内側にある[プログラミングチャート](#)から数字(1~9)バーコードとSave(保存)バーコードを読み取ってください。
初期設定 = 1



BEPRPT.

Number of Good Read Beeps/LED Flashes

ブザー回数 - エラー

読み取り失敗時およびエラー発生時にスキヤナが鳴らすブザーやLEDの点滅回数を1~9のうちで設定できます。例えば、この設定をブザー5回に設定すると、エラーに反応してブザーが5回鳴り、LEDが5回点滅します。ブザー回数を変更するときは、次のバーコードを読み取り、次に裏表紙の内側にある[プログラミングチャート](#)から数字(1~9)バーコードとSave(保存)バーコードを読み取ってください。
初期設定 = 1



BEPERR.

Number of Error Beeps/LED Flashes

グッドリードディレイ

読み取り成功後、次のバーコードを読み取るまでの最短時間を設定します。初期設定 = 0 ms (ディレイなし)



DLYGRD0.

* No Delay



DLYGRD500.

Short Delay (500 ms)



DLYGRD1000.

Medium Delay (1,000 ms)



DLYGRD1500.

Long Delay (1,500 ms)

ユーザー指定のグッドリードディレイ

読み取り成功ディレイに独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってディレイ (0 ~ 30,000 ミリ秒) を設定し、最後に Save (保存) を読み取ります。



DLYGRD.

User-Specified Good Read Delay

マニュアルトリガーモード

マニュアルトリガーモードの場合、バーコードが読み取られるまで、もしくはトリガーを放すまで読み取りを行います。これには Normal (標準) と Enhanced (強化) の二つのモードから選択できます。ノーマルモードでは、高速で広い読取範囲 (読取深度) で読み取ります。

強化モードでは、最速の読み取りを行います。ノーマルモードより読取範囲が少し狭くなります。強化モードは広い読取範囲を必要とせず、高速処理を行いたいときに適しています。

初期設定 = Manual Trigger-Normal (マニュアルトリガーモード 標準)



PAPHHF.

* Manual Trigger - Normal



PAPHHS.

Manual Trigger - Enhanced

シリアルトリガーモード

トリガーを引くか、シリアルトリガーコマンドを用いることで、スキャナを動作させることができます。(11-4ページのトリガーコマンドを参照)。シリアルトリガーモードでは、バーコードを読み取るか、停止コマンドが送信されるまで読み取り動作を続けます。指定時間が過ぎた後に自動的にオフになるようにスキャナを設定することもできます(後続のリードタイムアウトを参照)。

リードタイムアウト

スキャナをシリアルコマンドで動作させる場合、この設定でトリガーのタイムアウト(ミリ秒単位)を設定します。スキャナが一旦タイムアウトになった後は、トリガーを引くかシリアルトリガーコマンドを用いて動作させることができます。Read Time-Out(読み取りタイムアウト)のバーコードを読み取り、裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから数字を読み取って、タイムアウト時間(0~300,000 ミリ秒)を設定し、次にSave(保存)を読み取ります。初期設定 = 30,000 ms



TRGSTO.

Read Time-Out

プレゼンテーションモード

プレゼンテーションモードでは、周囲の照明を使ってバーコードを検知します。プレゼンテーションモードで動作するように設定すると、LEDはバーコードがスキャナに提示されるまで消灯されており、バーコードが提示されると、自動的に点灯して読み取ります。室内の照明が暗いと正常に機能しないことがありますので、ご注意ください。



TRGMOD3.

Presentation Mode

デコード後のプレゼンテーションLEDの動作

スキャナがプレゼンテーションモードにあるとき、バーコードをデコードした後の短い間、LEDは点灯したまま読み取りを続けます。バーコードをデコードした後、直ちにLEDを消灯したい場合は、次のLEDs Offバーコードを読み取ってください。初期設定 = LEDs On



TRGPCK1.

* LEDs On



TRGPCK0.

LEDs Off

プレゼンテーション感度

プレゼンテーション感度とは、提示されたバーコードに対するスキャナの反応時間を増減させる数値範囲です。感度を設定するには、Sensitivity（感度）バーコードを読み取り、裏表紙の内側から感度（0～20）を読み取り、次にSave（保存）を読み取ります。最も感度の高い設定が0で、最も低い設定は20です。初期設定 = 1



TRGPMS.

Sensitivity

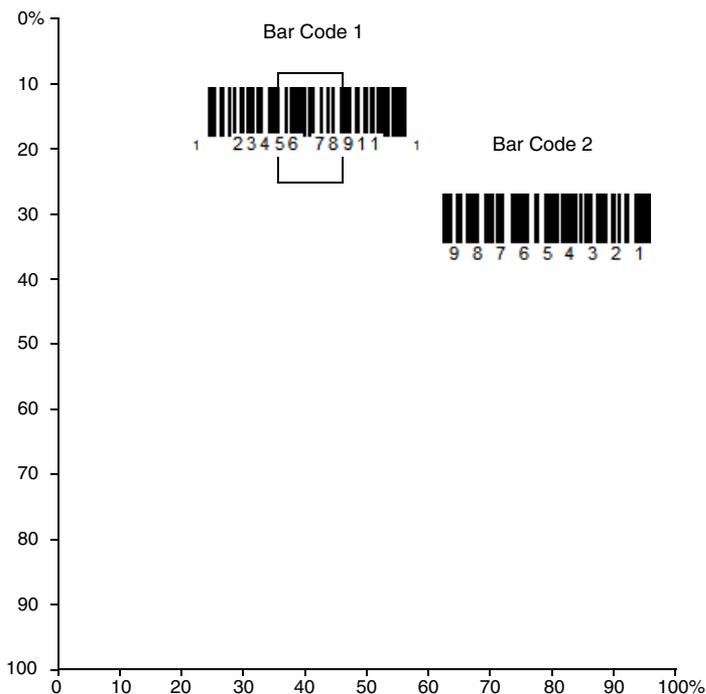
プレゼンテーションセンタリング

ここでは、スキャナがスタンドに設置された際にスキャナの視野を狭め、ユーザーが読み取りを望むバーコードだけをスキャナに読み込ませる設定です。例えば、複数のバーコードが1枚のシートに密接して印刷されている場合、特定のバーコードだけが読み取られるようになります。

注： スタンドを使用せず、スキャナを手で持った状態でセンタリングを調節したい場合は、3-14ページの「[センタリング](#)」を参照してください。

事前に設定されたウィンドウにバーコードが触れられなかった場合、バーコードのデコードも出力を行われません **Presentation Centering On**（プレゼンテーションセンタリング有効）を読み取って設定を有効にすると、**Top of Presentation Centering Window**（センタリングウィンドウ上部）、**Bottom of Presentation Centering Window, Left**（プレゼンテーションウィンドウ底部）、**Right of Presentation Centering Window**（プレゼンテーションセンタリングウィンドウの左右）によってユーザーが指定したセンタリングウィンドウを通ったバーコードだけを読み取ります。

次の例では、白いボックス がセンタリングウィンドウを示します。センタリングウィンドウは20% 左、30% 右、8% 上、25% 下に設定されています。バーコード1は、センタリングウィンドウを通過したので、正常に読み取られます。一方、バーコード2 はセンタリングウィンドウを通過していないので、読み取られていません。



注： バーコード全体が完全にセンタリングウィンドウに入るように読み取る必要はありませんが、ある程度センタリングウィンドウを通過しなければなりません。

Presentation Centering On (プレゼンテーションセンタリング有効) を読み取った後、以下のバーコードを読み取ってセンタリングウィンドウの上部、底部、左、右を変更してください。その後、本書裏面にあるプログラミングコードを読み取って、センタリングウィンドウを移動する割合の数字を読み取り、最後にSave (保存) を読み取ります。

初期設定 = 40% for Top and Left, 60% for Bottom and Right



PDCWIN1.

Presentation Centering On



PDCWIN0.

*** Presentation Centering Off**



PDCTOP.

Top of Presentation Centering Window



PDCBOT.

Bottom of Presentation Centering Window



PDCLFT.

Left of Presentation Centering Window



PDCRGT.

Right of Presentation Centering Window

CodeGate[®]

CodeGateを有効にすると、デコードされたデータをホストシステムへ送信させるためにトリガーを使用します。スキャナは読み取りもデコードも行いますが、トリガーが引かれるまでデコードされたデータを送りません。CodeGateが無効になっていると、バーコードのデータはデコードされて直ぐにホストシステムに送信されます。初期設定 = CodeGate Off Out-of-Stand



AOSCGD0.

*** CodeGate Off Out-of-Stand**



AOSCGD1.

CodeGate On Out-of-Stand

ストリーミングプレゼンテーション™ モード

ストリーミングプレゼンテーションモードを設定すると、スキャナのエイマーは短時間後消えますが、スキャナの照明はバーコードを探すために継続して常時点灯されます。これにはNormal（標準）とEnhanced（強化）の2つのモードから選択できます。標準モードは、高速で広い読取範囲で読取を行います。強化モードでは、最速の読み取りを行います。標準モードより読取範囲が少し狭くなります。強化モードは広い読取範囲を必要とせず、高速処理を行いたいときに適しています。



PAPSPN.

Streaming Presentation Mode
- Normal



PAPSPE.

Streaming Presentation Mode
- Enhanced

優先シンボル (3-16ページ)を使用しているとき、優先順位の低いシンボルはエイミングパターンの中央に置かれ、ストリーミングプレゼンテーションモードで読み取られます。

ストリーミングプレゼンテーションモードでは、画像を取り込むことはできません。画像取り込みの場合は、**Image Snap and Ship** (画像撮影と送信)を読み取ってください (3-11ページ参照)。

携帯電話読取モード

この機能は、お使いのスキャナを携帯端末やその他のLEDデバイスのバーコード読み取りに最適化します。しかし、このモードでは印刷されたバーコードの読取速度は少し遅くなります。携帯端末読み取りモードは、読み取り方式（手持ち、またはハンズフリー）に関わらずお使いになれます。



PAPHHC.

Hand Held Scanning - Mobile
Phone



PAPSPC.

Streaming Presentation -
Mobile Phone

注： 携帯端末読み取りモードを無効にするには、マニュアルトリガーまたはリアルトリガーモードのバーコード (3-5ページ参照) を読み取ります。

画像撮影と送信

Image Snap and Ship（画像撮影と送信）では、トリガーが引かれるとスキャナが（バーコードよりも）写真を撮るように設定します。写真が撮影されると、デフォルト設定はjpegファイルとしてホストに送られます。バーコード読み取りに変えたい場合は、トリガーモード（3-5ページからの[マニュアルトリガーモード](#)を参照）に変更してください。



TRGM06.

Image Snap and Ship

注： このコードにはRS232インターフェースをお使いください。それ以外では、[マニュアルトリガーモード](#)（11-14ページ参照）のシリアルコマンドを送信するまでメニューコードは動作しません。

ハンズフリータイムアウト

スキャンスタンド、またはプレゼンテーションモードは「ハンズフリー」モードと呼ばれます。ハンズフリーモードを使用中にトリガーを引くと、マニュアルトリガーモードに変わります。ハンズフリータイムアウトを設定することで、スキャナがマニュアルトリガーモードのままの時間を設定できます。タイムアウト値に達すると（さらにトリガーが引かれなければ）元のハンズフリーモードに戻ります。

Hands-Free Time-Out（ハンズフリータイムアウト）のバーコードを読み取り、裏表紙の内側からタイムアウト時間（0～300,000 ミリ秒）を読み取り、次にSave（保存）を読み取ります。初期設定 = 5,000 ms



TRGPT0.

Hands-Free Time-Out

リリードディレイ

同一バーコードを2回目に読み取るまでの間隔を秒単位で設定します。再読み取りディレイを設定することで、同一バーコードを誤って再読み取りするのを防ぎます。ディレイを長くすると、再読み取りエラーを最小限にするのに効果的です。

バーコードの繰り返し読み取りが必要な場合は、ディレイを短くします。再読み取りディレイが動作するのは、**プレゼンテーションモード**(3-6ページ)のときだけです。

初期設定 = *Medium* (中)



DLYRRD500.

Short (500 ms)



DLYRRD750.

* *Medium* (750 ms)



DLYRRD1000.

Long (1000 ms)



DLYRRD2000.

Extra Long (2000 ms)

ユーザー設定のリリードディレイ

再読み取りディレイに独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってディレイ (0~30,000 ミリ秒) を設定し、最後にSave (保存) を読み取ります。



DLYRRD.

User-Specified Reread Delay

照明ライト

バーコードの読み取り中に照明を有効にしたい場合は、次のLights On (照明有効) のバーコードを読み取ります。逆に照明を無効にしたい場合は、Lights Off (照明無効) のバーコードを読み取ります。初期設定 = *Lights On* (照明 有効)

注： この設定は、エイマーライトには無効です。エイミングライトは、**エイマーモード** (3-14ページ) で設定できます。



SCNLED1.

* *Lights On*



SCNLED0.

Lights Off

エイマーディレイ

ユーザーがスキャナの狙いを定めて画像を取り込むまでのディレイ（間隔）を設定します。これらのコードで、トリガーを引いてから画像を取り込むまでの時間を設定します。ディレイ時間の間はエイミングライトが照射されますが、ディレイ時間を過ぎるまでLEDは点灯しません。初期設定 = Off（無効）



SCNDLY200.
200 milliseconds



SCNDLY400.
400 milliseconds



SCNDLY0.
* Off (no delay)

ユーザー設定のエイマーディレイ

ディレイ時間に独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある [プログラミングチャート](#) から数字（0～4,000 ミリ秒）を読み取ってタイムアウト時間を設定し、Save（保存）を読み取ります。



SCNDLY.
Delay Duration

スキャナタイムアウト

スキャナタイムアウト機能は、デバイスに指定された時間のアイドル状態が続くと低出力へと切り替えます。スキャンが低出力になるのを防ぐには、このタイムアウトを0に設定します。Scanner Time-Out（スキャナタイムアウト）を読み取り、本書の裏表紙の内側から数字（0～999,999 ミリ秒）を読み取ってタイムアウトを設定し、Saveを読み取ってください。初期設定 = 1 ms



SDRTIM.
Scanner Time-Out

エイマーモード

この機能はエイマーの切り替えを行うものです。Interlaced（非同時）のバーコードを読み取ると、エイマーと照明LEDは同時に点灯できません。

初期設定 = Interlaced（非同時）



SCNAIM0.

Off



SCNAIM2.

* Interlaced

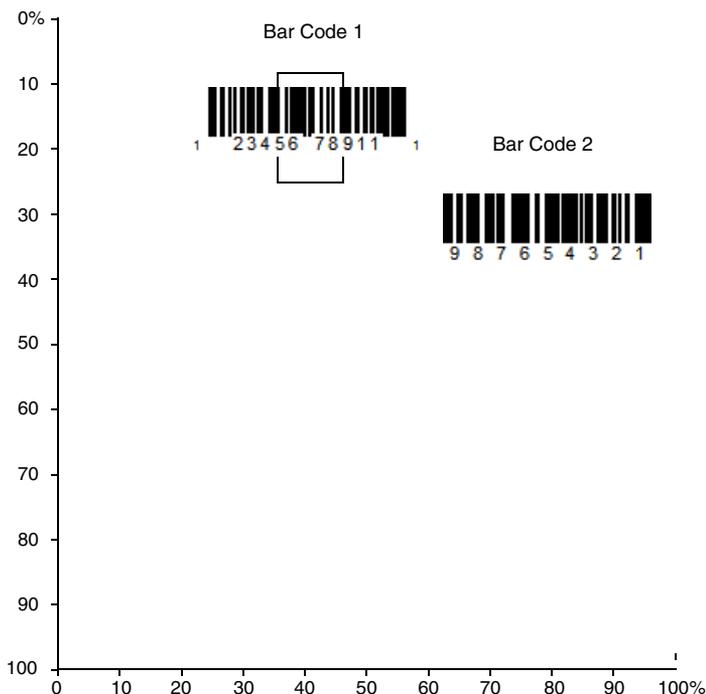
センタリング

希望のバーコードだけを確実に読み取るようにするには、センタリングを使用してスキャナの視界を狭めます。例えば、複数のバーコードが接近している場合は、センタリングで希望のバーコードだけを確実に読み取ります。（センタリングは、複数のバーコードが接近して配置されている作業環境でエラーができるだけ発生しないように、3-13ページのエイマーディレイと一緒に使用できます。エイマーディレイ機能とセンタリング機能を併用すると、リニアレーザーバーコードスキャナなどの旧式システムの動作をエミュレーションできます。）

注： スキャナをスタンドに置いて使用している場合のセンタリングについては、3-7ページのプレゼンテーションセンタリングを参照してください。

事前に設定されたウィンドウにバーコードが触れられなかった場合、バーコードのデコードも出力を行われません。Presentation Centering On（プレゼンテーションセンタリング有効）を読み取って設定を有効にすると、Top of Presentation Centering Window（センタリングウィンドウ上部）、Bottom of Presentation Centering Window, Left（プレゼンテーションウィンドウ底部）、Right of Presentation Centering Window（プレゼンテーションセンタリングウィンドウの左右）によってユーザーが指定したセンタリングウィンドウを通ったバーコードだけを読み取ります。

次の例では、白いボックス がセンタリングウィンドウを示します。センタリングウィンドウは20% 左、30% 右、8% 上、25% 下に設定されています。バーコード1は、センタリングウィンドウを通過したので、正常に読み取られます。一方、バーコード2はセンタリングウィンドウを通過していないので、読み取られていません。



注： バーコード全体が完全にセンタリングウィンドウに入るように読み取る必要はありませんが、ある程度センタリングウィンドウを通過しなければなりません。

Presentation Centering On (プレゼンテーションセンタリング有効) を読み取った後、以下のバーコードを読み取ってセンタリングウィンドウの上部、底部、左、右を変更してください。その後、本書裏面にあるプログラミングコードを読み取って、センタリングウィンドウを移動する割合の数字を読み取り、最後に Save (保存) を読み取ります。

初期設定 = 40% for Top and Left, 60% for Bottom and Right



DECWIN1.

Centering On



DECTOP.

Top of Centering Window



DECLFT.

Left of Centering Window



DECWIND.

* Centering Off



DECBOT.

Bottom of Centering Window



DECRGT.

Right of Centering Window

優先シンボル

複数のシンボルが1枚のシートに印刷されているものの、優先順位の低い方のシンボルの読み取りを無効にできない場合、ある一つのシンボルを他のシンボルよりも優先順位が高いものとして指定することができます。

例えば、UPCシンボルを小売店舗で読み取るよう設定を施したスキャナを使用している場合に、運転免許証のバーコードを読み取らなければならない場合があります。一部の免許証にはCode 39シンボルのほかにPDF417シンボルもありますが、優先シンボルを使用すると、Code 39ではなくPDF417を先に読み取るよう指定することができます。

優先シンボルは、各シンボルを優先度 高、優先度 低、または指定なしタイプに分類されます。優先度の低いシンボルが現れたとき、スキャナは設定した時間 (3-17 ページの「[優先シンボルのタイムアウト](#)」を参照) の間、このシンボルを無視し優先度の高いシンボルを検索します。この時間内に優先度の高いシンボルが見つかったら、即座にデータが読み取られます。

優先度の高いシンボルを読み取る前にタイムアウト時間が過ぎてしまうと、スキャナは視界内のバーコード (優先度 低 または指定なし) を読み取るようになります。タイムアウト時間が過ぎててもスキャナの視界内にバーコードが見つからない場合、データは報告されません。

注： 優先度の低いシンボルは、読み取るエイミングパターンの中央に置く必要があります。

優先シンボルを有効または無効にするには、以下のバーコードを読み取ってください。初期設定 = Preferred Symbology Off (優先シンボル 無効)



PRFENA1.

Preferred Symbology On



PRFENA0.

* Preferred Symbology Off

優先度高シンボル

優先度の高いシンボルを指定するには、次のHigh Priority Symbology バーコードを読み取ります。15-1ページのシンボルチャートで、高優先度に設定するシンボルを確認します。そのシンボルのHex値を確認して、プログラミングチャート（裏表紙の内側）から2桁のHex 値を読み取ります。Save（保存）を読み取り、設定を保存します。

初期設定 = None（なし）



PRFCOD.

High Priority Symbology

優先度低シンボル

優先度の低いシンボルを指定するには、次のLow Priority Symbology バーコードを読み取ります。15-1ページのシンボルチャートで、低優先度に設定するシンボルを探します。そのシンボルのHex値を確認して、プログラミングチャート（裏表紙の内側）から2桁のHex値を読み取ります。

優先度の低いシンボルをさらに設定したい場合は、FFを読み取った後、次のシンボルに対応する2桁のHex値をプログラミングチャートから読み取ります。最大5つの低優先度シンボルを設定できます。Save（保存）を読み取り、設定を保存します。初期設定 = None（なし）



PRFBLK.

Low Priority Symbology

優先シンボルのタイムアウト

優先シンボルを有効にし、高優先度および低優先度のシンボルを入力したら、タイムアウト時間を設定する必要があります。これは、低優先度のバーコードが現れた後、スキャナが高優先度のバーコードをサーチする時間です。

次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってディレイ（0～3,000ミリ秒）を設定し、Save（保存）を読み取ります。

初期設定 = 500 ms



PRFPTO.

Preferred Symbology Time-out

優先シンボルのデフォルト

次のバーコードを読み取ると、すべての優先シンボル設定がデフォルトに戻されます。



PRFDFT.

Preferred Symbology Default

アウトプットシーケンスの概要

アウトプットシーケンス条件

アウトプットシーケンスを無効にすると、バーコードデータはスキャナがデコードしたままホストに出力されます。有効の場合、すべての出力データは設定したシーケンスどおりでなければなりません。合っていないければ、スキャナは出力データをホスト機器に送信しません。

注： この設定は、複数シンボルが有効の場合お使いになれません。

アウトプットシーケンスエディタ

この設定では、バーコードが読み取られる順序には関係無く、アプリケーションに必要な任意の順序でデータを出力するように（複数のシンボルを読み取るとき）スキャナを設定できます。**Default Sequence**（シーケンスのデフォルト）のシンボルを読み取ると、下記の汎用値にスキャナを設定します。これが初期設定になっています。**Default Sequence**のシンボルを読み取る前に必ずフォーマットをすべて削除するかクリアしてください。

注： アウトプットシーケンスエディタを設定するときは、アプリケーションに必要なコード ID、コード長、および合致させるキャラクタを事前に確認する必要があります。英数字シンボル（裏表紙の内側）を用いてこれらの設定値を読み取ってください。また、シーケンスで各バーコードを読み取る間は、トリガーを引いたままにしておく必要があります。

アウトプットシーケンスの追加

1. **Enter Sequence** (シーケンスの入力) のバーコードを読み取ります。
(3-22 ページの**アウトプットシーケンスの概要**を参照。)
2. **コード I.D.**
15-1ページの**シンボルチャート**でアウトプットシーケンスフォーマットを適用するシンボルの種類を確認します。シンボルのHex値を確認し、プログラミングチャート(裏表紙の内側)から2桁のHex値を読み取ります。
3. **コード長**
シンボルの長さ(最大9,999キャラクタ)を指定します。プログラミングチャートから4桁のデータ桁数を読み取ってください。
(注意: 50桁は0050と入力します。9999は汎用の数字で、すべての長さ/桁数を示します。) データ桁数を計算するときには、設定したプリフィクス、サフィックス、またはフォーマットしたキャラクタをデータ桁数の一部として数える必要があります。(9999を使用しない場合。)
4. **合致キャラクタの指定**
15-4ページの「**印刷バーコードのコードページマッピング**」で合致させたいキャラクタを表すHex値を確認します。その後、プログラミングチャートを使用し、ASCII キャラクタを表す英数字の組合せを読み取ります。(99は汎用の数字で、すべてのキャラクタを示します。)
5. **アウトプットシーケンスの終了**
追加シンボル用にアウトプットシーケンスを入力するときはFFを読み取ります。またはSave(保存)を読み取って入力を保存します。

他のプログラミング設定

- **Discard**
アウトプットシーケンスの変更を保存しないで終了します。

アウトプットシーケンスの例

この例では、Code93、Code128、および Code39のバーコード読み取りに際し、下記のように Code39をはじめに、次にCode128を、Code93を三番目に出力するよう読み取りたいとします。

注： この例では、Code93が必ず有効でなければなりません。



A - Code 39



B - Code 128



C - Code 93

次のコマンド行でシーケンスエディタを設定します。

```
SEQBLK62999941FF6A999942FF69999943FF
```

コマンド行の内容は次のとおりです。

SEQBLKシーケンスの入力

```
62      Code 39のコードID
9999    Code 39の場合に対応しなければならないコード長、
9999 : すべての長さ

41      Code 39 先頭キャラクタを指定、41h="A"
FF      最初のコードの終了

6A      Code 128 のコード ID
9999    Code 128 の場合に対応しなければならないコード長、
9999 : すべての長さ

42      Code 128 の先頭キャラクタを指定、42h="B"
FF      2番目のコードの終了

69      Code 93 のコード ID
9999    Code 93 の場合に対応しなければならないコード長、
9999 : すべての長さ

43      Code 93 の先頭キャラクタを指定、43h="C"
FF      3番目のコードの終了ストリング
```

特定のデータ桁数を使用して先の例を設定するには、設定したプリフィクス、サフィックス、またはフォーマットしたキャラクタをデータ桁数の一部として数える必要があります。3-20 ページの例を使用しつつ <CR> サフィックスと特定のコード長を想定する場合は、次のコマンド行を使用します。

SEQBLK62001241FF6A001342FF69001243FF

コマンド行の内容は次のとおりです

SEQBLKシーケンスの入力

62 Code39のコード ID

0012 A-Code39 のコード長 (11) + CR サフィックス (1) = 12

41 Code39 先頭キャラクタ、41h="A"

FF 最初のコード終了

6A Code128のコード

0013 B-Code128 のコード長 (12) + CR サフィックス (1) = 13

42 Code128先頭キャラクタ、42h="B"

FF 2番目のコードの終了

69 Code93のコード ID

0012 C-Code93のコード長 (11) + CR サフィックス (1) = 12

43 Code 93先頭キャラクタ、43h="C"

FF 3番目のコードの終了

アウトプットシーケンスエディタ



SEQBLK.

Enter Sequence



SEQDFT.

Default Sequence

パーシャルシーケンス

アウトプットシーケンスがすべての出力シーケンス基準と合致する前に終了された場合、そこまでに得られたバーコードデータが「パーティカルシーケンス」となります。

Discard Partial Sequence (パーティカルシーケンスの破棄) を読み取ると、アウトプットシーケンスが途中で中断されたパーティカルシーケンスを放棄します。**Transmit Partial Sequence** (パーティカルシーケンスの送信) を読み取ると、パーティカルシーケンスを送信します。(合致するデータがないシーケンスのフィールドは、出力時にスキップされます。)



SEQTTS1.

Transmit Partial Sequence



SEQTTS0.

* Discard Partial Sequence

アウトプットシーケンス条件

アウトプットシーケンスが Required (要求する) のとき、出力データはすべて設定シーケンスどおりでなければなりません。合致していなければ、スキャナは出力データをホストデバイスに送信しません。On/Not Required (有効、要求しない) のときは、編集されたシーケンスに合うように出力データを取得しようとします。取得できなければ、すべての出力データをそのままホスト機器に送信します。

無効の場合は、バーコードデータはスキャナがデコードしたままホストに出力されます。初期設定 = Off (無効)

注： この設定は、複数シンボルが有効の場合お使いになれません。



SEQ_EN2.
Required



SEQ_EN1.
On/Not Required



SEQ_END.
*Off

マルチプルシンボル

この設定を有効にすると、スキャナのトリガーを1回引くだけで複数のシンボルを読み取ることができます。トリガーを引いたまま複数のシンボルに照準を合わせると、各シンボルを1回ずつ読み取り、その都度ブザーを鳴らします (有効時に限る。) スキャナは、トリガーを引いている間は新たなシンボルを探してデコードしようとします。この設定を無効にすると、エイミングビームに最も近いシンボルだけを読み取ります。
初期設定 = Off (無効)



SHOTGN1.
On



SHOTGN0.
* Off

No Read

No Readを有効にすると、スキャナはコードを読み取れない場合に通知します。EZConfig Tool Scan Data Window ([10-3ページ](#)参照) を使用している場合は、コードを読み取れなかったときに「NR」と表示されます。No Readを無効にすると「NR」は表示されません。初期設定 = Off (無効)



SHWNRD1.

On



SHWNRD0.

* Off

例えば「Error」や「Bad Code」など「NR」以外を表示したい場合は、出力メッセージを編集できます (5-1 ページからの [データフォーマット](#)参照)。No Read シンボルのHex値は9Cです。

ビデオリバーズ

ビデオリバーズを使用すると、反転したバーコードを読み取ることができます。色が反転したバーコードのみを読み込む際には、Video Reverse Only (反転コードのみ 有効) を読み取ってください。どちらのタイプのコードも読み込む場合は、Reverse and Standard Bar Codes (標準および反転コード両方 有効) を読み取ってください。

注： Video Reverse Onlyを読み取った後は、メニューバーコードの読み取りができません。メニューバーコードを読み取るには、VideoReverse Off (反転コード 無効) もしくはVideo Reverse and Standard Bar Codesを読み込んでください。

注： 画像は反転されません。これは、バーコードのデコード専用設定です。



VIDREV1.

Video Reverse Only



VIDREV2

Video Reverse and Standard Bar Codes

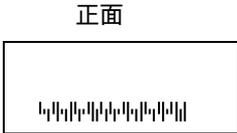


VIDREV0.

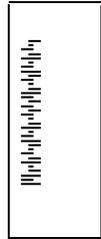
* Video Reverse Off

読取方向

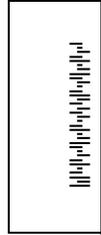
バーコードによっては、方向に敏感なものがあります。例えば、KIXコードやOCRフォントのように横から、または上下逆さに読み取ると誤読してしまうものもあります。このようなコードが常にスキャナの正面で読み取られない場合、この機能を使用してください。初期設定 = Upright (正面)



垂直、上から下へ
(CW 90°回転)



垂直、下から上へ
(CW 90°回転)



ROTATN0.
* Upright



ROTATN1.
Vertical, Bottom to Top



ROTATN2.
Upside Down

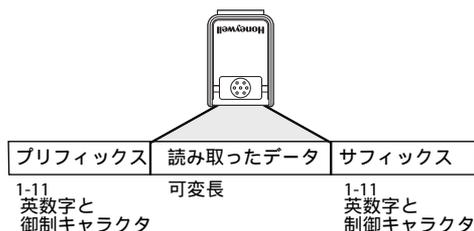


ROTATN3.
Vertical, Top to Bottom

プレフィックス/サフィックスについて

バーコードを読み取ると、追加情報がバーコードデータといっしょにホストコンピュータに送信されます。バーコードデータと追加のユーザ定義データを合わせて「メッセージストリング」と呼びます。この章の設定は、ユーザ定義データをメッセージストリングに組み込むときに使用します。

プレフィックスとサフィックスのキャラクタは、読み取ったデータの前後に送信できるデータキャラクタです。全シンボルと送信するか、特定シンボルとだけ送信するかを指定できます。次の図は、メッセージストリングの中身を示します。



補足

- つねにメッセージストリングを作る必要はありません。この章の設定を使用するのは、初期設定を変更したいときだけです。初期設定プレフィックス = None (なし)。初期設定サフィックス = None (なし)
- プレフィックスやサフィックスは、1シンボルまたは全シンボルに追加/削除できます。
- 15-4ページからの [ASCII変換チャート \(コードページ1252\)](#) でプレフィックスやサフィックスを、どれでもコードIDやAIM IDと一緒に追加できます。
- 1回の動作で複数のシンボルに対して複数の設定を結合できます。
- 出力で表示したい順にプレフィックスとサフィックスを入力してください。
- (全シンボルではなく) 特定のシンボルを設定するとき、シンボルID値は、追加されたプレフィックスまたはサフィックスのキャラクタと見なします。
- プレフィックス/サフィックスの最大構成はヘッダー情報を含めて200キャラクタです。

プレフィックスまたはサフィックスの追加手順

Step 1. Add PrefixまたはAdd Suffixのバーコードを読み取ります。
(4-3ページ).

Step 2. シンボルチャート (15-1からの[シンボルチャート](#)にあります) からプレフィックスまたはサフィックスを適用したいシンボルの2桁

のHex値を確認します。例えば、Code 128の場合、コードIDは「j」、Hex IDは「6A」です。

- Step 3.** 本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート**から2桁の数字を読み取ります。全シンボルの場合は9、9と読み取ります。
 - Step 4.** 15-4ページの**ASCII換算チャート (コードページ1252)** から、入力したいプレフィックスまたはサフィックスのHex値を確認します。
 - Step 5.** 本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート**から、確認した2桁のHex値を読み取ります。
 - Step 6.** プレフィックスまたはサフィックスのキャラクタごとにStep 4とStep 5を繰り返します。
 - Step 7.** コードIDを追加するときは、5、C、8、0を読み取ります。
AIM IDを追加するときは、5、C、8、1を読み取ります。
バックスラッシュ(\)を追加するときは、5、C、5、Cを読み取ります。
- 注： Step 7でバックスラッシュ(\)を追加するときは、5Cを2回読み取ってください。1回目で先行バックスラッシュを作成し、次にバックスラッシュ自体を作成します。
- Step 8.** Saveを読み取って保存/終了するか、Discardを読み取って保存せずに終了します。別のシンボルにプレフィックスまたはサフィックスを追加するときは、Step1~6を繰り返します。

例：サフィックスを特定のシンボルに追加する

CR (キャリッジリターン) サフィックスをUPCだけに送信するには

- Step 1. Add Suffix**を読み取ります。
- Step 2.** シンボルチャート (15-1からの**シンボルチャート**にあります) からUPCの2桁のHex値を確認します。
- Step 3.** 本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート**から6、3を読み取ります。
- Step 4.** 15-4ページの**ASCII換算チャート (コードページ1252)** から、CR (キャリッジリターン) のHex値を確認します。
- Step 5.** 本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート**から、0、Dを読み取ります。
- Step 6.** Saveを読み取るか、Discardを読み取って保存せずに終了します。

1つまたはすべてのプレフィックス・サフィックスの削除

シンボルのプレフィックスまたはサフィックスを1つまたはすべて削除できます。1つのシンボルにプレフィックスやサフィックスを追加したことがある場合、**Clear One Prefix (Suffix)** で特定のキャラクタをシンボルから消去します。また、**Clear All Prefixes (Suffixes)**を選択すると、すべてのプレフィックスまたはサフィックスが削除されます。

Step 1. Clear One Prefixまたは**Clear One Suffix**のバーコードを読み取ります。

Step 2. シンボルチャート（15-1からの**シンボルチャート**にあります）から、プレフィックスまたはサフィックスを削除したいシンボルの2桁のHex値を確認します。

Step 3. 本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート**から2桁のHex値を読み取ります。全シンボルの場合は9、9を読み取ります。

この変更は自動的に保存されます。

キャリッジリターンサフィックスを全シンボルに追加する

キャリッジリターンサフィックスをすべてのシンボルに一度に追加したい場合は、次のバーコードを読み取ります。この操作では、まず現在のサフィックスをすべて削除し、次にすべてのシンボルに対してキャリッジリターンサフィックスを設定します。



VSUFCR.

Add CR Suffix All Symbologies

（全シンボルへのCRサフィックスの追加）

プレフィックスの選択肢



PREBK2.

Add Prefix

（プレフィックス追加）



PRECA2.

Clear All Prefixes

（全プレフィックスの解除）



PRECL2.

Clear One Prefix

（プレフィックス1つ削除）

サフィックスの選択肢



SUFBK2.
Add Suffix
(サフィックス追加)



SUFCL2.
Clear One Suffix
(サフィックス1つ削除)



SUFCA2.

Clear All Suffixes
(全サフィックス削除)

ファンクションコード送信

この設定が有効で、読み取ったデータにファンクションコードが含まれていると、イメージはそのファンクションコードをターミナルに送信します。これらのファンクションコードは、9-3ページからの「[サポートされているインタフェースキー](#)」に記載されています。キーボードウェッジ・モードのとき、読み取りコードはキーコードに変換されてから送信されます。
初期設定 = Enable (有効)



RMVFNC0.
* **Enable** (有効)



RMVFNC1.
Disable (無効)

キャラクタ間、フィクション間、 およびメッセージ間ディレイ

データ送信が速すぎると、ターミナルによっては情報(キャラクタ)を取りこぼすことがあります。キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイはデータ送信を遅くしますが、データはより確実に送信されます。

キャラクタ間ディレイ

読み取ったデータの各キャラクタを送信する間隔について、最大5000ミリ秒（5ms単位）のキャラクタ間ディレイを設定できます。次のIntercharacter Delayのバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート**で5ミリ秒単位の数字とSaveのバーコードを読み取ります。



DLYCHR.

Intercharacter Delay (キャラクタ間ディレイ)

このディレイを削除するときは **Intercharacter Delay** のバーコードを読み取り、次にステップ数を0 に設定します。本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** でSaveのバーコードを読み取ります。

注：キャラクタ間ディレイは、USB のシリアルエミュレーションではサポートされていません。

ユーザ指定のキャラクタ間ディレイ

読み取ったデータの特定のキャラクタ送信の後、最大5000ミリ秒（5ms単位）でキャラクタ間ディレイを設定できます。下の**Delay Length** バーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート** で5ミリ秒単位のディレイ数を読み取ってから、Saveのバーコードを読み取ります。

次に、**Character to Trigger Delay** のバーコードを読み取り、15-4ページの**ASCII換算チャート（コードページ1252）** で、ディレイをトリガーするASCIIキャラクタの2桁のHex値を読み取ります。



DLYCRX.

Delay Length

(ディレイ長)



DLY_XX.

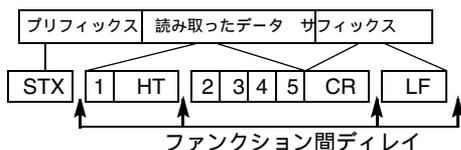
Character to Trigger Delay

(トリガーディレイのキャラクタ)

このディレイを削除するには、**Delay Length** のバーコードを読み取り、次にディレイ数を0に設定します。本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート** でSaveのバーコードを読み取ります。

ファンクション間ディレイ

メッセージストリングの各セグメント送信において、最大5000ミリ秒（5ms単位）のファンクション間ディレイを設定できます。次の**Interfunction Delay**バーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート**で5ミリ秒単位のディレイ数とSaveのバーコードを読み取ってください。



DLYFNC.

Interfunction Delay（ファンクション間ディレイ）

このディレイを削除するときは、**Interfunction Delay**のバーコードを読み取り、次にディレイ数を0に設定します。本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート**でSaveのバーコードを読み取ります。

メッセージ間ディレイ

読み取り送信において、最大5000ミリ秒（5ms単位）のメッセージ間ディレイを設定できます。次の**Intermessage Delay**のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート**で5ミリ秒単位のディレイ数とSaveのバーコードを読み取ります。



DLYMSG.

Intermessage Delay（メッセージ間ディレイ）

このディレイを削除するときは、**Intermessage Delay**のバーコードを読み取り、次にディレイ数を0に設定します。その後、本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート**でSaveのバーコードを読み取ります。

データフォーマットエディタについて

データフォーマットエディタを使ってスキヤナの出力を変更できます。例えば、バーコードデータを読み取りながら特定箇所にはキャラクタを挿入できます。この後のページに記載された設定は、出力を変更したい場合だけに使用してください。データフォーマットの初期設定 = *None* (なし)

通常、バーコードを読み取ると自動的に出力されます。フォーマットをする場合は、フォーマットプログラムの中で、「送信」コマンド(5-4ページの「[送信コマンド](#)」を参照)でデータを出力する必要があります。

スキヤナには複数のフォーマットのプログラム設定が可能です。入力された順にスタックされます。ただし、次の一覧はフォーマットが適応される順序を示しています。

1. 特定のターミナルID, 実際のコードID, 実際の長さ
2. 特定のターミナルID, 実際のコードID, 汎用の長さ
3. 特定のターミナルID, 汎用のコードID, 実際の長さ
4. 特定のターミナルID, 汎用のコードID, 汎用の長さ
5. 汎用のターミナルID, 実際のコードID, 実際の長さ
6. 汎用のターミナルID, 実際のコードID, 汎用の長さ
7. 汎用のターミナルID, 汎用のコードID, 実際の長さ
8. 汎用のターミナルID, 汎用のコードID, 汎用の長さ

データフォーマットの構成はヘッダー情報を含め、2000バイトが最大サイズです。

データフォーマットの設定の変更を行ったが、フォーマットをすべて削除して工場初期設定に戻したい場合は、下の**Default Data Format**コードを読み取ってください。



DFMD3.

* **Default Data Format** (データフォーマット初期設定)

データフォーマットの追加

Step 1. **Enter Data Format**のシンボルを読み取ります。(5-2ページ)

Step 2. **Primary** (基準) もしくは**Alternate Format** (代用) フォーマットを選択します。基準のデータフォーマットにするか、または3つある代用フォーマットの1つにするかを決定します。全部で4つの異なるデータフォーマットの方法を保存することができます。基準フォーマットを設定するときは、本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート**で0を読み取ります。代用フォーマットをプログラム設定する場合は、設定する代用フォーマットによって1, 2, または3を読み取ります。

詳細については、(5-11ページの**基準/代用データフォーマット**をご参照ください。)

Step 3. ターミナルの種類

ターミナルID表(5-4ページ)を参照し、お使いのコンピュータのターミナルIDを確認します。裏表紙の内側にある3つの数字バーコードを読み取り、そのターミナルIDでスキャナを設定します。(数字を3つ入力してください。)例えば、ATウェッジの場合は0、0、3を読み取ります。

注: すべてのターミナルに適用する場合は、099と入力してください。

Step 4. コード I.D.

15-1ページからのシンボルチャートでデータフォーマットを適用するシンボルを確認します。そのシンボルのHex値を確認し、本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート**から2桁のHex値を読み取ります。

注: すべてのシンボルに設定を適用したい場合は、(5-9ページ)のB8を参照してください。

Step 5. 長さ

このシンボルで可能なデータの長さ(最大9,999 キャラクタ)を指定します。本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート**から4桁のデータ桁数を読み取ります。例えば、50キャラクタ(桁)は0050と入力します。

Step 6. 編集コマンド

5-4ページを参照してください。入力したいコマンドを表すシンボルを読み取ります。各シンボルデータフォーマットには、94の英数キャラクタを入力できます。

Step 7. データフォーマットの保存には、Save (保存)を読み取ってください。保存しない場合はDiscard (破棄)を読み取ります。



MNUSAV.

Save (保存)



DFMBK3.

Enter Data Format
(データフォーマット入力)



MNUABT.

Discard (設定中止)

他のプログラム設定

Clear One Data Format

1つのシンボルに対してデータフォーマットを1つ削除します。基準フォーマットを削除する場合は、本書の裏表紙の内側にある[プログラミングチャート](#)から0を読み取ります。代用フォーマットを削除する場合は、削除する代用フォーマットによって1、2、または3を読み取ります。その後、削除したい特定のデータフォーマットのターミナルの種類、コードID（15-1ページの[シンボルチャート](#)を参照）、およびバーコードデータ桁数を読み取ります。他のフォーマットは全く影響を受けません。

Clear all Data Formats

すべてのデータフォーマットを削除します。

Save : データフォーマット変更からの保存終了を行います。

Discard : データフォーマットへの変更の保存を行わずに終了します。



DFMCL3.

Clear One Data Format

(データフォーマット1つ削除)



DFMCA3.

Clear All Data Formats

(全データフォーマット削除)



MNUSAV.

Save (保存)



MNUABT.

Discard (設定中止)

ターミナルID表	<u>Model(s)</u>	<u>Terminal ID</u>
	IBM ターミナル	PC/AT and compatibles
USB SurePOS Handheld Scanner		128
USB SurePOS Tabletop Scanner		129
RS232	True	000
	TTL	000
USB	Serial	130
	PC Keyboard	124
	Mac Keyboard	125
	Japanese Keyboard (PC)	134
	HID POS	131

データフォーマットエディタコマンド

送信コマンド

すべてのキャラクタ送信

- F1 入力メッセージ（読み取ったデータ）のすべてのキャラクタが出力メッセージに含まれます。現在のカーソル位置から始まり、最後にキャラクタを挿入します。Syntax = F1xx（xxは、挿入するキャラクタのASCIIコードに対するHex値を示しています。Dec値、Hex値、キャラクタコードについては15-4ページの[ASCII変換チャート（コードページ1252）](#)を参照してください。

いくつかのキャラクタ送信

- F2 入力メッセージ（読み取ったデータ）から指定した桁数のデータだけを送信します。現在のカーソル位置から「nn」個のキャラクタまで、もしくは入力メッセージの最後のキャラクタまで、最後にキャラクタを挿入して送信します。Syntax = F2nxxx（nnはキャラクタの数を示す数字（00～99）で、xxは、挿入するキャラクタのASCIIコードに対するHex値を示しています。Dec値、Hex値、キャラクタコードについては、15-4ページの[ASCII変換チャート（コードページ1252）](#)を参照してください。

特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信

- F3 現在のカーソル位置のキャラクタから始まり、検索キャラクタ「ss」の手前までのデータを送信します。続いて、指定したキャラクタを挿入します。カーソルは「ss」キャラクタへと移動します。Syntax = F3ssxx（nnは検索するキャラクタのASCIIコードに対するHex値を示し、

xxは、挿入したいキャラクタのASCIIコードに対する Hex 値を示しています。DEC値、Hex値、キャラクタコードについては、15-4ページの[ASCII変換チャート \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

最後のキャラクタ以外を送信

- E9 現在のカーソル位置から、最後の「nn」キャラクタを除く、すべての出力メッセージを送信します。カーソルは最後の入力メッセージキャラクタが含まれる位置を過ぎたところへ移動します。Syntax = E9nn (nnは、メッセージの最後で送られないキャラクタの数の数値 (00~99)を示しています)。

キャラクタの複数回挿入

- F4 現在のカーソル位置はそのまま、`「xx」`キャラクタを`「nn」`回出力メッセージで送信します。Syntax = F4xxnn (xxは、挿入したいキャラクタのASCIIコードに対するHex値を示し、nnは、送信する回数の数値 (00~99)を示しています)。DEC値、Hex値、キャラクタコードについては、15-4ページの[ASCII変換チャート \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

シンボル名の挿入

- B3 カーソルを動かすことなく、出力メッセージにバーコードシンボル名を挿入します。含まれるのは、ハネウェルIDのあるシンボルのみです (15-1ページの[シンボルチャート](#)を参照)。DEC値、Hex値、キャラクタコードについては、15-4ページの[ASCII変換チャート \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

バーコード長の挿入

- B4 カーソルを動かすことなく、出力メッセージにバーコードの長さを挿入します。バーコードの長さは数字のSTRINGによって示され、リード部の0は含まれません。

キーストロークの挿入

- B5 キーストローク、またはキーストロークの組み合わせを挿入します。キーストロークは、お使いのキーボードにより異なります (15-8ページの[ユニコードキーマップ](#)をご覧ください)。矢印やファンクションを含め、どんなキーも挿入できます。Syntax = B5xxssnn ssは下表のキーモディファイアであり、nnは15-8ページの[ユニコードキーマップ](#)のキー番号です。

キーモディファイ	
No Key Modifier	00
Shift Left	01
Shift Right	02
Alt Left	04
Alt Right	08

キーモディファイ	
Control Left	10
Control Right	20

例えば、B501021Fというコマンドを作成すると米国キーボード104キーにAを追加します。

B5 = キーストロークを挿入するコマンド

01 = キーモディファイア無しに押されたキーの数

02 = Shift Right のキーモディファイア

1F = 小文字の「a」

もし小文字の「a」が挿入されたら、B50121Fの設定は成功です。キーストロークが3つある場合、B5xxssnnをもう一つ追加し、SyntaxはB5xxssnnssnnssnnに変わります。「abc」を入力する場合は、以下のとおりです。B503001F00320030F833。

注： 必要であれば、キーモディファイアは組み合わせて一緒に付加することが可能です。例えば、Control Left (右Ctrl) + Shift Left (右シフト) = 11 となります。

移動コマンド

前方キャラクタへの移動

- F5 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ分、先へと移動させます。Syntax = F5nn (nnは、カーソルを前に移動させるキャラクタ数 (00 ~ 99) を示しています。)

後方キャラクタへのバック

- F6 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ分、後ろへ移動させます。Syntax = F6nn (nnは、カーソルを後ろに移動させるキャラクタ数 (00 ~ 99) を示しています。)

カーソルを先頭に

- F7 カーソルを入力メッセージの先頭キャラクタに移動させます。Syntax = F7

カーソルをエンドに移動

- EA カーソルを入力メッセージの最終キャラクタに移動します。Syntax = EA

検索コマンド

前方のキャラクタ検索

- F8 現在のカーソル位置より前方にある「xx」キャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。Syntax = F8xx (xxは、検索するキャラクタのASCIIコードに対するHex値を示しています。DEC値、Hex値、キャラクタコードについては、15-4 ページの[ASCII変換チャート \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

後方のキャラクタ検索

- F9 現在のカーソル位置より後方にある「xx」キャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。Syntax = F9xx (xxは、検索するキャラクタのASCIIコードにコードに対するHex値を示しています。DEC値、Hex値、キャラクタコードについては、15-4ページの[ASCII変換チャート \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

前方のストリング検索

- B0 現在のカーソル位置より前方にある「s」ストリングを検索し、カーソルは「s」ストリングに移動します。Syntax =B0nnnnS。nnnnはストリングの長さ(9999まで)で、sは対応するストリングの各キャラクタのASCII Hex値からなっています。例えば、B0000454657374では初めて4桁のキャラクタのストリングが登場する「Test」を前方検索します。DEC数、Hex値、キャラクタコードについては15-4ページの[ASCII変換チャート \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

効能帆ストリング検索

- B1 現在のカーソル位置より後方にある「s」ストリングを検索し、カーソルは「s」ストリングに移動します。Syntax =B1nnnnS。nnnn はストリングの長さ(9999まで)で、sは対応するストリングの各キャラクタのASCII Hex値からなっています。例えば、B1000454657374では初めて4キャラクタのストリングが登場する「Test」を後方検索します。DEC値、Hex値、キャラクタコードについては15-4ページの[ASCII変換チャート \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

マッチしないキャラクタの前方検索

- E6 現在のカーソル位置より前方にある「xx」以外のキャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルを「xx」ではないキャラクタに移動させます。Syntax = E6xx。xxは、検索キャラクタのASCIIコードにコードに対するHex値を示しています。DEC値、Hex値、キャラクタコードについては15-4ページの[ASCII変換チャート \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

マッチしないキャラクタの後方検索

- E7 現在のカーソル位置より後方にある「xx」以外のキャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルは「xx」ではないキャラクタに移動します。Syntax = E7xx。xxは、検索キャラクタのASCIIコードにコードに対するHex値を示しています。DEC値、Hex値、キャラクタコードについては15-4ページの[ASCII変換チャート \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

その他のコマンド

キャラクタ無効

- FB カーソルを他のコマンドで進めると、現在のカーソル位置から最大15の別のキャラクタをすべて無効にします。FCコマンドを実行することで、この機能を停止することができます。FBコマンドではカーソルが移動しませんので、ご注意ください。Syntax = FBnnxxyy . .zz 。 nn は、無効にしたいキャラクタの数、xxyy..zzは、無効したいキャラクタのHex値です。

キャラクタ無効の停止

- FC キャラクタの無効を停止し、無効になったキャラクタをすべて削除します。Syntax = FC

キャラクタの変更

- E4 出力メッセージにある最大 15桁のキャラクタをカーソルを移動せずに変更。変更は、E5コマンドを実行するまで続きます。
Syntax = E4nnxx₁xx₂yy₁yy₂...zz₁zz₂ nn は (変更前のキャラクタと変更後) のキャラクタの合計です。xx₁ は、変更前のキャラクタを、xx₂ は、変更後のキャラクタを定義します。
zz₁ と zz₂ まで同様です。

キャラクタ変更の停止

- E5 キャラクタの変更を停止します。Syntax = E5

キャラクタの比較

- FE 現在のカーソル位置にあるキャラクタをキャラクタ「xx」と比較します。キャラクタが同じ場合は、カーソルを1つ進めます。Syntax = FExx (xx は、比較するキャラクタのASCIIコードに対するHex値を示しています。DEC値、Hex値、キャラクタコードについては15-4 ページの[ASCII変換チャート \(コードページ1252\)](#) を参照してください。

ストリングの比較

- B2 入力メッセージにあるストリングをストリング「s」と比較します。ストリングが同じ場合は、カーソルをそのストリングの末尾まで移動させます。Syntax= B2nnnnS. nnnnはストリングの長さ (9999まで) で、sは対応するストリングの各キャラクタのASCII Hex値からなっています。例えば、B2000454657374は現在のカーソル位置のストリングと4つのキャラクタストリング「Test」を比べます。DEC値、Hex値、キャラクタコードについては[ASCII変換チャート \(コードページ1252\)](#) を参照してください。

数字チェック

- EC 現在のカーソル位置に ASCII数字があることを確認します。ASCII数字でない場合は、フォーマットを中止します。Syntax = EC

非数字キャラクタチェック

- ED 現在のカーソル位置に ASCII 数字以外のキャラクタがあることを確認します。キャラクタが数字の場合は、フォーマットを中止します。
Syntax = ED

ディレイの挿入

- EF 現在のカーソル位置から49,995 ミリ秒までの（5ミリ秒単位）ディレイを挿入します。Syntax = Efnnnn。nnnnは5ミリ秒単位でのディレイを示し、9999までです。このコマンドはキーボードウェッジインターフェースの場合にのみ、使用可能です。

データの破棄

- B8 データを破棄します。例えば、キャラクタ「A」で始まるCode 128を破棄するとします。5-2ページのStep4で、6A (Code 128) を選択し、Step 5で9999 (すべての長さ) を選択します。B8FE41コマンドを入力し、「A」で始まるCode 128バーコードのデータを破棄します。
Syntax = B8。

注： 他のデータフォーマット設定が、このB8 コマンドに影響します。Data Format Non-Match Error Tone (5-11ページのデータフォーマット非適合エラーブザー) が有効な場合、スキャナはエラーブザーを鳴らします。逆にData Format Non-Match Error Toneが無効になっている場合、コードの読み取りを行わないと同時に、エラーブザーもなりません。データフォーマットが有効になっているものの、要求しない設定 (5-10ページ) になっている場合、B8フォーマットに適合するバーコードでも通常通り読み取られて、そして出力されます。

データフォーマッタ

データフォーマッタを無効にすると、プリフィクスとサフィックスを含め、バーコードデータは読み取ったままホストに出力されます。



DFM_END.

Data Formatter Off (データフォーマッタオフ)

読み取ったデータをユーザーが作成・保存したデータフォーマットに合致させたい場合、以下の設定をデータフォーマットに適用することができます。

Data Formatter On, Not Required, Keep Prefix/Suffix

読み取ったデータはユーザーのデータフォーマットに合わせて調整され、プリフィクス、サフィックスも送信されます。

Data Formatter On, Not Required, Drop Prefix/Suffix

読み取ったデータは、データフォーマットに合わせて調整されます。データフォーマットが特定のシンボルの場合、それらのプリフィクス、サフィックスは送信されません。

Data Format Required, Keep Prefix/Suffix

読み取ったデータはデータフォーマットに合わせて調整され、プリフィクス、サフィックスも送信されます。ユーザーのデータフォーマットに合わない場合、すべてに対してエラーブザーが鳴らされ、そのバーコードのデータは送信されません。エラーブザー無しでこのタイプのバーコード操作を行いたい場合は、**データフォーマット非適合エラーブザー**をご覧ください。

Data Format Required, Drop Prefix/Suffix

読み取ったデータはデータフォーマットに合わせて調整されます。データフォーマットが特定のシンボルである場合、これらのプリフィクス、サフィックスが送信されません。ユーザーのデータフォーマットに合わない場合は、すべてエラーブザーが鳴らされます。エラーブザー無しでこのタイプのバーコード操作を行いたい場合は、**データフォーマット非適合エラーブザー**をご覧ください。

操作は以下から 1 つ選んでください。

初期設定 = Data Formatter On, Not Required, Keep Prefix/Suffix



DFM_EN3.

Data Formatter On,
Not Required,
Drop Prefix/Suffix



DFM_EN1.

* Data Formatter On,
Not Required,
Keep Prefix/Suffix



DFM_EN2.

Data Format Required,
Keep Prefix/Suffix



DFM_EN4.

Data Format Required,
Drop Prefix/Suffix

データフォーマット非適合エラーブザー

お客様が要望するデータフォーマットに合わないバーコードが読み込まれた場合は、通常スキャナがエラーブザーを鳴らします。しかし、エラーブザーを聞くことなくバーコード読み込みを続けたい場合もあります。**Data Format Non-Match Error Tone Off**バーコードを読み込むと、データフォーマットと一致しなかったデータは送信されず、エラーブザーもありません。非適合のバーコードがあったときにエラーブザーを聞きたい場合は、

Data Format Non-Match Error Tone Onバーコードを読み取ってください。初期設定 = *Data Format Non-Match Error Tone On*



DFMDEC1.

**Data Format Non-Match
Error Tone Off**



DFMDEC0.

*** Data Format Non-Match Error
Tone On**

基準/代用データフォーマット

データフォーマットは4種類保存することができ、それらのフォーマットを切り換えることができます。基準データフォーマットの場合は、0で保存してください。それ以外のフォーマットは1、2、3のどれかで保存してください。フォーマットが使えるようにするには、以下のバーコードをのいずれか1つを読み取ってください。



ALTFNMO.

Primary Data Format



ALTFNM1.

Data Format 1



ALTFNM2.

Data Format 2



ALTFNM3.

Data Format 3

シングルスキャンデータフォーマット変更

一回の読取だけでデータフォーマットの切り替えができます。以下のバーコードを代用データフォーマットで読み取り、上記で選択したフォーマット（基準、もしくは1、2、3）へと戻します。

例えば、データフォーマット3で機器を設定しているとします。下の**Single Scan-Data Format 1**バーコードをトリガーを一回引くことで読み取り、データフォーマット1へと切り換えます。次のバーコードはデータフォーマット1で読み取られ、またデータフォーマット3へと戻ります。



VSAF_1.

Single Scan-Data Format 1



VSAF_3.

Single Scan-Data Format 3



VSAF_0.

**Single Scan-Primary
Data Format**



VSAF_2.

Single Scan-Data Format 2

3310 Vuquestスキャナは様々なサードパーティ社製装置と接続が可能です。本章にあるバーコードを使用して、外部トリガーと照明制御が設定可能です。これらの制御がシンプルなトリガーシグナルを提供します。外部I/Oライセンスとケーブルが必要です。詳しくは、お近くのテクニカルサポートオフィス（14-1の[テクニカルサポート](#)を参照）にご連絡ください。

外部入力

外部トリガーコントロール

External Trigger Controlは サードパーティデバイスから 物体検知を行いスキャナにトリガーをかけます。サードパーティデバイスの物体検知を使用する場合、**External Trigger Control On**バーコードを読み取ってください。3310スキャナの 物体検知を使用する場合、**External Trigger Control Off**バーコードを読み取ってください。

初期設定 = *External Trigger Control Off*



EXTTRG0.

* External Trigger Control Off



EXTTRG1.

External Trigger Control On

外部トリガー極性

External Trigger PolarityにはHighとLowの2つの状態があります。デジタルHigh極性は1でデジタルLow極性は0です。もしサードパーティ製デバイスのトリガーのLow極性が0の場合、**External Trigger Polarity Low**バーコードを読み取ってください。初期設定 = *External Trigger Polarity High*



EXTTP01.

* External Trigger Polarity High



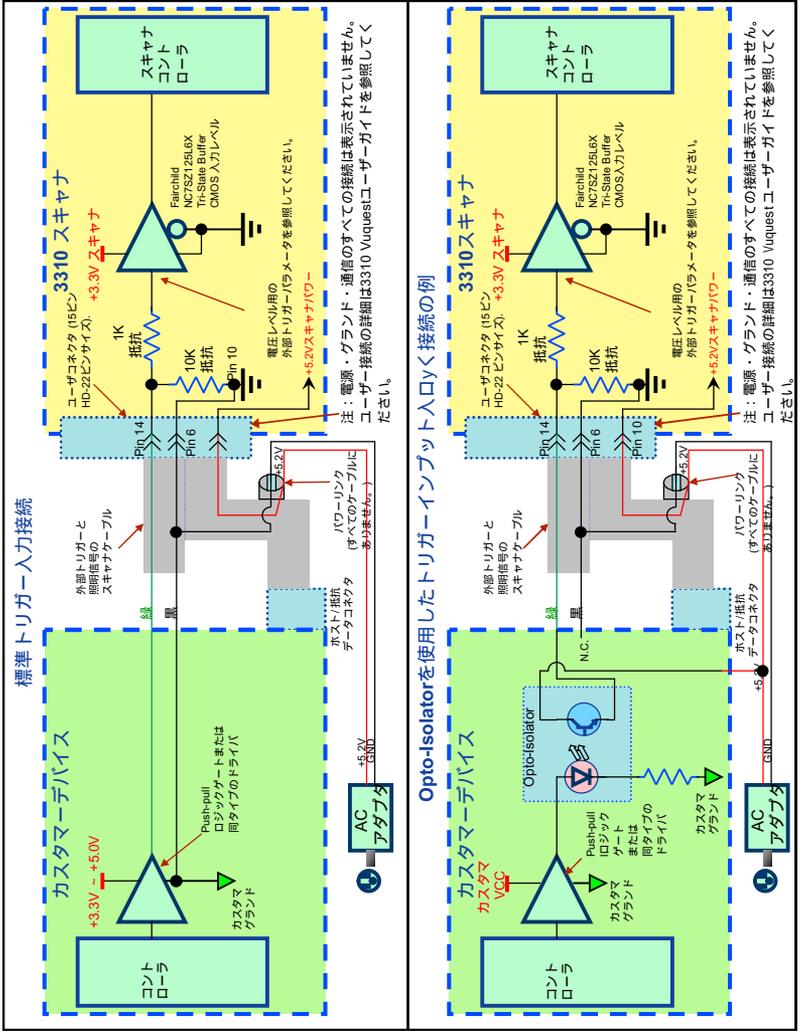
EXTTP00.

External Trigger Polarity Low

外部トリガーパラメータ

絶対最大値		
最大入力電圧	低値： -0.5 ボルト 高値： +5.5 ボルト	入力はグランド側にある入力保護ダイオードによって、保護されています。 この表の次のライン上で示される値以下で制限された電流ならば、入力電圧はグランド以下になります。
最大入力電流	低値： -6 ミリアンペア	入力保護ダイオード電流。 電流の限定因子は 1K Ω , 0402抵抗器中の消費です。 (ゲートダイオード制限ではない)
パラメータ値		
グランドへの入力抵抗	低値： 9.7 K Ω 公称値： 10.0 K Ω 高値： 10.3 K Ω	ブルダウンレジスタ装荷
最大入力定電圧 論理低レベル	高値： 0.8 ボルト	この値はハーネストロップやノイズのためのマージンを含んでいません。
入力高電圧閾値	低値： 2.6 ボルト	この値はハーネストロップやノイズのためのマージンを含んでいません。

外部トリガー図



外部出力

外部照明コントロール

External Illumination Controlは外部照明の使用やスキャナから照明を追加を許可します。照明がサードパーティから提供される場合、**External Illumination Control On**バーコードをスキャンしてください。

初期設定 = *External Illumination Control Off*



EXTILLO.

* **External Illumination Control Off**
(外部照明コントロールオフ)



EXTILL1.

External Illumination Control On
(外部照明コントロールオン)

外部照明パラメータ

絶対最大値		
スキャナの電源が落ちて いる時のアウトプットピン での最大電圧	高値：6 ボルト	動作中にこの表の次のライン上 で示された値を超えなければ、 このラインヘルプアップが可能 です。
最大電流は外部ソースから ピンに流れます。	高値：5mA	直列抵抗消費によって制限され る最大電流。
パラメータ値		
出力低電圧 Iout = 500uA	高値：0.6 ボルト	内部100オーム直列抵抗降下 を含みます。
出力低電圧 Iout = 1mA	高値：0.7 ボルト	
出力低電圧 Iout = 4mA	高値：1.0 ボルト	
出力低電圧 Iout = 6mA	高値：1.2 ボルト	
出力高電圧 Iout = -500uA	低値：3.6 ボルト	
出力高電圧 Iout = -1mA	低値：3.5 ボルト	
出力高電圧 Iout = -4mA	低値：3.3 ボルト	
出力高電圧 Iout = -6mA	低値：3.1 ボルト	

この章では、以下のメニュー項目について説明します。設定と初期設定については第11章を参照してください。

- All Symbolologies
- Aztec Code
- China Post (Hong Kong 2 of 5)
- Chinese Sensible (Han Xin) Code
- Codabar
- Codablock A
- Codablock F
- Code 11
- Code 128
- Code 32 Pharmaceutical (PARAF)
- Code 39
- Code 93
- Data Matrix
- EAN/JAN-13
- EAN/JAN-8
- GS1 Composite Codes
- GS1 DataBar Expanded
- GS1 DataBar Limited
- GS1 DataBar Omnidirectional
- GS1 Emulation
- GS1-128
- Interleaved 2 of 5
- Korea Post
- Matrix 2 of 5
- MaxiCode
- MicroPDF417
- MSI
- NEC 2 of 5
- Postal Codes - 2D
- Postal Codes - Linear
- PDF417
- GS1 DataBar Omnidirectional
- QR Code
- Straight 2 of 5 IATA (two-bar start/stop)
- Straight 2 of 5 Industrial (three-bar start/stop)
- TCIF Linked Code 39 (TLC39)
- Telepen
- Trioptic Code
- UPC-A
- UPC-A/EAN-13 with Extended Coupon Code
- UPC-E0
- UPC-E1

全シンボル

お使いのスキヤナで可能なシンボルをすべてデコードしたい場合は、**All Symbologies On** (すべてのシンボル 有効) のバーコードを読み取ります。特定のシンボルだけを読み取りたい場合は、**All Symbologies Off** (すべてのシンボル 無効) を読み取り、その後、特定のシンボルに対してOnバーコードを読み取ります。



ALLENA1.
All Symbologies On



ALLENA0.
All Symbologies Off

注： All Symbologies Onを読み取っても、2次元郵便コードの読み取りは有効になりません。2次元郵便コードについては、別に設定してください。

読取桁数について

バーコードシンボルによっては、読取桁数を設定できます。読み取ったバーコードのデータ桁数が指定した読取桁数と一致しない場合、エラーブザーが鳴ります。スキヤナに強制的に一定桁数のバーコードデータを読み取らせるため、最小と最大を同じ値に設定することも可能です。これは、読み取りエラーの削減に役立ちます。

例：桁数が 9～20 のバーコードだけをデコードする。

最小：09、最大：20

例：桁数が 15のバーコードだけをデコードする。

最小：15、最大：15

初期設定の最小および最大読み取り桁数以外の値にする場合は、そのシンボルの説明に含まれているバーコード読み取り、次に本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** の読み取り桁数の数値とSave (保存) のバーコードを読み取ります。最小と最大、および初期設定は、それぞれのシンボル別設定に記載されていますので、そちらを参照してください。

Codabar

<Codabar すべての設定を初期化>



Codabar オン/オフ



Codabar スタート/ストップキャラクタ

スタート/ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信の有無を選択できます。
初期設定 = Don't Transmit (送信しない)



Codabar チェックキャラクタ

Codabar チェックキャラクタは、いろいろな「モジュラス」を用いて作成します。モジュラス16チェックキャラクタを用いたCodabarのバーコードだけを読み取るよう、スキャナを設定できます。
初期設定 = No Check Character (チェックキャラクタなし)

No Check Character (チェックキャラクタなし) は、チェックキャラクタの有無に関係なくバーコードを読み取って送信することを示します。

Validate and Transmit (認証および送信) に設定すると、スキャナはチェックキャラクタが印刷されたCodabarのみ読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

Validate, but Don't Transmit (認証、送信しない) に設定すると、チェックキャラクタと共に印刷されたCodabarバーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは、読み取ったデータと一緒に送信されません。



CBRCK20.
* No Check Character



CBRCK21.
Validate Modulo 16, but
Don't Transmit



CBRCK22.
Validate Modulo 16
and Transmit

Codabar 連結機能

Codabarには、連結サポート機能があります。連結機能を有効にすると、「D」のスタートキャラクタがあるバーコードと、「D」のストップキャラクタがあるバーコードに隣接するCodabarを検索します。この場合、2つのデータは1つに連結され、「D」キャラクタは省略されます。



連結されていない単独の「D」Codabarをデコードしないようにするには、Required (要求する) を選択します。この選択をしても、「D」のスタート/ストップキャラクタがないCodabarには影響ありません。



CBRCC1.
On



CBRCC0.
* Off



CBRCC2.
Require

Codabar読取桁数

読取桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細について [読取桁数について](#) (7-2ページ) を参照してください。

最長と最短 = 2~60 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 60



CBRMIN.

Minimum Message Length



CBRMAX.

Maximum Message Length

Code 39

< Code 39 すべての設定を初期化 >



C39DFT.

Code 39 オン/オフ



C39ENA1.

* On



C39ENA0.

Off

Code 39 スタート/ストップキャラクタ

スタート/ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信の有無を選択できます。

初期設定 = Don't Transmit (送信しない)



C39SSX1.

Transmit



C39SSX0.

* Don't Transmit

Code 39 チェックキャラクタ

No Check Character (チェックキャラクタなし) は、チェックキャラクタの有無に関係なくバーコードを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックキャラクタが印刷されたCode 39バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタと読み取ったデータと一緒に送信しません。

Validate and Transmit (有効、送信する) に設定すると、チェックキャラクタが印刷されたCode 39バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

初期設定 = *No Check Character* (チェックキャラクタなし)



C39CK20.

* **No Check Character**



C39CK21.

Validate, but Don't Transmit



C39CK22.

Validate and Transmit

Code 39 読取桁数

読取桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#) (7-2ページ) を参照してください。設定可能
読取桁数 = 0 ~ 48 最短の初期設定値 = 0 最長の初期設定値 = 48



C39MIN.

Minimum Message Length



C39MAX.

Maximum Message Length

Code 39 アペンド機能

この機能により、複数のCode 39バーコードのデータを付加してからホストシステムに送信できます。この機能を有効にすると、スキャナはスペースで始まるCode 39バーコード (スタートおよびストップシンボルを除く) を保存し、すぐにはデータを送信しません。バーコードを読み取った順にデータを保存し、それぞれから最初のスペースを削除します。

スペース以外のキャラクタで始まる Code 39バーコード
を読み取ると、保存したデータを読み取った順で送信します (FIFO)。
初期設定 = Off (無効)



C39APP1.

On



C39APP0.

* Off

Code 32 Pharmaceutical (PARAF)

Code 32 Pharmaceuticalは、イタリアの薬局で使用されているCode 39の
一種です。PARAFとも呼ばれています。

注： Code 32 Pharmaceuticalのバーコードを読み取る場合は、Trioptic
Code (7-40ページ) を必ず無効にしてください。



C39B321.

On



C39B320.

* Off

Full ASCII

Full ASCII Code 39デコーディングを有効にすると、バーコード内のある一定のキャラクタペアが単独のキャラクタとして解釈されます。例えば、「\$V」はASCIIキャラクタの「SYN」として、「/C」は「#」としてデコードされます。初期設定 = Off (無効)

	DLE \$P	SP	SPACE	0	0	@	%V	P	P	'	%W	p	+P
SOH \$A NUL %U	DC1 \$Q	!	/A	1	1	A	A	Q	Q	a	+A	q	+Q
STX \$B	DC2 \$R	"	/B	2	2	B	B	R	R	b	+B	r	+R
ETX \$C	DC3 \$S	#	/C	3	3	C	C	S	S	c	+C	s	+S
EOT \$D	DC4 \$T	\$	/D	4	4	D	D	T	T	d	+D	t	+T
ENQ \$E	NAK \$U	%	/E	5	5	E	E	U	U	e	+E	u	+U
ACK \$F	SYN \$V	&	/F	6	6	F	F	V	V	f	+F	v	+V
BEL \$G	ETB \$W	'	/G	7	7	G	G	W	W	g	+G	w	+W
BS \$H	CAN \$X	(/H	8	8	H	H	X	X	h	+H	x	+X
HT \$I	EM \$Y)	/I	9	9	I	I	Y	Y	i	+I	y	+Y
LF \$J	SUB \$Z	*	/J	:	/Z	J	J	Z	Z	j	+J	z	+Z
VT \$K	ESC %A	+	/K	;	%F	K	K	[%K	k	+K	{	%P
FF \$L	FS %B	,	/L	<	%G	L	L	\	%L	l	+L		%Q
CR \$M	GS %C	-	-	=	%H	M	M]	%M	m	+M	}	%R
SO \$N	RS %D	.	.	>	%I	N	N	^	%N	n	+N	~	%S
SI \$O	US %E	/	/O	?	%J	O	O	_	%O	o	+O	DEL	%T

キャラクタペアの「/M」と「/N」は、それぞれマイナス記号とピリオドになります。「/P」から「/Y」までは、「0」～「9」になります。



C39ASCII.
Full ASCII On



C39ASCII.
* Full ASCII Off

Code 39 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページでられている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（15-6ページの「印刷バーコードのコードページマッピング」を参照）、

本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から値とSave (保存) のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



C39DCP.
Code 39 Code Page

Interleaved 2 of 5

< Interleaved 2 of 5 すべての設定を初期化 >



I25DFT.

Interleaved 2 of 5 オン/オフ



I25ENA1.

* On



I25ENA0.

Off

チェックデジット

No Check Digit (チェックデジットなし) は、チェックデジットの有無に関係なくスキャナがバーコードデータを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックデジットが印刷されたITFバーコードだけを読み取りますが、チェックデジットを読み取ったデータと一緒に送信することはありません。

Validate and Transmit (有効、送信する) に設定すると、チェックデジットが印刷されたITFバーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのチェックデジットを送信します。

初期設定 = No Check Digit (チェックデジットなし)



I25CK20.

* No Check Digit



I25CK21.

Validate, but Don't Transmit



I25CK22.

Validate and Transmit

Interleaved 2 of 5 読取桁数

読取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#) (7-2ページ) を参照してください。

設定可能桁数 = 2 ~ 80 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 80



I25MIN.

Minimum Message Length



I25MAX.

Maximum Message Length

NEC 2 of 5

< NEC 2 of 5すべての設定を初期化 >



N25DFT.

NEC 2 of 5 オン/オフ



N25ENA1.

* On



N25ENA0.

Off

チェックデジット

No Check Digit (チェックデジットなし) は、チェックデジットの有無に関係なくスキャナがバーコードデータを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックデジットが印刷されたNEC 2 of 5バーコードだけを読み取りますが、チェックデジットを読み取ったデータと一緒に送信することはありません。

Validate and Transmit (有効、送信する) に設定すると、チェックデジットが印刷されたNEC 2 of 5バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのチェックデジットを送信します。

初期設定 = **No Check Digit** (チェックデジットなし)



N25CK20.

* No Check Digit



N25CK21.

Validate, but Don't Transmit



N25CK22.

Validate and Transmit

NEC 2 of 5 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については [読取桁数について](#)（7-2ページ）を参照してください。
設定可能桁数 = 2 ~ 80 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 80



N25MIN.

Minimum Message Length



N25MAX.

Maximum Message Length

Code 93

< Code 93すべての設定を初期化 >



C93DFT.

Code 93 オン/オフ



C93ENA1.

* On



C93ENA0.

Off

Code 93 読取桁数

読取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#)（7-2ページ）を参照してください。
設定可能桁数 = 0 ~ 80 最短の初期設定値 = 0 最長の初期設定値 = 80



C93MIN.

Minimum Message Length



C93MAX.

Maximum Message Length

Code 93 アペンド機能

この機能を使用すると、複数のCode 93バーコードをホストデバイスに送信する前に一緒連結させることができます。スペースで始まるCode 93（スタート/ストップシンボルを除く）を読み取った順に保存し、各バーコードからスペースを削除します。

スペース以外で始まるCode 93 バーコードを読み取ると、スキャナは結合したデータをホストデバイスに送信します。

初期設定 = Off (無効)



C93APP1.

On



C93APP0.

* Off

Code 93 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し、(15-6ページの「印刷バーコードのコードページマッピング」を参照)、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値とSave (保存)のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



C93DCP.

Code 93 Code Page

Straight 2 of 5 Industrial (3 バースタート/ストップ)

<Straight 2 of 5 Industrialすべての設定を初期化>



R25DFT.

Straight 2 of 5 Industrial オン/オフ



R25ENA1.

On



R25ENA0.

* Off

Straight 2 of 5 Industrial 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#) (7-2ページ)を参照してください。

設定可能桁数 = 1 ~ 48 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 48



R25MIN.

Minimum Message Length



R25MAX.

Maximum Message Length

Straight 2 of 5 IATA (2バースタート/ストップ)

<straight 2 of 5 IATAすべての設定を初期化>



A25DFT.

Straight 2 of 5 IATA オン/オフ



A25ENA1.

On



A25ENA0.

* Off

Straight 2 of 5 IATA 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#) (7-2ページ)を参照してください。
設定可能桁数 = 1 ~ 48 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 48



A25MIN.

Minimum Message Length



A25MAX.

Maximum Message Length

Matrix 2 of 5

<Matrix 2 of 5すべての設定を初期化>



X25DFT.

Matrix 2 of 5 オン/オフ



X25ENA1.

On



X25ENA0.

* Off

Matrix 2 of 5 読取桁数

読取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#)（7-2ページ）を参照してください。

設定可能桁数 = 1 ~ 80 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 80



X25MIN.

Minimum Message Length



X25MAX.

Maximum Message Length

Code 11

<Code 11すべての設定を初期化>



C11DFT.

Code 11 オン/オフ



C11ENA1.

On



C11ENA0.

* Off

必要チェックデジット数

Code 11バーコードに必要なチェックデジットを1つまたは2つに設定します。

初期設定 = Two Check Digits (チェックデジット2つ)



C11CK20.

One Check Digit



C11CK21.

* Two Check Digits

Code 11 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#)（7-2ページ）を参照してください。

設定可能桁数 = 1 ~ 80 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 80



C11MIN.

Minimum Message Length



C11MAX.

Maximum Message Length

Code 128

<Code 128すべての設定を初期化>



128DFT.

Code 128 オン/オフ



128ENA1.

* On



128ENA0.

Off

ISBT 128 連結機能

1994年、国際輸血学会（ISBT）は、血液の重要情報を一定の方法でやり取りするための基準を定めました。ISBTフォーマットを使用するには、有料ライセンスが必要です。ISBT 128のアプリケーション仕様では、次の内容を規定しています。1) 血液製品にラベル表示をするための重要なデータ要素、2) セキュリティが高度で設計のスペース効率が良いことからCode 128の使用を現在は推奨すること、

3) 隣接シンボルの連結をサポートするCode 128の変形、4) 血液製品ラベルのバーコードの標準レイアウト。

初期設定 = Off (無効)



ISBENA1.

On



ISBENA0.

* Off

Code 128 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#) (7-2ページ) を参照してください。

設定可能桁数 = 1 ~ 80 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 80



128MIN.

Minimum Message Length



128MAX.

Maximum Message Length

Code 128 アペンド機能

この機能では、複数のCode 128バーコードをホストデバイスに送信する前に連結して送信することが可能です。スキャナが連結を示すキャラクタを含んだCode 128バーコードを読み取ると、連結を示すキャラクタを含まないバーコードを読み取るまでCode 128バーコードのデータを一時的に保存します。バーコードデータは読み取った順に出力されます (FIFO)。

初期設定 = Off (無効)



128APP1.

On



128APP0.

* Off

Code 128 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（15-6ページの「[印刷バーコードのコードページマッピング](#)」を参照）本書の裏表紙の内側にある[プログラミングチャート](#)から値とSave（保存）のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



128DCP.

Code 128 Code Page

GS1-128

<GS1-128すべての設定を初期化>



GS1DFT.

GS1-128 オン/オフ



GS1ENA1.

* On



GS1ENA0.

Off

GS1-128 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#) (7-2ページ) を参照してください。

設定可能桁数 = 1 ~ 80 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 80



GS1MIN.

Minimum Message Length



GS1MAX.

Maximum Message Length

Telepen

<Telepenすべての設定を初期化>



TELEDFT.

Telepen オン/オフ



TELENA1.

On



TELENA0.

* Off

Telepen 出力

AIM Telepen Output (AIM Telepen出力) を使用すると、スキャナはスタート/ストップパターン1のシンボルを読み取り、標準のFull ASCII (スタート/ストップパターン 1) としてデコードします。
Original Telepen Output (オリジナルTelepen出力) を選択すると、スタート/ストップパターン1のシンボルを読み取り、オプションのFull ASCII (スタート/ストップパターン2) を含む圧縮された数値としてデコードします。

初期設定 = AIM Telepen Output (AIM Telepen出力)



TELOLD0.

* AIM Telepen Output



TELOLD1.

Original Telepen Output

Telepen Message Length

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#)（7-2ページ）を参照してください。
設定可能桁数 = 1 ~ 60 最短の初期設定値 = 1 最長の初期設定値 = 60



TELMIN.

Minimum Message Length



TELMAX.

Maximum Message Length

UPC-A

<UPC-Aすべての設定を初期化>



UPADFT.

UPC-A オン/オフ



UPAENA1.

* On



UPAENA0.

Off

UPC-A チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。

初期設定 = On (有効)



UPACKX1.

* On



UPACKX0.

Off

UPC-A システム番号

通常は読み取ったデータの最初にUPCシボルのシステム番号を送信しますが、送信しないように設定できます。

初期設定 = On (有効)



UPANSX1.

* On



UPANSXD.

Off

UPC-A 追加デジット

読み取ったすべてのUPC-Aデータの最後に2桁または5桁のアドオンを追加します。

初期設定 = Off for both 2 Digit and 5 Digit Addenda

(2 桁と5桁の両方のアドオン追加 禁止)



UPAAD21.

2 Digit Addenda On



UPAAD20.

* 2 Digit Addenda Off



UPAAD51.

5 Digit Addenda On



UPAAD50.

* 5 Digit Addenda Off

UPC-A 追加デジット要

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのあるUPC-Aバーコードだけを読み取ります。7-26ページに記載された2桁または5桁のアドオンを有効にする必要があります。

初期設定 = Not Required (要求しない)



UPAARQ1.

Required



UPAARQ0.

* Not Required

UPC-A 追加デジットセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます無効にすると、スペースはできません。
初期設定 = On.



UPAADS1.

* On



UPAADS0.

Off

拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13

次のバーコードを使用し、拡張クーポンコード付きUPC-AおよびEAN-13を有効または無効にします。もし初期設定 (Off) のままにしておくと、スキャナはクーポンコードと拡張クーポンコードを1つのバーコードと見なします。

Allow Concatenation (連結許可) コードを読み取ると、スキャナがクーポンコードと拡張クーポンコードを1つの読み取りで認識した場合、どちらも別々のシンボルとして送信します。それ以外の場合は、読み取った最初のクーポンコードを送信します。

Require Concatenation (連結必須) コードを読み取ると、スキャナはクーポンコードと拡張クーポンコードを1つとして読み取り、データを送信します。両方のコードが読まれない限り、データは出力されません。

初期設定 = Off (無効)



CPNENAD.

* Off



CPNENA1.

Allow Concatenation



CPNENA2.

Require Concatenation

クーポン **GS1 DataBar** 出力

もしUPCとGS1データバー 両方のバーコードを含んだクーポンを読み取った場合、GS1データバーのデータのみ読み取り、そして出力したい場合もあるかもしれません。**GS1 Output On** (GS1 データバーのみ出力 有効)を読み取ると、GS1データバーバーコードだけを読み取り、そのデータだけを出力します。
初期設定 = **GS1 Output Off** (GS1 DataBarのみ出力 無効)



CPNGS10.
* **GS1 Output Off**



CPNGS11.
GS1 Output On

UPC-E0

<UPC-Eすべての設定を初期化>



UPEDFT.

UPC-E0 オン/オフ

ほとんどのUPCバーコードは、「0」のナンバーシステムコードで始まります。これらのバーコードには、**UPC-E0 On**の設定を使用します。「1」のナンバーシステムコードで始まるバーコードを読み取る必要がある場合は、**UPC-E1** (7-31ページ)を使用します。
初期設定 = **On** (有効)



UPEEN01.
* **UPC-E0 On**



UPEEN00.
UPC-E0 Off

UPC-E0の拡張

UPC-Eバーコードを12桁のUPC-Aフォーマットに拡張します。
初期設定 = Off (無効)



UPEEXP1.

On



UPEEXP0.

* Off

UPC-E0 追加デジット要

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのあるUPC-Eバーコードだけを読み取ります。

初期設定 = Not Required (要求しない)



UPEARQ1.

Required



UPEARQ0.

* Not Required

UPC-E0 追加デジットセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンデータとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。

初期設定 = On (有効)



UPEADS1.

* On



UPEADS0.

Off

UPC-E0 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。

初期設定 = On (有効)



UPECKX1.

* On



UPECKX0.

Off

UPC-E0 システム番号

UPC-Aシンボルのシステム番号は通常読み取ったデータの最初に送信されますが、UPC-Eの拡張を使用している場合、送信しないように設定されます。

初期設定 = On (有効)



UPENSX1.

* On



UPENSX0.

Off

UPC-E0 追加デジット

読み取ったすべてのUPC-Eデータの最後に2桁または5桁のアドオンを追加します。初期設定 = Off for both 2 Digit and 5 Digit Addenda (2桁と5桁の両方のアドオン追加 無効)



UPEAD21.

2 Digit Addenda On



UPEAD20.

* 2 Digit Addenda Off



UPEAD51.

5 Digit Addenda On



UPEAD50.

* 5 Digit Addenda Off

UPC-E1

ほとんどの UPC バーコードは、「0」のシステム番号で始まります。これらのバーコードには、**UPC-E0**（7-28ページ）を使用します。「1」のシステム番号で始まるバーコードを読み取る必要がある場合は、**UPC-E1 On**（UPC-E1 有効）を選択してください。

初期設定 = Off（無効）



UPEEN11.
UPC-E1 On



UPEEN10.
* UPC-E1 Off

EAN/JAN-13

<EAN/JANすべての設定を初期化>



E13DFT.

EAN/JAN-13 オン/オフ



E13ENA1.
* On



E13ENAO.
Off

EAN/JAN-13 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = On（有効）



E13CKX1.
* On



E13CKXD.
Off

EAN/JAN-13 追加デジット

読み取ったすべてのEAN/JAN-13データの最後に2桁または5桁のアドオンを追加します。初期設定= Off for both 2 Digit and 5 Digit Addenda (2桁と5桁の両方のアドオン追加 無効)



E13AD21.

2 Digit Addenda On



E13AD51.

5 Digit Addenda On



E13AD20.

* 2 Digit Addenda Off



E13AD50.

* 5 Digit Addenda Off

EAN/JAN-13 追加デジット要

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのあるEAN/JAN-13バーコードだけを読み取ります。

初期設定 = **Not Required** (要求しない)



E13ARQ1.

Required



E13ARQ0.

* Not Required

EAN/JAN-13 追加デジットセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。
初期設定 = On (有効)



E13ADS1.

* On



E13ADS0.

Off

注： 拡張クーポンコード付きEAN13を有効もしくはは無効にしたい場合は、
[拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13](#) (7-27ページ) を参照してください。

ISBN変換

ISBNはEAN-13バーコードを用いて本にプリントされているものです。
EAN-13 Booklandシンボルを同等のISBN番号フォーマットに変換するには、
下のOnバーコードを読み取ってください。
初期設定 = Off (無効)



E13ISB1.

On



E13ISB0.

* Off

EAN/JAN-8

<EAN/JAN-8すべての設定を初期化>



EA8DFT.

EAN/JAN-8 オン/オフ



EA8ENA1.

* On



EA8ENAO.

Off

EAN/JAN-8 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定
できます。初期設定 = On (有効)



EA8CKX1.

* On



EA8CKXD.

Off

EAN/JAN-8 追加デジット

読み取ったすべてのEAN/JAN-8データの最後に2桁または5桁のデジットを追加します。初期設定 = Off for both 2 Digit and 5 Digit Addenda (2桁と5桁の両方のアドオン追加 許可)



EABAD21.

2 Digit Addenda On



EABAD20.

* 2 Digit Addenda Off



EABAD51.

5 Digit Addenda On



EABAD50.

* 5 Digit Addenda Off

EAN/JAN-8 追加デジット要

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのあるEAN/JAN-8バーコードだけを 読み取ります。

初期設定 = Not Required (要求しない)



EABARQ1.

Required



EABARQ0.

* Not Required

EAN/JAN-8 追加デジットセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。

初期設定 = On (有効)



EABADS1.

* On



EABADS0.

Off

MSI

<MSIすべての設定を初期化>



MSIDFT.

MSI オン/オフ



MSIENA1.

On



MSIENAO.

* Off

MSI チェックキャラクタ

MSIバーコードにはいろいろな種類のチェックキャラクタが使用されていますが、タイプ10のチェックキャラクタのあるMSIバーコードを読み取るようにスキャナを設定できます。

初期設定 = *Validate Type 10, but Don't Transmit* (タイプ10有効、送信しない)

Validate Type 10/11 and Transmit (タイプ10/11 有効、送信する) に設定すると、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷されたMSIバーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

Validate Type 10/11, but Don't Transmit (タイプ10/11 有効、送信しない)に設定した場合は、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷されたMSIバーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは読み取ったデータといっしょに送信しません。



MSICHECK0.

* **Validate Type 10, but Don't Transmit**



MSICHECK1.

Validate Type 10 and Transmit



MSICHECK2.

Validate 2 Type 10 Characters, but Don't Transmit



MSICHECK3.

Validate 2 Type 10 Characters and Transmit



MSICHECK4.

Validate Type 10 then Type 11 Character, but Don't Transmit



MSICHECK5.

Validate Type 10 then Type 11 Character and Transmit



MSICHECK6.

Disable MSI Check Characters

MSI 読取桁数

読取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#) (7-2ページ)を参照してください。
最小と最大 = 1 ~ 80、最短の初期設定 = 3、最大の初期設定 = 80



MSIMIN.

Minimum Message Length



MSIMAX.

Maximum Message Length

GS1 DataBar Omnidirectional

< GS1 DataBar Omnidirectionalすべての設定を初期化 >



RSSDFT.

GS1 DataBar Omnidirectional オン/オフ



RSSENA1.

* On



RSSENA0.

Off

GS1 DataBar Limited

< GS1 DataBarすべての設定を初期化 >



RSLDFT.

GS1 DataBar Limited オン/オフ



RSLENA1.

* On



RSLENA0.

Off

GS1 DataBar Expanded

< GS1 DataBar Expandedすべての設定を初期化>



RSEDFT.

GS1 DataBar Expanded オン/オフ



RSEENA1.

* On



RSEENA0.

Off

GS1 DataBar Expanded 読取桁数

読取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#)（7-2ページ）を参照してください。
最小と最大=4~74、最小の初期設定 = 4、最大の初期設定 = 74



RSEMIN.

Minimum Message Length



RSEMAX.

Maximum Message Length

Trioptic Code

注： Code 32 Pharmaceutical codes (7-8ページ) を読み取る場合には、*Trioptic Code* を無効に設定してください。

Trioptic Codeコードとは磁気記憶媒体のラベリングに用いられるものです。



TRIENA1.
On



TRIENA0.
* Off

Codablock A

<Codablock Aすべての設定を初期化>



CBADFT.

Codablock A オン/オフ



CBAENA1.
On



CBAENA0.
* Off

Codablock A 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については [読取桁数について](#) (7-2ページ) を参照してください。
最長と最短 = 1 ~ 600、最短の初期設定 = 1、最長の初期設定 = 600



CBAMIN.

Minimum Message Length



CBAMAX.

Maximum Message Length

Codablock F

<Codablock Fすべての設定を初期化>



CBFDF.T.

Codablock F オン/オフ



CBFENA1.

On



CBFENAQ.

* Off

Codablock F 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#) (7-2ページ) を参照してください。

最長と最短 = 1 ~ 2048、最短の初期設定 = 1、最長の初期設定 = 2048



CBFMIN.

Minimum Message Length



CBFMAX.

Maximum Message Length

PDF417

< PDF417すべての設定を初期化 >



PDFDFT.

PDF417 オン/オフ



PDFENA1.

* On



PDFENA0.

Off

PDF417 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#) (7-2ページ) を参照してください。

最長と最短 = 1 ~ 2750、最短の初期設定 = 1、最長の初期設定 = 2750



PDFMIN.

Minimum Message Length



PDFMAX.

Maximum Message Length

MicroPDF417

< MicroPDF417すべての設定を初期化 >



MPDDFT.

MicroPDF417 オン/オフ



MPDENA1.

On



MPDENA0.

* Off

MicroPDF417 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#) (7-2ページ)を参照してください。
最長と最短 = 1 ~ 366、最短の初期設定 = 1、最長の初期設定 = 366



MPDMIN.

Minimum Message Length



MPDMAX.

Maximum Message Length

GS1 Compositeコード

リニアコードと固有の2D合成成分とが複合され、GS1コンポジット シンボルと呼ばれる新たなクラスを形成します。GS1コンポジット シンボルにより、すでに使用されているシンボルとの共存が可能になります。

初期設定 = Off (無効)



COMENA1.

On



COMENAD.

* Off

UPC/EAN Version

UPCまたはEAN 1次元バーコードを含むGS1コンポジットシンボルをデコードするときは、**UPC/EAN Version On** (UPC/EANバージョン 有効)を読み取ります。(GS1-128、もしくはGS1バーコードを含む GS1コンポジットシンボルには影響しません。)

初期設定 = UPC/EAN Version Off (UPC/EAN バージョン 無効)



COMUPC1.

UPC/EAN Version On



COMUPCD.

* UPC/EAN Version Off

注： クーポンがUPCとGS1 DataBar両方をを含んでいて、GS1 DataBarコードデータのみを出力したい場合があるかもしれません。そういった場合は、[クーポンGS1 DataBar 出力](#) (7-28ページ)を参照してください。

GS1 Composite Code 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#) (7-2ページ)を参照してください。

最長と最短 = 1 ~ 2435、最短の初期設定 = 1、最長の初期設定 = 2435



COMMIN.

Minimum Message Length



COMMAX.

Maximum Message Length

GS1エミュレーション

スキャナは任意の GS1データキャリアからの出力を自動的にフォーマットし、同等のGS1-128もしくはGS1データバーシムボルでデコードされる内容をエミュレートすることができます。GS1データキャリアにはUPC-A、UPC-E、EAN-13ならびにEAN-8、ITF-14、GS1-128ならびにGS1-128データバーとGS1コンポジットがあります。(GS1データに対応するアプリケーションは、すべて単純化できます。データキャリアのタイプを 1つ認識するだけですむからです。)

GS1-128 Emulation (GS1-128エミュレーション)を読み取ると、すべての小売コード (U.P.C., UPC-E, EAN8, EAN13) が16桁に拡張されて出力されます。AIM ID が有効な場合、その値はGS1-128 AIM ID, Jc1となります (15-1ページの**シムボルチャート**参照)。

GS1 DataBar Emulation (GS1データバーエミュレーション)を読み取ると、すべての小売コード (U.P.C., UPC-E, EAN8, EAN13) が16桁に拡張されて出力されます。AIM IDが有効な場合、その値はGS1-データバー AIM ID, Jemとなります (15-1ページの**シムボルチャート**参照)。

GS1 Code Expansion Off (GS1コード エミュレーション 無効)を読み取ると、小売コード拡張が無効となり**UPC-E0 Expand** (7-29ページ) 設定によって制御されます。AIM IDが有効な場合、その値は、GS1-128 AIM ID, Jc1となります (15-1ページの**シムボルチャート**参照)。

EAN8 to EAN13 Conversionを読み取ると、すべてのEAN8バーコードはEAN13フォーマットに転換されます。

初期設定 = GS1 Emulation Off (GS1 エミュレーション 有効)



EANEMU1.
GS1-128 Emulation



EANEMU2.
GS1 DataBar Emulation



EANEMU3.
GS1 Code Expansion Off



EANEMU4.
EAN8 to EAN13 Conversion



EANEMU0.
* GS1 Emulation Off

TCIF Linked Code 39 (TLC39)

このバーコードは、Code 39のバーコード部分とMicroPDF417のスタックコード部分による複合コードになっています。どのバーコードスキャナにもCode39バーコードを読み取る能力がありますが、MicroPDF417の部分をデコードできるのはTLC39 On (TLC39 有効) に設定したときだけです。バーコード部分は、TLC39が無効でも Code39としてデコードできます。

初期設定 = Off (無効)



T39ENA1.

On



T39ENA0.

* Off

QRコード

< QR Codeすべての設定を初期化 >



QRCDFT.

QRコード オン/オフ

この設定はQRコードならびにMicroQRコードどちらにも対応しています。



QRCENA1.

* On



QRCENA0.

Off

QRコード 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#) (7-2ページ)を参照してください。
最長と最短 = 1 ~ 7089、最短の初期設定 = 1、最長の初期設定 = 7089



QRCMIN.
Minimum Message Length



QRCMAX.
Maximum Message Length

QRコード ページ

QRコードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し (15-6ページの「[印刷バーコードのコードページマッピング](#)」を参照)、本書の裏表紙の内側にある[プログラミングチャート](#)から値とSave (保存) のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



QRDCP.
QR Code Page

Data Matrix

< Data Matrixすべての設定を初期化 >



Data Matrix オン/オフ



Data Matrix 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#) (7-2ページ) を参照してください。
最長と最短 = 1 ~ 3116、最短の初期設定 = 1、最長の初期設定 = 3116



Data Matrixコードページ

Data Matrixコードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し (15-6ページの「[印刷バーコードのコードページマッピング](#)」を参照)

本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から値とSave（保存）のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



IDMDCP.
Data Matrix Code Page

Low Density Data Matrix

低分解能のData Matrixコード（少ない情報のコード）を読み取る場合は、次の**Low Density Codes On**バーコードを読み取ります。この設定はData Matrixコードを読み取るときに、スキャナの性能を改善します。

初期設定 = *Low Density Codes Off*



IDMBST1.
Low Density Codes On



IDMBST0.
* Low Density Codes Off

Maxiコード

< MaxiCodeすべての設定を初期化 >



MaxiCode オン/オフ



MaxiCode 読取桁数

読取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読取ります。詳細については[読取桁数について](#) (7-2ページ)を参照してください。
最長と最短 = 1 ~ 150、最短の初期設定 = 1、最長の初期設定 = 150



Aztecコード

< Aztec Codeすべての設定を初期化 >



Aztec Code オン/オフ



Aztec Code 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#)（7-2ページ）を参照してください。

最長と最短 = 1 ~ 3832、最短の初期設定 = 1、最長の初期設定 = 3832



Minimum Message Length



Maximum Message Length

Aztec 追加デジット

この機能では、複数のAztecコードのデータをホストデバイスに送信する前に連結させることが可能です。連結開始のキャラクタを含んだAztecコードを読み取ると、Aztecコードに含まれた情報に従って、決められた数量のAztecコードを一時的に保存します。

適切な数量のAztecコードを読み取ったら、コード内の情報で定義された
順番でデータが出力されます。

初期設定 = Off (無効)



AZTAPP1.

On



AZTAPP0.

* Off

Aztecコードページ

Aztecコードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（15-6ページの「印刷バーコードのコードページマッピング」を参照）、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値とSave（保存）のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



AZTDCP.

Aztec Code Page

中国 (Han Xin = 漢信)コード

< 漢信コード すべての設定を初期化 >



HX_DFT.

漢信コード オン/オフ



HX_ENA1.

On



HX_ENA0.

* Off

漢信コード 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#)（7-2ページ）を参照してください。

最長と最短 = 1 ~ 7833、最短の初期設定 = 1、最長の初期設定 = 7833



HX_MIN.

Minimum Message Length



HX_MAX.

Maximum Message Length

郵便コード - 2D

以下は、読み込み可能な2次元郵便コードと認識可能な2次元郵便コードの組み合わせです。1つの2次元郵便コードしか有効にできません。2つ目の郵便コード設定を有効にすると場合、初めの設定は上書きされます。

初期設定 = 2D Postal Codes Off (2次元郵便コード 無効)



POSTAL0.

* 2D Postal Codes Off

2D郵便コード (単独)



POSTAL7.

British Post On



POSTAL10.

Intelligent Mail Bar Code On



POSTAL4.

KIX Post On



POSTAL9.

Postal-4i On



POSTAL1.

Australian Post On



POSTAL30.

Canadian Post On



POSTAL3.

Japanese Post On



POSTAL5.

Planet Code On

7-58ページのPlanet Code
チェックデジットも参照の
こと



POSTAL6.

Postnet On

7-58ページのPostnetチェック
デジットも参照のこと



POSTAL11.

Postnet with B and B' Fields On



POSTAL2.

InfoMail On

2D郵便コード (組み合わせ)



POSTAL8.

InfoMail and British
Post On



POSTAL20.

Intelligent Mail Bar Code and
Postnet with B and B' Fields On



POSTAL14.

Postnet and
Postal-4i On



POSTAL16.

Postnet and
Intelligent Mail Bar Code On



POSTAL17.

Postal-4i and
Intelligent Mail Bar Code On



POSTAL19.

Postal-4i and
Postnet with B and B' Fields On



POSTAL12.

Planet Code and
Postnet On



POSTAL18.

Planet Code and
Postnet with B and B' Fields On



POSTAL15.
Planet Code and
Intelligent Mail Bar Code On



POSTAL22.
Planet Code,
Postnet, and
Intelligent Mail Bar Code On



POSTAL24.
Postnet,
Postal-4i, and
Intelligent Mail Bar Code On



POSTAL26.
Planet Code,
Intelligent Mail Bar Code, and
Postnet with B and B' Fields On



POSTAL28.
Planet Code,
Postal-4i,
Intelligent Mail Bar Code, and
Postnet On



POSTAL13.
Planet Code and
Postal-4i On



POSTAL21.
Planet Code,
Postnet, and
Postal-4i On



POSTAL23.
Planet Code,
Postal-4i, and
Intelligent Mail Bar Code On



POSTAL25.
Planet Code,
Postal-4i, and
Postnet with B and B' Fields On



POSTAL27.
Postal-4i,
Intelligent Mail Bar Code, and
Postnet with B and B' Fields On



POSTAL29.
Planet Code,
Postal-4i,
Intelligent Mail Bar Code, and
Postnet with B and B' Fields On

Planet Code チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = Don't Transmit (送信なし)



PLNCKX1.

Transmit Check Digit



PLNCKXD.

* Don't Transmit Check Digit

Postnet チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = Don't Transmit (送信なし)



NETCKX1.

Transmit Check Digit



NETCKXD.

* Don't Transmit Check Digit

オーストラリア郵政変換

この機能では、オーストラリア郵便で使用されている4-State バーコードに含まれている顧客フィールドにどのような判読が適用されるかを制御します。

Bar Output (バー出力)

バーコードのパターンを「0123」フォーマットで一覧にします。

Numeric N Table (漢字Nテーブル)

N Tableを使用して、フィールドを数字データとして判読します。

Alphanumeric C Table (英数字Cテーブル)

C Tableを使用して、フィールドを英数字データとして判読します。

詳細については、オーストラリア郵便仕様書を参照してください。

Combination C and N Tables (Cおよび、Nコンビネーションテーブル)

C TableまたはN Tablesを使用して、フィールドを判読します。



AUSINT0.

* Bar Output



AUSINT1.

Numeric N Table



AUSINT2.

Alphanumeric C Table



AUSINT3.

Combination C and N Tables

郵便コード - 1次元バーコード

1次元の郵便コードを以下に挙げます。いかなる1次元郵便コードの組み合わせでも同時に有効にすることが可能です。

中国郵政 (Hong Kong 2 of 5)

<中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5) すべての設定を初期化>



CPCDFT.

中国郵政 (Hong Kong 2 of 5) オン/オフ



CPCENA1.

On



CPCENAD.

* Off

中国郵政(Hong Kong 2 of 5) 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。
詳細について [読取桁数について](#) (7-2ページ) を参照してください。
最小と最大 = 1 ~ 80、最小の初期設定 = 3、最大の初期設定 = 80



CPCMIN.

Minimum Message Length



CPCMAX.

Maximum Message Length

韓国郵政

<韓国郵便コード すべての設定を初期化>



KPCDFT.

韓国郵政



KPCENA1.

On



KPCENA0.

* Off

韓国郵政 読取桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読取桁数について](#) (7-2ページ) を参照してください。

最長と最短 = 2 ~ 80、最短の初期設定 = 4、最長の初期設定 = 48



KPCMIN.

Minimum Message Length



KPCMAX.

Maximum Message Length

韓国郵政 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = Don't Transmit (送信なし)



KPCCHK1.

Transmit Check Digit



KPCCHK0.

* Don't Transmit Check Digit

イメージングコマンド

スキャナは、デジタルカメラのように画像の取り込み、処理、および転送を行うことができます。以下のコマンドでスキャナの機能実行方法を変更することができます。

シングル使用ベース

モディファイア付きのイメージングコマンドは、スキャナにシングル使用ベースで命令を送信し、1つの画像取り込みに対し動作します。取り込みが終わると、スキャナはイメージングの初期設定へと戻ります。設定を恒久的に変えたければ、Serial default commands (第11章参照)を使います。Serial default commandsを用いると、設定は新しいものになり、スキャナの恒久的設定となります。

コマンドシンタックス

複数のモディファイアやコマンドは1つのシーケンス内で行われます。追加モディファイアが同じコマンドに適用している場合は、そのモディファイアをコマンドに追加するだけです。例えば、Image Snap commandにsetting the Imaging Style to 1P やWait for Trigger to 1Tのような2つのモディファイアを追加するには、**IMG SNP1P1T**と入力します。

注： イメージ取り込みコマンド(*IMG SNP or IMG BOX*)を行ったあと、その画像をターミナルで見るとはを続けます。

1つのシーケンスにコマンドを追加するには、新しいコマンドはそれぞれにセミコロンで分離してください。例えば、上記のシーケンスにImage Ship commandを追加する場合は、**IMG SNP1P1T;IMG SHP**と入力します。

イメージングコマンドは以下のとおりです。

Image Snap - IMG SNP (8-2ページ)

Image Ship - IMG SHP (8-5ページ)

Intelligent Signature Capture - IMG BOX (8-14ページ)

それぞれのコマンドのモディファイアは、コマンド説明のあとです。

注： それぞれのコマンド説明を含むイメージは単なる例であり、ご使用の結果得られる効果はこのマニュアル内のものと異なることがあります。ご使用の結果得られる出力クオリティはライトや取り込む画像や対象の質、画像や対象からの距離によって異なります。質の高い画像を得るためには、取り込む画像や対象からスキャナを10.2~15.2cm離してお使いになることをお勧めします。

Step 1 - IMGSNPを使って写真を撮る

イメージスナップ - IMGSNP

トリガーボタンを引く度、あるいはイメージスナップ (IMGSNP) コマンドを実行する度に画像が取り込まれます。

イメージスナップコマンドには、メモリでの画像表示を変えることができる多種多様なモディファイアが用意されています。モディファイアは、かならず数字で始まり、(大文字小文字に関係無く)文字で終わります。IMGSNPコマンドには、任意の数のモディファイアを追加できます。例えば、**IMGSNP2G1B**というコマンドを使用すれば、画像を撮影したりゲインを増やしたりでき、また画像を撮影した後、ブザー音を鳴らすことができます。

IMGSNP モディファイア

P - Imaging Style (撮影スタイル)

イメージスナップのスタイルを設定します。

- 0P **Decoding Style** 撮影パラメータが合うまで数フレームを撮影できます。最後のフレームを後で利用できます。
- 1P **Photo Style** (初期設定) 簡単なデジタルカメラに似ています。
- 2P **Manual Style** 高度なスタイルなので上級者向けです。スキャナを最も自由に設定できますが、自動撮影機能はありません。

B - Beeper (ブザー)

画像の撮影後、ブザー音を鳴らします。

- 0B ブザーがなりません。(初期設定)
- 1B 画像が取り込まれるとブザー音が鳴ります。

T - Wait for Trigger (トリガーの待機)

画像撮影の前に、ボタンが引かれるのを待ちます。これはPhoto Style (1P) 使用時のみ有効です。

- 0T すぐに画像を撮影します(初期設定)。
- 1T ボタンが引かれるのを待った後、画像を撮影します。

L - LED State (LEDの状態)

LEDをオン/オフするのかどうか、いつオン/オフするのかを決定します。IDカードなど、カラー文書の写真を撮影する場合、特にスキャナをスタンドに置くときは、周囲照明(0L)をお勧めします。スキャナを手を持つ場合は、LED照明(1L)をお勧めします。LED Stateは、Decoding Style 0P使用時には利用できません。

- 0L LED オフ (初期設定)
- 1L LED オン

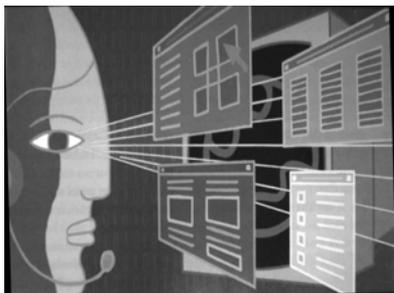
E - Exposure (露光)

Exposureは、マニュアル時 (2P) のみお使いいただくことができ、露光時間を設定します。これはカメラのシャッタースピードに似ています。露光時間はスキャナが画像を取り込む時間の長さを決定します。明るい日には、撮影のための光線が十分ですので露光時間も非常に短くてすみますが、夜、光がほとんどない状態では露光時間をかなり長くする必要があります。単位は127 ミリ秒です。

初期設定 = 7874

nE範囲： 1 - 7874

蛍光灯下での7874Eの場合の露光例



蛍光灯下での100Eの場合の露光例



G - Gain (ゲイン)

GainはManual Style (2P) 時のみお使いいただくことができ、ボリュームコントロールのような役割を果たします。ゲインモディファイアが信号を増幅させ、ピクセル値を修正します。ゲインを増やすと、画像の乱れも増幅されます。

1G ゲインなし (初期設定)

2G ゲイン 中

4G ゲイン 高

8G ゲイン 最大

1Gゲインの場合：



4Gゲインの場合：



8Gゲインの場合：



W - Target White Value (ホワイト値)

取り込む画像のグレースケールの中心値をターゲットに設定します。コントラストの高い文書の接写画像を取り込むためには、75などの低めの値を推奨します。設定を高くすると撮影時間が長くなって画像が明るくなりますが、高すぎると画像が露出オーバーになります。Target White Valueは Photo Style.1P.使用時だけ使用できます。(初期設定= 125)

nW範囲： 0 - 255

75Wホワイト値の場合



125Wホワイト値の場合



200Wホワイト値の場合



D - Delta for Acceptance (ホワイト値許容範囲)

ホワイト値設定用の許容範囲を設定します。(「W - Target White Value」を参照) Photo Style (1P) 使用時のみ利用できます。(初期設定 = 25)

nD範囲： 0 - 255

U - Update Tries (アップデートトライ)

D - Delta for Acceptanceに達するためにスキャナが取得するフレームの最大数のことです。Photo Style (1P)使用時のみ利用できます。(初期設定 = 6)

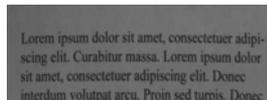
nU範囲： 0 - 10

% - Target Set Point Percentage (ターゲットポイント比率)

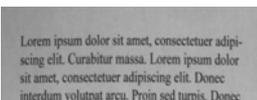
取り込んだ画像の明暗値のターゲットポイントを設定します。設定75%は、ピクセルの75%がターゲットのホワイト値以下で、ピクセルの25%がターゲットのホワイト値を超えることを意味します。通常的环境下でこの設定を初期設定から変更することは、推奨していません。グレースケール値を変更するには、W - Target White Valueを使用します。(初期設定 = 50)

n%範囲： 1 - 99

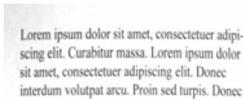
ターゲットポイント
97%の場合



ターゲットポイント
50%の場合



ターゲットポイント
40%の場合



Step 2 - IMGSHPを使った画像送信

画像送信 - IMGSHP

画像は、トリガーを引くたびに、あるいは画像送信 (IMGSNP) コマンドを実行することで取り込まれます。最後の画像がつねにメモリーに保存されます。IMGSHPコマンドでその画像を「送信」できます。

画像送信コマンドには、スキャナが出力する画像の設定を変更するのに使用できる多種多様のモディファイがあります。モディファイは、送信画像には効力がありますが、メモリーの画像には効力がありません。モディファイはかならず数字で始まって文字 (大文字小文字に関係なし) で終わります。IMGSHPコマンドには、任意の数のモディファイを追加できます。例えば、IMGSNP;IMGSHP8F75K26Uというコマンドを使用すると、ガンマ補正と文書画像フィルタリングを行ってビットマップ画像を送ることができます。

IMGSHP モディファイ

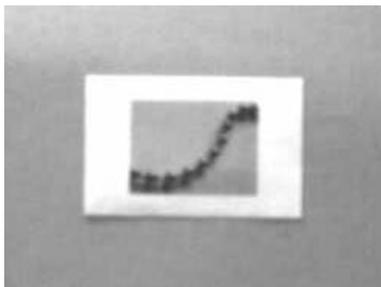
A - Infinity Filter (無限遠フィルタ)

非常に長距離 (10フィートまたは3m以上) から撮影した写真の質を向上させます。ただし、**IMGSHP モディファイ** (8-5ページ) とともに用いることはできません。

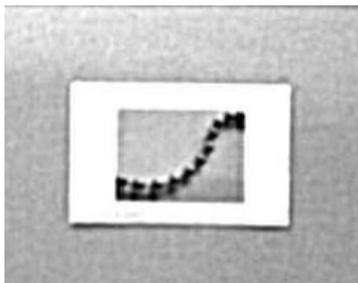
0A 無限遠フィルタ 無効 (初期設定)

1A 無限遠フィルタ 有効

3.66mの距離付近での無限遠
フィルタ無効 (0A)撮影した場合



3.66mの距離付近での無限遠
フィルタ有効 (1A)撮影した場合



C - Compensation (圧縮)

画像全体の照度の変化を考慮するために画像をフラットにします。

0C 圧縮 無効 (初期設定)

1C 圧縮 有効

圧縮化無効 (0C) の場合



圧縮化有効 (1C) の場合



D - Pixel Depth (ピクセル濃度)

送信画像のピクセルあたりのビット数を示します。(KIMまたはBMPフォーマットのみ)

8D ピクセルあたり 8 ビット、グレースケール画像 (初期設定)

1D ピクセルあたり 1 ビット、白黒画像

E - Edge Sharpen (エッジシャープニング)

エッジシャープニングフィルタで画像の縁をクリーンにし、画像を更に美しくシャープにします。エッジシャープニングは画像を鮮明にしますが、元々の画像のきれいに撮影された詳細部も取り除いてしまいます。エッジシャープニングフィルタの強度は1~24から設定できます。23Eを入力するとエッジが最もシャープになりますが、画像内のノイズも増えます。

- 0E 画像をシャープにしません (初期設定)
- 14E 標準画像用にエッジをシャープにします。
- ne nの値でエッジをシャープにします($n=1-24$)

0Eでのエッジシャープニング



24Eでのエッジシャープニング



F - File Format (ファイルフォーマット)

希望する画像のフォーマットを示します。

- 0F KIM フォーマット
- 1F TIFF バイナリ
- 2F TIFF バイナリグループ4、圧縮
- 3F TIFF グレースケール
- 4F 非圧縮バイナリ (左上から右下、1ピクセル/ビット、行の最後を0で埋める)
- 5F 非圧縮グレースケール (左上から右下、ビットマップフォーマット)
- 6F JPEG 画像 (初期設定)
- 8F BMP フォーマット (右下から左上、非圧縮)

H - Histogram Stretch (ヒストグラムストレッチ)

送信画像のコントラストを高くします。画像フォーマットによっては利用できません。

0H ストレッチなし (初期設定)

1H ヒストグラムストレッチ

ヒストグラムストレッチ 0Hの場合



ヒストグラムストレッチ 1Hの場合



I - Invert Image (画像反転)

画像を X 軸または Y 軸周りで回転させるのに使用します。

1ix X軸で画像を回転 (画像の上下が反転)

1iy Y軸で画像を回転 (画像の左右が反転)

回転なし



回転1ixの場合



回転1iyの場合



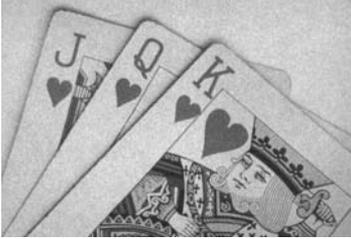
IF- Noise Reduction (ノイズ低減)

白黒ノイズを低減します。

0if 白黒ノイズの低減なし(初期設定)

1if 白黒ノイズ低減

白黒のノイズなし(0if)の場合



白黒ノイズの低減あり(1if)の場合



IR - Image Rotate (画像回転)

0ir 撮影したとおり(正しい向き)の画像(初期設定)

1ir 画像を右に 90 度回転

2ir 画像を 180 度回転(上下逆)

3ir 画像を左に 90 度回転

画像の回転なし(0ir)



画像の回転あり(2ir)



画像の回転あり(1ir)



画像の回転あり(3ir)



J - JPEG Image Quality (JPEG画像の質)

JPEG画像フォーマット選択の際の希望画質を設定します。数字を大きくすると画質が高くなりますが、ファイルは大きくなります。小さくすると、圧縮量が大きくなって転送速度が速くなり、画質は落ちますが、ファイルは小さくなります。(初期設定 = 50)

- nJ 画質係数 n ($n: 1 \sim 100$) の値で可能な限り画像を圧縮します。
- 0J 最低画質 (最小ファイル)
- 100J 最高画質 (最大ファイル)

K - Gamma Correction (ガンマ補正)

ガンマは、画像が生成する中間トーン値の明るさを決定します。ガンマ補正を使用すると、画像を明るくしたり暗くしたりできます。ガンマ補正を大きくすると、全体的に明るい画像が得られます。設定を低くすると、それだけ画像が暗くなります。テキスト画像に最も適した設定は 50K です。

- 0K ガンマ補正 無効 (初期設定)
- 50K 標準の文書画像を明るくするためにガンマ補正を適用
- nK ガンマ補正の係数 n ($n = 0 \sim 1,000$) を適用

ガンマ補正0Kの場合



ガンマ補正 50Kの場合



ガンマ補正255Kの場合



L, R, T, B, M - Image Cropping (画像切り取り)

注: *Image Cropping*は**IMGSHF モディファイ** (8-5ページ) と一緒に使用しないでください。

この機能は上下左右のピクセル座標を指定して画像のウィンドウを送ります。機器の列には 0 ~ 1279 の番号が、行には0 ~ 959の番号が付けられています。

- nL 送信画像の左端は、メモリー内の画像の n 列に対応します。
範囲: 000 ~ 640 (初期設定 = 0)
- nR 送信画像の右端は、メモリー内の画像の $n-1$ 列に対応します。
範囲: 000 ~ 640 (初期設定 = 全列)
- nT 送信画像の上端は、メモリー内の画像の n 行に対応します。
範囲: 000 ~ 480 (初期設定 = 0)

nB 送信画像の下端は、メモリー内の画像の $n-1$ 行に対応します。
範囲：000～480（初期設定＝全行）

切り取りなし



切り取り設定 300R



切り取り設定300L



切り取り設定200B



切り取り設定200T



代わりに、画像の外側マージンから切り取るピクセルの数を指定すると、中央のピクセルだけが送信されます。

nM Margin：画像の左から n 列、右から $n+1$ 列、上から n 行、下から $n+1$ 行を切り取ります。残った中央のピクセルを送ります。
（初期設定＝0, または全画像）

切り取り設定238M



P - Protocol（プロトコル）

画像の送信に使用します。プロトコルは画像をホストに送る際、2種の機能に対応しており、データの送信に使用するプロトコル（Hmodem：追加のヘッダー情報を持つXmodem 1Kの変形）と、送信される画像のフォーマットに対応します。

- 0P 無し（生データ）
- 2P 無し（USBの初期設定）
- 3P 圧縮Hmodem（RS232の初期設定）
- 4P Hmodem

S - Pixel Ship（ピクセル送信）

ピクセル送信はオリジナルサイズに対する比率に拡大縮小します。スペースで規則的に区切られた一定のピクセルだけを送ることで画像を間引くのに使用できます。例えば、4Sでは4行おきに4ピクセルごとに送信します。送るピクセルを減らすと、画像が小さくなりますが、画像がある数値まで達すると、使用できなくなります。

- 1S すべてのピクセル送信（初期設定）
- 2S 縦横両方で、2 ピクセルごとに送る（初期設定）
- 3S 縦横両方で、3 ピクセルごとに送る

ピクセル送信が1Sの場合 ピクセル送信が2Sの場合 ピクセル送信が3Sの場合



U - Document Image Filter（テキスト画像フィルタ）

送信されたテキスト画像の縁をシャープにし、それ以外の部分を滑らかにします。このフィルタはガンマ補正（8-10ページ）とともに使用します。スキヤナをスタンドに置いた状態で、次のコマンドを使用して画像を取り込みます。

IMG SNP1POL168W90%32D

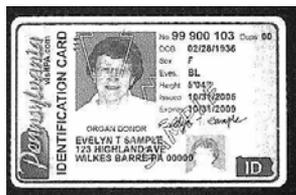
このフィルタは通常、標準のエッジシャープニングコマンド（8-13ページ）よりも良好なJPEG圧縮が可能です。このフィルタは、白黒のみの画像（ピクセルあたり 1 ビット）を送信するときにも有効です。最適設定は 26U です。

- 0U 文章画像フィルタオフ（初期設定）
- 26U 文章画像フィルタを標準的な文書画像に適用する
- nU グレースケールのしきい値 n を使用して、画像コントラストが低いときに数値を下げます。
- 1U **E-エッジシャープニング**（8-7ページ）22eと同等の効果があります。範囲：0～255。

Image Filter が0Uの場合



Image Filterが26Uの場合



V - Blur Image (画像ぼかし)

境界線のハードエッジに隣接するピクセルと画像内の陰影領域を平均化して、変わり目を滑らかにします。

0V ぼかさない(初期設定)

1V ぼかす

画像のぼかし無効(0V)



画像のぼかし有効(1V)



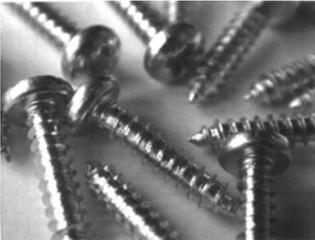
W - Histogram Ship (ヒストグラム送信)

ヒストグラムによって、画像の色調範囲、つまりキーのタイプをすばやく認識することができます。ローキーな画像は影に、ハイレベルな画像はハイライトに、標準的な(アベラージュレベルの)画像は中間調にディテールが集中します。このモディファイは画像用のヒストグラムを送信します。

0W ヒストグラムを送信しない(初期設定)

1W ヒストグラムを送信する

ヒストグラムを使用しない場合



ヒストグラムが左にある場合



画像サイズの互換性

画像送信が正確に640x480ピクセルを返すようにアプリケーションを設計している場合、Force VGA Resolutionバーコードを読み取ります。

初期設定 = Native Resolution (元の解像度)



IMGVGA1.

Force VGA Resolution



IMGVGA0.

* Native Resolution

インテリジェント署名取り込み - **IMGBOX**

IMGBOXを用いれば、バーコードに近接している署名取り込みエリアのサイズや位置を修正することができます。これにより、署名取り込みエリアを特定のフォームに仕立てることができます。IMGBOXを使うためには、署名ボックスがバーコードに近い既知位置にあるようフォームを設定する必要があります。署名エリアからバーコードまでの水平および垂直距離を指定できるだけでなく、全体的なサイズを入力できます。また、取り込んだ署名画像の最終出力の解像度とファイル形式も設定できます。

注： IMGBOXコマンドは、以下のいずれかのバーコードによって使用することができます。PDF417, Code 39, Code 128, Aztec, Codabar, Interleaved 2 of 5
これらのシンボルが読み取られると、IMGBOXコマンドを受け付けるために画像が維持されます。

署名取り込みの最適化

署名取り込みを頻繁に使う場合は、最適化をしてください。ただし、このモードを有効にするとバーコード読み取り速度は遅くなります。ご注意ください。初期設定 = Off (無効)



DECBND1.

Optimize On



DECBND0.

* Optimize Off

以下のIMGBOXの例はQuickView (クイックビュー) ソフトウェアを用いて実行したものです。このソフトウェアはwww.honeywellaidc.comから入手できます。

Software Downloadsをクリックし、Products listから4600rを選び、

QuickView Software Utilityを選択してください。

署名取り込みアプリケーションの例を以下に示します。この例では、エイマーを署名取り込みエリアの中心に置き、トリガーを引きます。一度ブザーが鳴り、スキャナがCode 128バーコードを読み取り、データがホストシステムへと転送されたことを知らせます。ホストからそのコードの下の署名取り込みエリアの座標を特定するためにIMGBOXコマンドが送られ、その署名を含むエリアのみ画像としてホストに送るよう示します。

この例を試す方法：エイマーを（バーコードではなく）署名エリアにそろえ、トリガーを引きます。



トリガーを引いた後に、以下のIMGBOXコマンドストリングを送信します。

例： **IMGBOX245w37h55y.**

注： コマンドストリングにおいて大文字/小文字は重要ではありません。
ここでは説明の為に用いています。

すると、以下のような画像が得られます。



IMGBOXコマンドには、スキャナから出力される署名画像のサイズや表示を変えることができる多種多様なモディファイアが用意されています。モディファイアは転送される画像に影響しますが、メモリの画像には影響しません。モディファイアは、必ず数字で始まり、（大文字小文字に関係無く）文字で終わります。すべての番号のモディファイアがIMGBOXコマンドに付加されます。

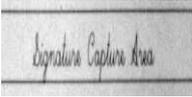
注： IMGBOXコマンドはウィンドウサイズ（高さ）が指定されない限り、NAK返信を行います。[H - Height of Signature Capture Area](#)（8-17ページ）と[W - Width of Signature Capture Area](#)（8-18ページ）を参照してください。

IMGBOX モディファイ

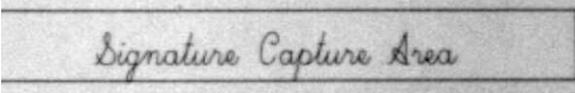
A - Output Image Width（出力画像の幅）

この設定は、画像の幅を変えるのに使用します。この設定を使用した場合、解像度(R)は 0 に設定されます。

幅を200Aに設定した場合



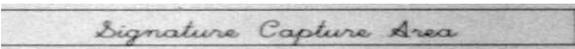
幅を600Aに設定した場合



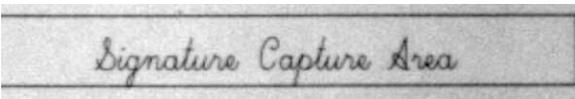
B - Output Image Height (出力画像の高さ)

この設定は、画像の高さを変えるのに使用します。この設定を使用した場合、解像度(R)は 0 に設定されます。

高さを50Bに設定した場合



高さを100Bに設定した場合



D - Pixel Depth (ピクセル濃度)

送信画像のピクセルあたりのビット数を示し、グレースケールか白黒かを設定します。

8D ピクセルあたり 8 ビット、グレースケール画像

1D ピクセルあたり 1 ビット、白黒画像

F - File Format (ファイル形式)

画像を保存するファイル形式を示します。

0F KIMフォーマット

1F TIFFバイナリ

2F TIFFバイナリグループ4、圧縮

3F TIFFグレースケール

4F 非圧縮バイナリ

5F 非圧縮グレースケール

6F JPEG画像(初期設定)

7F 輪郭画像

8F BMP フォーマット

H - Height of Signature Capture Area (署名取り込みエリアの高さ)

取り込む領域の高さは0.01インチ(約0.026cm)ごとに測られます。例では、取り込みエリアの高さは3/8インチ(約0.953cm)で、
Hの値 = $.375/0.01 = 37.5$ となります。

例: *IMGBOX245w37h55y.*

K - Gamma Correction (ガンマ補正)

ガンマは、画像が生成する中間トーン値の明るさを決定します。ガンマ補正を使用すると、画像を明るくしたり暗くしたりできます。ガンマ補正を大きくすると、全体的に明るい画像が得られます。設定を低くすると、それだけ画像が暗くなります。適正設定は50Kです。

OK ガンマ補正オフ(初期設定)

50K 標準の文書画像を明るくするためにガンマ補正を適用

nK ガンマ補正の係数 n ($n = 1 \sim 255$) を適用

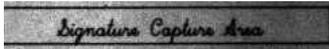
ガンマ補正 OK



ガンマ補正 50K



ガンマ補正 255K

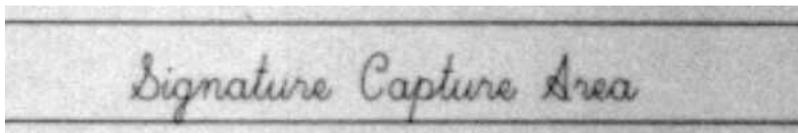


R - Resolution of Signature Capture Area (署名取り込みエリアの解像度)

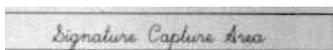
最小単位ごとにスキャナが出力するピクセル数です。Rの値を大きくすると画質が良くなりますが、ファイルサイズも大きくなります。値は1000からです。スキャナは自動的に、最初の桁と次の桁の間に小数点を挿入します。

例えば、解像度2.5を指定するには、2500を用います。A および B のモディファイアを使用するときは、0 に設定します。（8-16ページのA - Output Image Width と B - Output Image Height参照のこと。

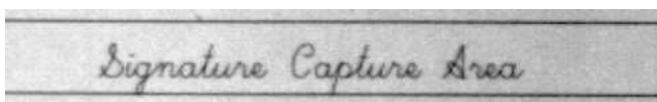
解像度設定：0R



解像度設定：1000R



解像度設定：2000R



S - Bar Code Aspect Ratio (バーコード様相比)

IMGBOXに用いられる寸法はバーコードの最小エレメントサイズの倍数で測られます。Bar Code Aspect Ratioではバーコードの高さとナローエレメントの幅を設定することができます。例えば、ナローエレメントの幅が 0.01インチ (約0.026cm)、バーコードの高さが 0.4インチ (約1.016 cm) の場合、S の値 = $0.4/0.01 = 40$ となります。

W - Width of Signature Capture Area (署名取り込みエリアの幅)

取り込むエリア域の高さは0.01インチ (約0.026cm) ごとに測られます。例えば、取り込むエリアの幅が2.4インチ (約6.096cm) の場合、W値 = $2.4/0.01 = 240$ となります (ここでは画像エリアを少し大きめに調節するため、245を用います)。

例： `IMGBOX245w37h55y.`

X - Horizontal Bar Code Offset (水平バーコードオフセット)

署名取り込みエリアの中心を水平方向にずらします。プラス数値は水平中心を 右へ移動させ、マイナス数値は左へ移動させます。数値はバーの最小幅の倍数を用います。

水平バーコードオフセット設定：75Xの場合



水平バーコードオフセット設定：-75Xの場合



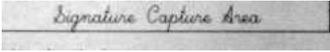
Y - Vertical Bar Code Offset (縦バーコードオフセット)

署名取り込みエリアの中心を縦方向にずらします。プラス数値は水平中心を上へ移動させ、マイナス数値は下へ移動させます。数値はバーの最小幅の倍数を用います。

縦バーコードオフセット設定：-7Yの場合



縦バーコードオフセット設定：65Yの場合



キーボードファンクションの対応

以下のキーボードファンクションコード、Hex/ASCII値、Full ASCII「CTRL」+の関係はスキャナと用いられるすべてのターミナルに対応しています。[2-17ページ](#)のControl + ASCII 有効化モードの項目をご参照ください。

ファンクションコード	HEX/ASCII値	Full ASCII「CTRL」+
NUL	00	@
SOH	01	A
STX	02	B
ETX	03	C
EOT	04	D
ENQ	05	E
ACK	06	F
BEL	07	G
BS	08	H
HT	09	I
LF	0A	J
VT	0B	K
FF	0C	L
CR	0D	M
SO	0E	N
SI	0F	O
DLE	10	P
DC1	11	Q
DC2	12	R
DC3	13	S
DC4	14	T
NAK	15	U
SYN	16	V
ETB	17	W
CAN	18	X
EM	19	Y
SUB	1A	Z
ESC	1B	[
FS	1C	\
GS	1D]
RS	1E	^
US	1F	_

Full ASCII「CTRL」+の列の最後の5つのキャラクタ ([\]6-)は、米国のみ対応します。次の表は、これらの5つのキャラクタの国別の同等キャラクタを示します。

国名	コード				
米国	[\]	6	-
ベルギー	[<]	6	-
スκανジナピア	8	<	9	6	-
フランス	^	8	\$	6	=
ドイツ		Ã	+	6	-
イタリア		\	+	6	-
スイス		<	..	6	-
英国	[¢]	6	-
デンマーク	8	\	9	6	-
ノルウェー	8	\	9	6	-
スペイン	[\]	6	-

サポートされているインターフェースキー

ASCII	HEX	IBM AT/XT and PS/2の互換機 WYSE PC/AT のサポートキー	IBM XTと 互換機の サポートキー	IBM, DDC, Memorex Telex, Harris*の サポートキー
NUL	00	Reserved	Reserved	Reserved
SOH	01	Enter (KP)	CR/Enter	Enter
STX	02	Cap Lock	Caps Lock	F11
ETX	03	ALT make	Reserved	F12
EOT	04	ALT break	Reserved	F13
ENQ	05	CTRL make	Reserved	F14
ACK	06	CTRL break	Reserved	F15
BEL	07	CR/Enter	CR/Enter	New Line
BS	08	Reserved	Reserved	F16
HT	09	Tab	Tab	F17
LF	0A	Reserved	Reserved	F18
VT	0B	Tab	Tab	Tab/Field Forward
FF	0C	Delete	Delete	Delete
CR	0D	CR/Enter	CR/Enter	Field Exit/New Line
SO	0E	Insert	Insert	Insert
SI	0F	Escape	Escape	F19
DLE	10	F11	Reserved	Error Reset
DC1	11	Home	Home	Home
DC2	12	Print	Print	F20
DC3	13	Back Space	Back Space	Back Space
DC4	14	Back Tab	Back Tab	Backfield/Back Tab
NAK	15	F12	Reserved	F21
SYN	16	F1	F1	F1
ETB	17	F2	F2	F2
CAN	18	F3	F3	F3
EM	19	F4	F4	F4
SUB	1A	F5	F5	F5
ESC	1B	F6	F6	F6
FS	1C	F7	F7	F7
GS	1D	F8	F8	F8
RS	1E	F9	F9	F9
US	1F	F10	F10	F10

ASCII	HEX	IBM AT/XT・ PS/2互換機、 WYSE PC/AT のサポートキー	IBM XTと 互換機の サポートキー	IBM, DDC, Memorex Telex, Harris*の サポートキー
--------------	------------	---	------------------------------------	---

* IBM 3191/92, 3471/72, 3196/97, 3476/77, Telex (全モデル)

サポートされているインターフェースキー

ASCII	HEX	IBM, Memorex Telex (102)*の サポートキー	Memorex Telex (88)** のサポートキー
NUL	00	Reserved	Reserved
SOH	01	Enter	Enter
STX	02	F11	PF10
ETX	03	F12	PF11
EOT	04	F13	PF12
ENQ	05	F14	Reserved
ACK	06	F15	Reserved
BEL	07	New Line	New Line
BS	08	F16	Field Forward
HT	09	F17	Field Forward
LF	0A	F18	Reserved
VT	0B	Tab/Field Forward	Field Forward
FF	0C	Delete	Delete
CR	0D	Field Exit	New Line
SO	0E	Insert	Insert
SI	0F	Clear	Erase
DLE	10	Error Reset	Error Reset
DC1	11	Home	Reserved
DC2	12	Print	Print
DC3	13	Back Space	Back Space
DC4	14	Back Tab	Back Field
NAK	15	F19	Reserved
SYN	16	F1	PF1
ETB	17	F2	PF2
CAN	18	F3	PF3
EM	19	F4	PF4
SUB	1A	F5	PF5
ESC	1B	F6	PF6
FS	1C	F7	PF7
GS	1D	F8	PF8
RS	1E	F9	PF9
US	1F	F10	Home

* IBM 3196/97, 3476/77, 3191/92, 3471/72, 120キーボードのMemorex Telex (全モデル)

** 88キーボードのMemorex Telex

サポートされているインターフェースキー

ASCII	HEX	Esprit 200, 400 ANSIの サポートキー	Esprit 200, 400 ASCIIの サポートキー	Esprit 200, 400 PCのサポートキー
NUL	00	Reserved	Reserved	Reserved
SOH	01	New Line	New Line	New Line
STX	02	N/A	N/A	N/A
ETX	03	N/A	N/A	N/A
EOT	04	N/A	N/A	N/A
ENQ	05	N/A	N/A	N/A
ACK	06	N/A	N/A	N/A
BEL	07	New Line	New Line	New Line
BS	08	N/A	N/A	N/A
HT	09	Tab	Tab	Tab
LF	0A	N/A	N/A	N/A
VT	0B	Tab	Tab	Tab
FF	0C	N/A	N/A	Delete
CR	0D	New Line	New Line	New Line
SO	0E	N/A	N/A	Insert
SI	0F	Escape	Escape	Escape
DLE	10	F11	F11	F11
DC1	11	Insert	Insert	Home
DC2	12	F13	F13	Print
DC3	13	Back Space	Back Space	Back Space
DC4	14	Back Tab	Back Tab	Back Tab
NAK	15	F12	F12	F12
SYN	16	F1	F1	F1
ETB	17	F2	F2	F2
CAN	18	F3	F3	F3
EM	19	F4	F4	F4
SUB	1A	F5	F5	F5
ESC	1B	F6	F6	F6
FS	1C	F7	F7	F7
GS	1D	F8	F8	F8
RS	1E	F9	F9	F9
US	1F	F10	F10	F10

サポートされているインターフェースキー

ASCII	HEX	Apple Mac/iMacの サポートキー
NUL	00	Reserved
SOH	01	Enter/Numpad Enter
STX	02	CAPS
ETX	03	ALT make
EOT	04	ALT break
ENQ	05	CNTRL make
ACK	06	CNTRL break
BEL	07	RETURN
BS	08	APPLE make
HT	09	TAB
LF	0A	APPLE break
VT	0B	TAB
FF	0C	Del
CR	0D	RETURN
SO	0E	Ins Help
SI	0F	ESC
DLE	10	F11
DC1	11	Home
DC2	12	Prnt Scrn
DC3	13	BACKSPACE
DC4	14	LSHIFT TAB
NAK	15	F12
SYN	16	F1
ETB	17	F2
CAN	18	F3
EM	19	F4
SUB	1A	F5
ESC	1B	F6
FS	1C	F7
GS	1D	F8
RS	1E	F9
US	1F	F10
DEL	7F	BACKSPACE

全シンボルへのテストコードIDプレフィックス追加

これを選択すると、デコードされたシンボルの前にコードIDを送信することができます。（各シンボルを識別する単独のシンボルキャラクタコードについては、15-1ページからの[シンボルチャート](#)を参照してください。）ここでは、まず現在のプレフィックスをすべて消去し、その後すべてのシンボルについてコードIDプレフィックスを設定します。これは、電源を入れなおすと削除される一時設定です。



PRECA2,BK2995C80!

Add Code I.D. Prefix to

All Symbolologies (Temporary)

デコーダの改訂情報表示

次のバーコードを読み取り、デコーダの改訂情報を出力します。



REV_DR.

Show Decoder Revision

読取ドライバの改訂情報表示

次のバーコードを読取、ドライバの改訂情報を出力します。読取ドライバは画像の取り込みを制御します。



REV_SD.

Show Scan Driver Revision

ソフトウェアの改訂情報表示

次のバーコードを読み取り、現在のソフトウェアの改訂情報、シリアルナンバー、およびその他の製品情報を出力します。



REVINF.

Show Revision

データフォーマットの表示

次のバーコードを読み取り、現在のデータフォーマット設定を表示します。



DFMBK3?.

Data Format Settings

テストメニュー

テストメニューのOnバーコードを読み取り、次に本書のプログラミングコードを読み取ると、イメージはプログラミングコードの内容を表示します。プログラミングファンクションはまだ存在しますが、それに加えてプログラミングコードの内容もターミナルに出力されます。

注：この機能は、通常のスキャナ操作では使用しないでください。



TSTMNU1.

On



TSTMNU0.

* Off

TotalFreedom

TotalFreedomとはご使用のスキャナ中にアプリケーションを作成することができるオープンシステムアーキテクチャです。このTotalFreedomで画像処理、デコード、データフォーマットの三種のアプリケーションの作成が可能です。

TotalFreedomについて詳しくはwww.honeywellaidc.comのウェブサイトをご覧ください。

アプリケーションのプラグイン (Apps)

以下のバーコードを読み取ることで、ご使用のいかなるアプリケーションもオン/オフにすることができます。アプリケーションはイメージング、デコード、フォーマットというグループごとに保存されています。以下にあるこれらのグループのOn/OFFバーコードを読み取り、アプリケーションを立ち上げたり、閉じたりすることができます。また、List Appsバーコードを読み取ると、すべてのアプリケーションのリストを出力します。



PLGDCE1.

* Decoding Apps On



PLGFOE1.

* Formatting Apps On



PLGINF.

List Apps



PLGDCE0.

Decoding Apps Off



PLGFOE0.

Formatting Apps Off

注：アプリケーションを有効にするためには、デバイスを再起動しなければなりません。

EZConfigについて

EZConfigはPCのCOMポートにスキャナを接続することにより、多様なPCベースのプログラミング機能を提供することができます。EZConfigを用いると、スキャナのアップグレードの為にファームウェアをダウンロードしたり、設定済みのパラメータを変更したり、プログラミングバーコードを作成して印刷することができます。さらに、スキャナのプログラミングパラメータを保存したり開いたりすることもできます。この保存ファイルは電子メールで送信でき、必要であれば、カスタマイズされたプログラミングパラメータをすべて含む単一のバーコードを作成し、どこへでもメールやファックスを送信することができます。他の場所にいるユーザは、そのバーコードを読み取り、カスタマイズされたプログラミングに組み込むことができます。

スキャナとの通信のため、EZConfigではコンピュータに少なくとも1つの空きシリアル通信ポートか、または物理的なUSBポートを使用したシリアルポートのエミュレーションが必要です。シリアルポートとRS-232ケーブルをご使用の場合は、外部電源が必要です。USBシリアルポートのエミュレーションを使用している場合は、USBケーブルのみ必要です。

EZConfigの操作

EZConfigソフトウェアでは、以下の操作を実行します。

データの読取

データの読取により、バーコードを読み取って、ウィンドウにバーコードデータを表示することができます。また、シリアルコマンドをスキャナに送信したり、スキャナからの応答を受信したりでき、Scan Dataウィンドウでこれらを確認することができます。Scan Dataウィンドウに表示されるデータは、ファイルに保存したり、印刷することもできます。

環境設定

環境設定は、スキャナのプログラミングと環境設定データを表示します。イメージャのプログラミングと環境設定データは、このなるカテゴリに分類されます。各カテゴリは、アプリケーションエクスプローラの「Configure」ツリーノードの下にツリーアイテムとして表示されます。これらのツリーノードのうちの1つをクリックすると、その特定のカテゴリに所属するパラメータのフォームが右側に表示されます。「Configure」ツリーオプションには、スキャナ用に指定したプログラミングと環境設定パラメータは、必要に応じて設定または変更できます。後で、変更した設定値をスキャナに書き込んだり、dcfファイルに保存したりできます。

イメージング

イメージングは、2Dスキャナが実行できる画像関連のすべての機能を提供します。現在の設定を利用して画像を取り込むことができます。画像はイメージウィンドウに表示されます。スキャナから取り込んだ画像は、いろいろな画像フォーマットでファイルに保存できます。画像設定を変更してINIファイルに保存することもできます。また、後でこの設定を読み込んで新しい画像を取り込むこともできます。イメージングにより、スキャナが取り込んだ画像を連続的にプレビューでいます。

ウェブからのEZConfigのインストール

注：EZConfigには.NETソフトウェアが必要です。お使いのPCに.NETがインストールされていない場合、EZConfigのインストール時に.NETのインストールを促すメッセージが表示されます。

1. www.honeywellaidc.comからHoneywellウェブサイトにアクセスします。
2. **Resources**タブをクリックし、**Software**を選択します。
3. ドロップダウンメニューから**Select Product Number**をクリックし、次に**3310**をクリックします。
4. **EZConfig**のリストをクリックします。

-
5. 指示が出たら、Save Fileを選択し、ファイルをc:\windows\tempディレクトリに保存します。
 6. ファイルのダウンロードが終了したらウェブサイトを閉じます。
 7. エクスプローラを使用し、c:\windows\tempのファイルに進みます。
 8. Setup.exeファイルをダブルクリックします。画面の指示に従ってEZConfigプログラムをインストールします。
 9. インストール時にデフォルトを選択した場合は、**Start Menu-All Programs-Honeywell-EZConfig**をクリックしてください。

シリアルプログラミングコマンド

シリアルプログラミングコマンドをプログラミングバーコードの代わりに使用できます。シリアルコマンドとプログラミングバーコードは、どちらもスキャナをプログラム設定します。各シリアルプログラミングコマンドの解説と例については、本書の対応するプログラミングバーコードを参照してください。

機器は、RS-232インターフェース用に設定する必要があります。(2-2ページ参照)。下記のコマンドは、ターミナルエミュレーションソフトウェアを用いてPC COM 経由で送信できます。

記述上の語句

メニューと質問コマンドの記述には、以下の取り決めが用いられています。

parameter コマンドの一部として送信する実際の値

[*option*] コマンドのオプション部分

{*Data*} コマンド内の選択肢

bold 画面に表示されるメニュー名、メニューコマンド、ボタン、ダイアログボックス、およびウィンドウ

メニューコマンドシンタックス

メニューコマンドのシンタックスは以下のとおりです。(スペースを用いているのは、単にわかりやすくするためです。):

Prefix [*:Name*:] *Tag* *SubTag* {*Data*} [, *SubTag* {*Data*}] [*; Tag SubTag {Data}*] [...]
Storage

Prefix 3つのASCIIキャラクタ: **SYN M CR** (ASCII 22,77,13).

:Name: 「:Vuquest:」を用いて、情報をスキャナに送信する(ホストに連結したベースとともに)。工場出荷時のVuquestスキャナの初期設定はVuquestスキャナです。この設定はBT_NAM コマンドを用いて変更ができ、アルファベット値を受け付けます。ネームが分からない場合は、「*」を:*の形で用います。

注: ベースはすべてのワークグループの設定を保存し、それらと接続されるとすぐにスキャナに転送します。変更はベースに対してのみ行われ、スキャナには行われません。

Tag メニューコマンドグループを識別する大文字小文字の区別がない3キャラクタのフィールド。例えば、RS232の環境設定は、すべて232というTagで識別されます。

SubTag タググループの中のメニューコマンドグループを識別する大文字小文字の区別がない3キャラクタのフィールド。例えば、RS232ポーレートのSubTagはBAD。

Data メニュー設定の新規値。TagとSubTagで識別されます。

Storage コマンドを適用するストレージテーブルを指定する1つのキャラクタ。感嘆符 (!) は、機器の一時的なメモリ上でのコマンド操作を実行します。ピリオド (.) の場合は、機器の不揮発性メモリ上でコマンド操作を実行します。不揮発性メモリ上は、始動時に保存したい半恒久的な場合だけに使用します。

質問コマンド

設定について機器から返答を得るためのいくつかの特殊キャラクタを使用できます。

- ^ 設定の初期値
- ? 機器の現在の設定値
- * 設定で可能な範囲 (機器のレスポンスでは、ダッシュ (-) で値の連続範囲を示し、パイプ (|) で不連続値の一覧の項目を区切ります。

:Name: Fieldの使い方 (オプション)

Tこのコマンドを用いると、スキャンからの質問情報を返送します。

Tagフィールドの使い方

Tagフィールドに代わって質問を使用すると、コマンドの**Storage**フィールドで示された特定のストレージテーブルで使用可能なコマンドのセット全体に質問します。この場合、機器に無視されたため、SubTagおよびDataフィールドは使用しないでください。

SubTagフィールドの使い方

SubTagフィールドに代わって質問を使用すると、Tagフィールドに一致する使用可能なコマンドのサブセットだけに質問します。この場合、機器には無視されるのでDataフィールドは使用しないでください。

Dataフィールドの使い方

Dataフィールドに代わって質問を使用すると、TagおよびSubTagフィールドで識別される特定コマンドだけに質問します。

複数コマンドの連結機能

複数のコマンドを1つのPrefix/Storageシーケンス内で使用できます。シーケンスのコマンドごとに繰り返す必要があるのは、Tag、SubTag、およびDataフィールドだけです。同じTagでコマンドを追加する場合は、新しいコマンドシーケンスをコンマ (,) で区切り、追加コマンドのSubTagおよびDataフィールドだけを記述します。追加コマンドで異なるTagフィールドが必要な場合は、そのコマンドをセミコロン (;) で前のコマンドと区切ります。

レスポンス

機器は、次の3つのレスポンスの1つによってシリアルコマンドに応答します。

ACK 正しくコマンドを実行した。

ENQ **Tad**またはSubTagコマンドが無効。

NAK コマンドは正しいが、Dataフィールドの入力がTagおよびSubTag組み合わせの許容範囲外。例えば、フィールドが2キャラクタしか受け付けられないときに最小読取桁数の入力が100になっている場合。

応答の際、機器はコマンドの各句読点（ピリオド、感嘆符、コンマ、またはセミコロン）の直前にステータスキャラクタを挿入したコマンドシーケンスを返します。

質問コマンドの例

以下の例では、角カッコ[] は非表示レスポンスを示します。

例：Codabar Coding Enableで可能な値の範囲は？

入力：**cbrena***。

レスポンス：**CBRENA0-1[ACK]**

Codabar Coding Enable(CBRENA)の値の範囲が0~1（オフとオン）であることを示します。

例：Codabar Coding Enableの初期設定値は？

入力：**cbrena^**。

レスポンス：**CBRENA1[ACK]**

Codabar Coding Enable（CBRENA）の初期設定が1、またはオンであることを示します。

例：Codabar Coding Enableに関する現在の機器設定は？

入力：**cbrena?**。

レスポンス：**CBRENA1[ACK]**

機器のCodabar Coding Enable（CBRENA）が1、またはオンに設定されていることを示します。

例：すべてのCodabar選択項目に対する機器の設定は？

入力：**cbr?.**

レスポンス：**CBRENA1[ACK],**
SSX0[ACK],
CK20[ACK],
CCT1[ACK],
MIN2[ACK],

MAX60[ACK], DFT[ACK].

このレスポンスは、機器のCodabar Coding Enable (CBRENA) が1、またはオンに設定され、スタート/ストップキャラクタ (SSX) は0、またはDon't Transmitに、チェックキャラクタ (CK2) は0、またはNot Requiredに、連結機能 (CCT) は1、またはEnabledに、最小メッセージ長 (MIN) は2 キャラクタに、最大メッセージ長 (MAX) は60 キャラクタに、また初期設定 (DFT) には値が無いことを示しています。

トリガーコマンド

シリアルトリガーコマンドでスキャナをアクティブまたは非アクティブにできます。まず、マニュアル/シリアルトリガーモードのバーコード (3-5ページ) を読み取るか、シリアルメニューコマンド (3-6ページ) を送り、スキャナをマニュアルトリガーモードにします。スキャナがいったんシリアルトリガーモードになると、以下のコマンドを送ってトリガーをアクティブ/非アクティブにできます。

アクティブにする : **SYN T CR**

非アクティブにする : **SYN U CR**

スキャナはバーコードを読み取るか、非アクティブ化コマンドが送信されるか、シリアルタイムアウトになるまで読み取りを実行します。(説明については3-6ページの「Read Time-Out」を、また11-14ページのシリアルコマンドを参照。)

標準の製品初期設定のリセット

スキャナに保存されているデフォルト設定をカスタマイズしたいときは、次の **Activate Custom Defaults** バーコードを読み取ります。これで、スキャナのお客様のデフォルト設定を再設定します。カスタムデフォルトがない場合は、工場出荷時設定へと再設定します。カスタムデフォルトを通じて指定されていない設定はすべて工場出荷時設定へとデフォルトされます。



DEFAULT.

Activate Custom Defaults

以下のページのチャートは、各メニューコマンド (プログラミングページでアスタリスク (*) で表示) の標準の工場出荷時設定一覧です。

メニューコマンド

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
製品の初期設定			
カスタムデフォルト の設定	Set Custom Defaults	MNUCDF	1-5
	Save Custom Defaults	DEFAULT	1-5
カスタムデフォルト の再設定	Activate Custom Defaults	DEFAULT	1-5
初期設定の再設定 (コードレススキャナ)	Remove Custom Defaults	DEFOVR	1-6
	Activate Defaults	DEFAULT	1-6
インターフェース設定			
プラグ&プレイコード	Keyboard Wedge: IBM PC AT and Compatibles with CR suffix	PAP_AT	2-1
	Laptop Direct Connect with CR suffix	PAPLTD	2-1
	RS232 Serial Port	PAP232	2-2
プラグ&プレイコード IBM SurePos	USB IBM SurePos Handheld	PAPSPH	2-2
	USB IBM SurePos Tabletop	PAPSPT	2-2

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
プラグ & プレイコード USB	USB Keyboard (PC)	PAP124	2-3
	USB Keyboard (Mac)	PAP125	2-3
	USB Japanese Keyboard (PC)	TRMUSB134	2-3
	USB HID	PAP131	2-3
	USB Serial	TRMUSB130	2-3
	CTS/RTS Emulation On	USBCTS1	2-4
	CTS/RTS Emulation Off*	USBCTS0	2-4
	ACK/NAK Mode On	USBACK1	2-4
	ACK/NAK Mode Off*	USBACK0	2-4
プラグ & プレイコード	Verifone Ruby Terminal	PAPRBY	2-4
	Gilbarco Terminal	PAPGLB	2-5
	Honeywell Bioptic Aux Port	PAPBIO	2-5
	Datalogic Magellan Bioptic Aux Port	PAPMAG	2-6
	NCR Bioptic Aux Port	PAPNCR	2-6
	Wincor Nixdorf Terminal	PAPWNX	2-6
	Wincor Nixdorf Beetle	PAPBTL	2-7

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
国別キーボード設定	*U.S.A.	KBDCTY0	2-8
	Albania	KBDCTY35	2-8
	Azeri (Cyrillic)	KBDCTY81	2-8
	Azeri (Latin)	KBDCTY80	2-8
	Belarus	KBDCTY82	2-8
	Belgium	KBDCTY1	2-8
	Bosnia	KBDCTY33	2-8
	Brazil	KBDCTY16	2-8
	Brazil (MS)	KBDCTY59	2-9
	Bulgaria (Cyrillic)	KBDCTY52	2-9
	Bulgaria (Latin)	KBDCTY53	2-9
	Canada (French legacy)	KBDCTY54	2-9
	Canada (French)	KBDCTY18	2-9
	Canada (Multilingual)	KBDCTY55	2-9
	Croatia	KBDCTY32	2-9
	Czech	KBDCTY15	2-9

選択項目	設定 * 印は初期設定を示す	シリアルコマンド # 印は数値入力を示す	ページ
国別キーボード設定	Czech (Programmers)	KBDCTY40	2-9
	Czech (QWERTY)	KBDCTY39	2-9
	Czech (QWERTZ)	KBDCTY38	2-9
	Denmark	KBDCTY8	2-9
	Dutch (Netherlands)	KBDCTY11	2-9
	Estonia	KBDCTY41	2-10
	Faeroese	KBDCTY83	2-10
	Finland	KBDCTY2	2-10
	France	KBDCTY3	2-10
	Gaelic	KBDCTY84	2-10
	Germany	KBDCTY4	2-10
	Greek	KBDCTY17	2-10
	Greek (220 Latin)	KBDCTY64	2-10
	Greek (220)	KBDCTY61	2-10
	Greek (319 Latin)	KBDCTY65	2-10
	Greek (319)	KBDCTY62	2-10
	Greek (Latin)	KBDCTY63	2-10
	Greek (MS)	KBDCTY66	2-10
	Greek (Polytonic)	KBDCTY60	2-11
	Hebrew	KBDCTY12	2-11
	Hungarian (101 key)	KBDCTY50	2-11
	Hungary	KBDCTY19	2-11
	Iceland	KBDCTY75	2-11
	Irish	KBDCTY73	2-11
	Italian (142)	KBDCTY56	2-11
	Italy	KBDCTY5	2-11
	Japan ASCII	KBDCTY28	2-11
	Kazakh	KBDCTY78	2-11
	Kyrgyz (Cyrillic)	KBDCTY79	2-11
	Latin America	KBDCTY14	2-11
Latvia	KBDCTY42	2-11	

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
国別キーボード設定	Latvia (QWERTY)	KBDCTY43	2-12
	Lithuania	KBDCTY44	2-12
	Lithuania (IBM)	KBDCTY45	2-12
	Macedonia	KBDCTY34	2-12
	Malta	KBDCTY74	2-12
	Mongolian (Cyrillic)	KBDCTY86	2-12
	Norway	KBDCTY9	2-12
	Poland	KBDCTY20	2-12
	Polish (214)	KBDCTY57	2-12
	Polish (Programmers)	KBDCTY58	2-12
	Portugal	KBDCTY13	2-12
	Romania	KBDCTY25	2-12
	Russia	KBDCTY26	2-12
	Russian (MS)	KBDCTY67	2-13
	Russian (Typewriter)	KBDCTY68	2-13
	SCS	KBDCTY21	2-13
	Serbia (Cyrillic)	KBDCTY37	2-13
	Serbia (Latin)	KBDCTY36	2-13
	Slovakia	KBDCTY22	2-13
	Slovakia (QWERTY)	KBDCTY49	2-13
	Slovakia (QWERTZ)	KBDCTY48	2-13
	Slovenia	KBDCTY31	2-13
	Spain	KBDCTY10	2-13
	Spanish variation	KBDCTY51	2-13
	Sweden	KBDCTY23	2-13
	Switzerland (French)	KBDCTY29	2-13
	Switzerland (German)	KBDCTY6	2-14
	Tatar	KBDCTY85	2-14
	Turkey F	KBDCTY27	2-14
	Turkey Q	KBDCTY24	2-14

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
国別キーボード設定	Ukrainian	KBDCTY76	2-14
	United Kingdom	KBDCTY7	2-14
	United States (Dvorak right)	KBDCTY89	2-14
	United States (Dvorak left)	KBDCTY88	2-14
	United States (Dvorak)	KBDCTY87	2-14
	United States (International)	KBDCTY30	2-14
	Uzbek (Cyrillic)	KBDCTY77	2-14
キーボード転換	*Keyboard Conversion Off	KBDCNV0	2-16
	Convert all Characters to Upper Case	KBDCNV1	2-16
	Convert all Characters to Lower Case	KBDCNV1	2-16
キーボードスタイル	*Regular	KBDSTY0	2-15
	Caps Lock	KBDSTY1	2-15
	Shift Lock	KBDSTY2	2-15
	Automatic Caps Lock	KBDSTY6	2-15
	Emulate External Keyboard	KBDSTY5	2-16
コントロールキャラクタの出力	*Control Character Output Off	KBDNPE0	2-17
	*Control Character Output On	KBDNPE1	2-17

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
キーボード調節	*Control + ASCII Off	KBDCAS0	2-18
	DOS Mode Control + ASCII	KBDCAS1	2-18
	Windows Mode Control + ASCII	KBDCAS2	2-18
	Windows Mode Prefix/Suffix Off	KBDCAS3	2-18
	*Turbo Mode Off	KBDTMD0	2-18
	Turbo Mode On	KBDTMD1	2-18
	*Numeric Keypad Off	KBDNPS0	2-18
	Numeric Keypad On	KBDNPS1	2-18
	*Auto Direct Connect Off	KBDADC0	2-19
	Auto Direct Connect On	KBDADC1	2-19
ボーレート	300 BPS	232BAD0	2-20
	600 BPS	232BAD1	2-20
	1200 BPS	232BAD2	2-20
	2400 BPS	232BAD3	2-20
	4800 BPS	232BAD4	2-20
	*9600 BPS	232BAD5	2-20
	19200 BPS	232BAD6	2-20
	38400 BPS	232BAD7	2-20
	57600 BPS	232BAD8	2-20
115200 BPS	232BAD9	2-20	

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
ワード長 (データビット・ストップビット・パリティ)	7 Data, 1 Stop, Parity Even	232WRD3	2-21
	7 Data, 1 Stop, Parity None	232WRD0	2-21
	7 Data, 1 Stop, Parity Odd	232WRD6	2-21
	7 Data, 2 Stop, Parity Even	232WRD4	2-21
	7 Data, 2 Stop, Parity None	232WRD1	2-21
	7 Data, 2 Stop, Parity Odd	232WRD7	2-21
	8 Data, 1 Stop, Parity Even	232WRD5	2-21
	*8 Data, 1 Stop, Parity None	232WRD2	2-21
	8 Data, 1 Stop, Parity Odd	232WRD8	2-21
RS232レシーバタイムアウト	Range 0 - 300 seconds	232LPT###	2-22
RS232ハンドシェイク	*RTS/CTS Off	232CTS0	2-22
	Flow Control, No Timeout	232CTS1	2-22
	Two-Direction Flow Control	232CTS2	2-22
	Flow Control with Timeout	232CTS3	2-22
	RS232 Timeout	232DEL####	2-23
	*XON/XOFF Off	232XON0	2-23
	XON/XOFF On	232XON1	2-23
	*ACK/NAK Off	232ACK0	2-24
ACK/NAK On	232ACK1	2-24	
スキャナ(2面式カウンタースキャナパケットモード)	*Packet Mode Off	232PKT0	2-24
	Packet Mode On	232PKT2	2-24

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
スキャナ(2面式カウンター スキャナACK/NAKモード)	*Bioptic ACK/NAK Off	232NAK0	2-25
	Bioptic ACK/NAK On	232NAK1	2-25
スキャナ(2面式カウンタース キャナACK/NAKタイムアウト)	ACK/NAK Timeout *5100	232DLK#####	2-25
入力/出力 設定			
起動ブザー	Power Up Beeper Off - Scanner	BEP PWR0	3-1
	*Power Up Beeper On - Scanner	BEP PWR1	3-1
ブザー音BEL キャラクタ	Beep on BEL On	BELBEP1	3-1
	*Beep on BEL Off	BELBEP0	3-1
トリガークリック	On	BEP TRG1	3-1
	*Off	BEP TRG0	3-1
ブザー-グッドリード	Off	BEPBEP0	3-2
	*On	BEPBEP1	3-2
ブザー音量 - グッドリード	Off	BEPLVL0	3-2
	Low	BEPLVL1	3-2
	Medium	BEPLVL2	3-2
	*High	BEPLVL3	3-2
ブザーピッチ - グッド リード (周波数)	Low (1600) (min 400Hz)	BEPFQ11600	3-3
	*Medium 2700)	BEPFQ12700	3-3
	High (4200) (max 9000Hz)	BEPFQ14200	3-3
エラーブザーピッチ - (周波数)	*Razz (250) (min 200Hz)	BEPFQ2800	3-3
	Medium (3250)	BEPFQ23250	3-3
	High (4200) (max 9000Hz)	BEPFQ24200	3-3
グッドリード - ブザー長	*Normal Beep	BEPBIP0	3-3
	Short Beep	BEPBIP1	3-3

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
グッドリードLED	Off	BEPLED0	3-4
	*On	BEPLED1	3-4
エラーブザー回数	*1	BEPERR3	3-4
	Range 1 - 9	BEPERR#	3-4
グッドリードブザー回数	*1	BEPRPT1	3-4
	Range 1 - 9	BEPRPT#	3-4
グッドリードディレイ	*No Delay	DLYGRD0	3-5
	Short Delay (500 ms)	DLYGRD500	3-5
	Medium Delay (1000 ms)	DLYGRD1000	3-5
	Long Delay (1500 ms)	DLYGRD1500	3-5
ユーザー指定のグッドリードディレイ	Range 0 - 30,000 ms	DLYGRD#####	3-5
マニュアルトリガーモード	*Manual Trigger - Normal	PAPHHF	3-6
	Manual Trigger - Enhanced	PAPHHS	3-6
シリアルトリガーモード	Read Time-Out (0 - 300,000 ms) *30,000	TRGSTO####	3-6
プレゼンテーション	Presentation Mode	TRGMOD3	3-6
デコード後のプレゼンテーションLEDの動作	*LEDs On	TRGPCK1	3-7
	LEDs Off	TRGPCK0	3-7
プレゼンテーション感度	Range 0-20 (*0)	TRGPMS##	3-7

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
プレゼンテーション センタリング	Presentation Centering On	PDCWIN1	3-9
	*Presentation Centering Off	PDCWIN0	3-9
	Left of Presentation Centering Window (*40%)	PDCLFT###	3-9
	Right of Presentation Centering Window (*60%)	PDCRGT###	3-9
	Top of Presentation Centering Window (*40%)	PDCTOP###	3-9
	Bottom of Presentation Centering Window (*60%)	PDCBOT###	3-9
CodeGate	*CodeGate Off Out- of-Stand	AOSCGD0.	3-9
	CodeGate On Out- of-Stand	AOSCGD1.	3-9
ストリーミング プレゼンテーション	Streaming Presentation Mode - Normal	PAPSPN	3-10
	Streaming Presentation Mode - Enhanced	PAPSPE	3-10
携帯電話読取モード	Hand Held Scanning - Mobile Phone	PAPHHC	3-10
	Streaming Presentation - Mobile Phone	PAPSPC	3-10
画像撮影と送信	Image Snap and Ship	TRGMOD6	3-11

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
ハンズフリータイムアウト	Range 0 - 300,000 ms	TRGPTO#####	3-11
リリードディレイ	Short (500 ms)	DLYRRD500	3-12
	*Medium (750 ms)	DLYRRD750	3-12
	Long (1000 ms)	DLYRRD1000	3-12
	Extra Long (2000 ms)	DLYRRD2000	3-11
ユーザー指定のリリードディレイ	Range 0 - 30,000 ms	DLYRRD#####	3-12
照明ライト	*Lights On	SCNLED1	3-12
	Lights Off	SCNLED0	3-12
エイマーディレイ	200 milliseconds	SCNDLY200	3-13
	400 milliseconds	SCNDLY400	3-13
	*Off (no delay)	SCNDLY0	3-13
ユーザー指定のエイマーディレイ	Range 0 - 4,000 ms	SCNDLY####	3-13
スキャナタイムアウト	0 - 999,999 ms	SDRTIM####	3-13
エイマーモード	Off	SCNAIM0	3-14
	*Interlaced	SCNAIM2	3-14
センタリング	Centering On	DECWIN1	3-16
	*Centering Off	DECWIN0	3-16
	Left of Centering Window (*40%)	DECLFT###	3-16
	Right of Centering Window (*60%)	DECRGT###	3-16
	Top of Centering Window (*40%)	DECTOP###	3-16
	Bottom of Centering Window (*60%)	DECBOT###	3-16

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
優先シンボル	On	PRFENA1	3-17
	*Off	PRFENA0	3-17
	High Priority Symbology	PRFCOD##	3-17
	Low Priority Symbology	PRFBLK##	3-17
	Preferred Symbology Timeout (*500) Range 100-3000	PRFPTO#####	3-18
	Preferred Symbology Default	PRFDFT	3-18
アウトプットシーケンスエディタ	Enter Sequence	SEQBLK	3-21
	Default Sequence	SEQDFT	3-21
パーシャルシーケンス	Transmit Partial Sequence	SEQTTS1	3-21
	*Discard Partial Sequence	SEQTTS0	3-21
アウトプットシーケンス要求	Required	SEQ_EN2	3-22
	On/Not Required	SEQ_EN1	3-22
	*Off	SEQ_EN0	3-22
マルチシンボル	On	SHOTGN1	3-22
	*Off	SHOTGN0	3-22
No Read	On	SHWNRD1	3-23
	*Off	SHWNRD0	3-23
ビデオリバース	Video Reverse Only	VIDREV1	3-23
	Video Reverse and Standard Bar Codes	VIDREV2	3-23
	*Video Reverse Off	VIDREV0	3-23

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
読取方向	*Upright	ROTATN0	3-24
	Vertical, Bottom to Top (Rotate CCW 90°)	ROTATN1	3-24
	Upside Down	ROTATN2	3-24
	Vertical, Top to Bottom (Rotate CW 90°)	ROTATN3	3-24
プレフィックス・サフィックス設定			
全シンボルへのCRサフィックス追加		VSUFCR	4-3
プレフィックス	Add Prefix	PREBK2##	4-3
	Clear One Prefix	PRECL2	4-3
	Clear All Prefixes	PRECA2	4-3
サフィックス	Add Suffix	SUFBK2##	4-4
	Clear One Suffix	SUFCL2	4-4
	Clear All Suffixes	SUFCA2	4-4
ファンクションコード送信	*Enable	RMVFNC0	4-4
	Disable	RMVFNC1	4-4
キャラクタ間ディレイ	Range 0 - 1000 (5ms increments)	DLYCHR##	4-5
ユーザー指定の キャラクタ間ディレイ	Delay Length 0 - 1000 (5ms increments)	DLYCRX##	4-5
	Character to Trigger Delay	DLY_XX##	4-5
ファンクション間ディレイ	Range 0 - 1000 (5ms increments)	DLYFNC##	4-6
メッセージ間ディレイ	Range 0 - 1000 (5ms increments)	DLYMSG##	4-6

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
データフォーマット選択			
データフォーマットエディタ	*Default Data Format (None)	DFMDF3	5-1
	Enter Data Format	DFMBK3##	5-2
	Clear One Data Format	DFMCL3	5-3
	Clear All Data Formats	DFMCA3	5-3
データフォーマッタ	Data Formatter Off	DFM_EN0	5-9
	*Data Formatter On, Not Required, Keep Prefix/Suffix	DFM_EN1	5-10
	Data Format Required, Keep Prefix/Suffix	DFM_EN2	5-10
	Data Formatter On, Not Required, Drop Prefix/Suffix	DFM_EN3	5-10
	Data Format Required, Drop Prefix/Suffix	DFM_EN4	5-10
データフォーマット非適合エラーぶさー	*Data Format Non-Match Error Tone On	DFMDEC0	5-11
	Data Format Non-Match Error Tone Off	DFMDEC1	5-11
基準/代用データフォーマット	Primary Data Format	ALTFNM0	5-11
	Data Format 1	ALTFNM1	5-11
	Data Format 2	ALTFNM2	5-11
	Data Format 3	ALTFNM3	5-11

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
シングルスキャンデータフォーマット変更	Single Scan-Primary Data Format	VSAF_0	5-12
	Single Scan-Data Format 1	VSAF_1	5-12
	Single Scan-Data Format 2	VSAF_2	5-12
	Single Scan-Data Format 3	VSAF_3	5-12
シンボル			
全シンボル	All Symbolologies Off	ALLENA0	7-2
	All Symbolologies On	ALLENA1	7-2
Codabar	Default All Codabar Settings	CBRDFT	7-3
	Off	CBRENA0	7-3
	*On	CBRENA1	7-3
Codabar スタート/ ストップキャラクタ	*Don't Transmit	CBRSSX0	7-3
	Transmit	CBRSSX1	7-3
Codabar チェック キャラクタ	*No Check Char.	CBRCK20	7-4
	Validate, But Don't Transmit	CBRCK21	7-4
	Validate, and Transmit	CBRCK22	7-4
Codabar 連結機能	*Off	CBRCCT0	7-4
	On	CBRCCT1	7-4
	Require	CBRCCT2	7-4
Codabar 読取桁数	Minimum (2 - 60) *4	CBRMIN##	7-5
	Maximum (2 - 60) *60	CBRMAX##	7-5
Code 39	Default All Code 39 Settings	C39DFT	7-6
	Off	C39ENA0	7-6
	*On	C39ENA1	7-6

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
Code 39 スタート/ ストップキャラクタ	*Don't Transmit	C39SSX0	7-6
	Transmit	C39SSX1	7-6
Code 39チェックキャラクタ	*No Check Char.	C39CK20	7-7
	Validate, But Don't Transmit	C39CK21	7-7
	Validate, and Transmit	C39CK22	7-7
Code 39 読取桁数	Minimum (0 - 48) *0	C39MIN##	7-7
	Maximum (0 - 48) *48	C39MAX##	7-7
Code 39 アペンド機能	*Off	C39APP0	7-8
	On	C39APP1	7-8
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	*Off	C39B320	7-8
	On	C39B321	7-8
Code 39 Full ASCII	*Off	C39ASC0	7-9
	On	C39ASC1	7-9
	Code 39 Code Page	C39DCP	7-10
Interleaved 2 of 5	Default All Interleaved 2 of 5 Settings	I25DFT	7-10
	Off	I25ENA0	7-10
	*On	I25ENA1	7-10
Interleaved 2 of 5 チェックデジット	*No Check Char.	I25CK20	7-11
	Validate, But Don't Transmit	I25CK21	7-11
	Validate, and Transmit	I25CK22	7-11
Interleaved 2 of 5 読取桁数	Minimum (2 - 80) *4	I25MIN##	7-11
	Maximum (2 - 80) *80	I25MAX##	7-11

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
NEC 2 of 5	Default All NEC 2 of 5 Settings	N25DFT	7-12
	Off	N25ENA0	7-12
	*On	N25ENA1	7-12
NEC 2 of 5 チェック ディジット	*No Check Char.	N25CK20	7-12
	Validate, But Don't Transmit	N25CK21	7-12
	Validate, and Transmit	N25CK22	7-12
NEC 2 of 5 読取桁数	Minimum (2 - 80) *4	N25MIN##	7-13
	Maximum (2 - 80) *80	N25MAX##	7-13
Code 93	Default All Code 93 Settings	C93DFT	7-14
	Off	C93ENA0	7-14
	*On	C93ENA1	7-16
Code 93 読取桁数	Minimum (0 - 80) *0	C93MIN##	7-14
	Maximum (0 - 80) *80	C93MAX##	7-14
Code 93 アペンド機能	On	C93APP1	7-15
	*Off	C93APP0	7-15
Code 93コードページ	Code 93 Code Page	C93DCP	7-15
Straight 2 of 5 Industrial	Default All Straight 2 of 5 Industrial Settings	R25DFT	7-16
	*Off	R25ENA0	7-16
	On	R25ENA1	7-16
Straight 2 of 5 Industrial 読取桁数	Minimum (1 - 48) *4	R25MIN##	7-16
	Maximum (1 - 48) *48	R25MAX##	7-16
Straight 2 of 5 IATA	Default All Straight 2 of 5 IATA Settings	A25DFT	7-17

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
Straight 2 of 5 IATA	*Off	A25ENA0	7-17
	On	A25ENA1	7-17
Straight 2 of 5 IATA 読取桁数	Minimum (1 - 48) *4	A25MIN##	7-17
	Maximum (1 - 48) *48	A25MAX##	7-17
Matrix 2 of 5	Default All Matrix 2 of 5 Settings	X25DFT	7-18
	*Off	X25ENA0	7-18
	On	X25ENA1	7-18
Matrix 2 of 5 読取桁数	Minimum (1 - 80) *4	X25MIN##	7-18
	Maximum (1 - 80) *80	X25MAX##	7-18
Code 11	Default All Code 11 Settings	C11DFT	7-19
	*Off	C11ENA0	7-19
	On	C11ENA1	7-19
Code 11 必要 チェックデジット数	1 Check Digit	C11CK20	7-19
	*2 Check Digits	C11CK21	7-19
Code 11 読取桁数	Minimum (1 - 80) *4	C11MIN##	7-20
	Maximum (1 - 80) *80	C11MAX##	7-20
Code 128	Default All Code 128 Settings	128DFT	7-20
	Off	128ENA0	7-20
	*On	128ENA1	7-20
ISBT 連結機能	*Off	ISBENA0	7-21
	On	ISBENA1	7-21
Code 128 読取桁数	Minimum (0 - 80) *0	128MIN##	7-21
	Maximum (0 - 80) *80	128MAX##	7-21
Code128アペンド機能	On	128APP1	7-21
	*Off	128APP0	7-21

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
Code128コードページ	Code 128 Code Page (*2)	128DCP##	7-22
GS1-128	Default All GS1-128 Settings	GS1DFT	7-23
	*On	GS1ENA1	7-23
	Off	GS1ENA0	7-23
GS1-128 読取桁数	Minimum (1 - 80) *1	GS1MIN	7-23
	Maximum (0 - 80) *80	GS1MAX	7-23
Telepen	Default All Telepen Settings	TELDFT	7-24
	*Off	TELENA0	7-24
	On	TELENA1	7-24
Telepen 出力	*AIM Telepen Output	TELOLD0	7-24
	Original Telepen Output	TELOLD1	7-24
Telepen 読取桁数	Minimum (1 - 60) *1	TELMIN##	7-25
	Maximum (1 - 60) *60	TELMAX##	7-25
UPC-A	Default All UPC-A Settings	UPADFT	7-25
	Off	UPAENA0	7-25
	*On	UPAENA1	7-25
UPC-Aチェックデジット	Off	UPACKX0	7-25
	*On	UPACKX1	7-25
UPC-A システム番号	Off	UPANSX0	7-26
	*On	UPANSX1	7-26
UPC-A 2 追加デジット	*Off	UPAAD20	7-26
	On	UPAAD21	7-26
UPC-A 5 追加デジット	*Off	UPAAD50	7-26
	On	UPAAD51	7-26
UPC-A 追加デジット要	*Not Required	UPAARQ0	7-26
	Required	UPAARQ1	7-26

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
UPC-A 追加デジット セパレータ	Off	UPAADS0	7-27
	*On	UPAADS1	7-27
拡張クーポンコード付 UPC-A/EAN-13	*Off	CPNENA0	7-27
	Allow Concatenation	CPNENA1	7-27
	Require Concatenation	CPNENA2	7-27
クーポンGS1 DataBar 出力	GS1 Output Off	CPNGS10	7-28
	GS1 Output On	CPNGS11	7-28
UPC-E0	Default All UPC-E Settings	UPEDFT	7-28
	Off	UPEEN00	7-28
	*On	UPEEN01	7-28
UPC-E0拡張	*Off	UPEEXP0	7-29
	On	UPEEXP1	7-29
UPC-E0 追加デジット 要	Required	UPEARQ1	7-29
	*Not Required	UPEARQ0	7-29
UPC-E0 追加デジット セパレータ	*On	UPEADS1	7-29
	Off	UPEADS0	7-29
UPC-E0チェックデジット	Off	UPECKX0	7-30
	*On	UPECKX1	7-30
UPC-E0 システム 番号	Off	UPENSX0	7-30
	*On	UPENSX1	7-30
UPC-E0 追加デジット	2 Digit Addenda On	UPEAD21	7-30
	*2 Digit Addenda Off	UPEAD20	7-30
	5 Digit Addenda On	UPEAD51	7-30
	*5 Digit Addenda Off	UPEAD50	7-30
UPC-E1	*Off	UPEEN10	7-31
	On	UPEEN11	7-31
EAN/JAN-13	Default All EAN/ JAN Settings	E13DFT	7-31
	Off	E13ENA0	7-31
	*On	E13ENA1	7-31

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
EAN/JAN-13 チェック デジット	Off	E13CKX0	7-31
	*On	E13CKX1	7-31
EAN/JAN-13 2追加 デジット	2 Digit Addenda On	E13AD21	7-32
	*2 Digit Addenda Off	E13AD20	7-32
	5 Digit Addenda On	E13AD51	7-32
	*5 Digit Addenda Off	E13AD50	7-32
EAN/JAN-13 追加デジット要	*Not Required	E13ARQ0	7-32
	Required	E13ARQ1	7-32
EAN/JAN-13 追加デジット セパレータ	Off	E13ADS0	7-33
	*On	E13ADS1	7-33
ISBN 変換	*Off	E13ISB0	7-33
	On	E13ISB1	7-33
EAN/JAN-8	Default All EAN/ JAN 8 Settings	EA8DFT	7-34
	Off	EA8ENA0	7-34
	*On	EA8ENA1	7-34
EAN/JAN-8 チェック デジット	Off	EA8CKX0	7-34
	*On	EA8CKX1	7-34
EAN/JAN-8追加デジット	*2 Digit Addenda Off	EA8AD20	7-35
	2 Digit Addenda On	EA8AD21	7-35
	*5 Digit Addenda Off	EA8AD50	7-35
	5 Digit Addenda On	EA8AD51	7-35
EAN/JAN-8 追加 デジット要	*Not Required	EA8ARQ0	7-35
	Required	EA8ARQ1	7-35
EAN/JAN-8 追加 デジットセパレータ	Off	EA8ADS0	7-35
	*On	EA8ADS1	7-35
MSI	Default All MSI Settings	MSIDFT	7-36
	*Off	MSIENA0	7-36
	On	MSIENA1	7-36

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
MSIチェックキャラクタ	*Validate Type 10, but Don't Transmit	MSICHK0	7-37
	Validate Type 10 and Transmit	MSICHK1	7-37
	Validate 2 Type 10 Chars, but Don't Transmit	MSICHK2	7-37
	Validate 2 Type 10 Chars and Transmit	MSICHK3	7-37
	Validate Type 10 then Type 11 Char, but Don't Transmit	MSICHK4	7-37
	Validate Type 10 then Type 11 Char and Transmit	MSICHK5	7-37
	Disable MSI Check Characters	MSICHK6	7-37
MSI 読取桁数	Minimum (4 - 48) *4	MSIMIN##	7-37
	Maximum (4 - 48) *48	MSIMAX##	7-37
GS1 DataBar Omnidirectional	Default All GS1 DataBar Omnidirectional Settings	RSSDFT	7-38
	Off	RSSENA0	7-38
	*On	RSSENA1	7-38
GS1 DataBar Limited	Default All GS1 DataBar Limited Settings	RSLDFT	7-38
	Off	RSLENA0	7-38
	*On	RSLENA1	7-38

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
GS1 DataBar Expanded	Default All GS1 DataBar Expanded Settings	RSEDFT	7-39
	Off	RSEENA0	7-39
	*On	RSEENA1	7-39
GS1 DataBar Expanded 読取桁数	Minimum (4 - 74) *4	RSEMIN##	7-39
	Maximum (4 - 74) *74	RSEMAX##	7-39
Trioptic Code	*Off	TRIENA0	7-40
	On	TRIENA1	7-40
Codablock A	Default All Codablock A Settings	CBADFT	7-40
	*Off	CBAENA0	7-40
	On	CBAENA1	7-40
Codablock A 読取桁数	Minimum (1 - 600) *1	CBAMIN####	7-41
	Maximum (1 - 600) *600	CBAMAX####	7-41
Codablock F	Default All Codablock F Settings	CBFDFT	7-42
	*Off	CBFENA0	7-42
	On	CBFENA1	7-42
Codablock F 読取桁数	Minimum (1 - 2048) *1	CBFMIN####	7-42
	Maximum (1 - 2048) *2048	CBFMAX####	7-42
PDF417	Default All PDF417 Settings	PDFDFT	7-43
	*On	PDFENA1	7-43
	Off	PDFENA0	7-43

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
PDF417 読取桁数	Minimum (1-2750) *1	PDFMIN	7-43
	Maximum (1-2750) *2750	PDFMAX	7-43
MicroPDF417	Default All Micro PDF417 Settings	MPDDFT	7-44
	On	MPDENA1	7-44
	*Off	MPDENA0	7-44
MicroPDF417読取桁数	Minimum (1-366) *1	MPDMIN	7-44
	Maximum (1-366) *366	MPDMAX	7-44
GS1 Composite コード	On	COMENA1	7-45
	*Off	COMENA0	7-45
UPC/EAN Version	On	COMUPC1	7-45
	*Off	COMUPC0	7-45
GS1 Composite コード読取桁数	Minimum (1-2435) *1	COMMIN	7-45
	Maximum (1-2435) *2435	COMMAX	7-45
GS1 エミュレーション	GS1-128 Emulation	EANEMU1	7-46
	GS1 DataBar Emulation	EANEMU2	7-46
	GS1 Code Expansion Off	EANEMU3	7-46
	EAN8 to EAN13 Conversion	EANEMU4	7-46
	*GS1 Emulation Off	EANEMU0	7-46
TCIF Linked Code 39	On	T39ENA1	7-47
	*Off	T39ENA0	7-47
QR コード	Default All QR Code Settings	QRCDFT	7-47
	*On	QRCENA1	7-47
	Off	QRCENA0	7-47

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
QRコード読取桁数	Minimum (1-7089) *1	QRCPMIN	7-48
	Maximum (1-7089) *7089	QRCPMAX	7-48
QRコードページ	QR Code Page (*3)	QRCDP##	7-48
Data Matrix	Default All Data Matrix Settings	IDMDFT	7-49
	*On	IDMENA1	7-49
	Off	IDMENA0	7-49
Data Matrix 読取桁数	Minimum (1-3116) *1	IDMMIN	7-49
	Maximum (1-3116) *3116	IDMMAX	7-49
Data Matrix コード ページ	Data Matrix Code Page (*51)	IDMDCP##	7-50
Low Density Data Matrix	Low Density Codes On	IDMBST1	7-50
	*Low Density Codes Off	IDMBST0	7-50
Maxiコード	Default All MaxiCode Settings	MAXDFT	7-51
	On	MAXENA1	7-51
	*Off	MAXENA0	7-51
Maxiコード読取桁数	Minimum (1-150) *1	MAXMIN	7-51
	Maximum (1-150) *150	MAXMAX	7-51
Aztec コード	Default All Aztec Code Settings	AZTDFT	7-52
	*On	AZTENA1	7-52
	Off	AZTENA0	7-52
Aztec コード読取桁数	Minimum (1-3832) *1	AZTMIN	7-52
	Maximum (1-3832) *3832	AZTMAX	7-52

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
Aztec 追加デジット	On	AZTAPP1	7-53
	*Off	AZTAPP0	7-53
Aztec コードページ	Aztec Code Page (*51)	AZTDCP##	7-53
中国 (漢信) コード	Default All Han Xin Code Settings	HX_DFT	7-54
	On	HX_ENA1	7-54
	*Off	HX_ENA0	7-54
中国 (漢信)コード読取桁数	Minimum (1-7833) *1	HX_MIN	7-54
	Maximum (1-7833) *7833	HX_MAX	7-54
郵便コード - 2D			
2D郵便コード	*Off	POSTAL0	7-55
2D郵便コード (単独)	Australian Post On	POSTAL1	7-55
	British Post On	POSTAL7	7-55
	Canadian Post On	POSTAL30	7-55
	Intelligent Mail Bar Code On	POSTAL10	7-55
	Japanese Post On	POSTAL3	7-55
	KIX Post On	POSTAL4	7-55
	Planet Code On	POSTAL5	7-55
	Postal-4i On	POSTAL9	7-55
	Postnet On	POSTAL6	7-56
	Postnet with B and B' Fields On	POSTAL11	7-56
	InfoMail On	POSTAL2	7-56

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
2D郵便コード (組み合わせ)	InfoMail and British Post On	POSTAL8	7-56
	Intelligent Mail Bar Code and Postnet with B and B' Fields On	POSTAL20	7-56
	Postnet and Postal-4i On	POSTAL14	7-56
	Postnet and Intelligent Mail Bar Code On	POSTAL16	7-56
	Postal-4i and Intelligent Mail Bar Code On	POSTAL17	7-56
	Postal-4i and Postnet with B and B' Fields On	POSTAL19	7-56
	Planet and Postnet On	POSTAL12	7-56
	Planet and Postnet with B and B' Fields On	POSTAL18	7-56
	Planet and Postal-4i On	POSTAL13	7-57
	Planet and Intelligent Mail Bar Code On	POSTAL15	7-57
	Planet, Postnet, and Postal-4i On	POSTAL21	7-57
	Planet, Postnet, and Intelligent Mail Bar Code On	POSTAL22	7-57
Planet, Postal-4i, and Intelligent Mail Bar Code On	POSTAL23	7-57	

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
2D郵便コード (組み合わせ) (続き)	Postnet, Postal-4i, and Intelligent Mail Bar Code On	POSTAL24	7-57
	Planet, Postal-4i, and Postnet with B and B' Fields On	POSTAL25	7-57
	Planet, Intelligent Mail Bar Code, and Postnet with B and B' Fields On	POSTAL26	7-57
	Postal-4i, Intelligent Mail Bar Code, and Postnet with B and B' Fields On	POSTAL27	7-57
	Planet, Postal-4i, Intelligent Mail Bar Code, and Postnet On	POSTAL28	7-57
	Planet, Postal-4i, Intelligent Mail Bar Code, and Postnet with B and B' Fields On	POSTAL29	7-57
Planet Code チェック デジット	Transmit	PLNCKX1	7-58
	*Don't Transmit	PLNCKX0	7-58
Postnetチェックデジット	Transmit	NETCKX1	7-58
	*Don't Transmit	NETCKX0	7-58
オーストラリア郵便 変換	Bar Output	AUSINT0	7-59
	Numeric N Table	AUSINT1	7-59
	Alphanumeric C Table	AUSINT2	7-59
	Combination N and C Tables	AUSINT3	7-59
郵便コード - 1次元バーコード			

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
中国郵政 (Hong Kong 2 of 5)	Default All China Post (Hong Kong 2 of 5) Settings	CPCDFT	7-59
	*Off	CPCENA0	7-60
	On	CPCENA1	7-60
中国郵政 (Hong Kong 2 of 5) 読取桁数	Minimum (2 - 80) *4	CPCMIN##	7-60
	Maximum (2 - 80) *80	CPCMAX##	7-60
韓国郵政	Default All Korea Post Settings	KPCDFT	7-61
	*Off	KPCENA0	7-61
	On	KPCENA1	7-61
Korea Post 読取桁数	Minimum (2 - 80) *4	KPCMIN##	7-61
	Maximum (2 - 80) *48	KPCMAX##	7-61
韓国郵政チェック デジット	Transmit Check Digit	KPCCHK1	7-61
	*Don't Transmit Check Digit	KPCCHK0	7-61

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
画像デフォルトコマンド			
イメージスナップ	Default all Imaging Commands	IMGDFT	8-1
	Imaging Style - Decoding	SNPSTY0	8-2
	*Imaging Style - Photo	SNPSTY1	8-2
	Imaging Style - Manual	SNPSTY2	8-2
	Beeper On	SNPBEP1	8-2
	*Beeper Off	SNPBEP0	8-2
	*Wait for Trigger Off	SNPTRG0	8-2
	Wait for Trigger On	SNPTRG1	8-2
	*LED State - Off	SNPLED0	8-2
	LED State - On	SNPLED1	8-2
	Exposure (1-7874 microseconds)	SNPEXP	8-3
	*Gain - None	SNPGAN1	8-3
	Gain - Medium	SNPGAN2	8-3
	Gain - Heavy	SNPGAN4	8-3
	Gain - Maximum	SNPGAN8	8-3
	Target White Value (0-255) *125	SNPWHT###	8-4
	Delta for Acceptance (0-255) *25	SNPDEL###	8-4
	Update Tries (0-10) *6	SNPTRY##	8-4
	Target Set Point Percentage (1-99) *50	SNPPCT##	8-4

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド #印は数値入力を示す	ページ
画像送信	*Infinity Filter - Off	IMGINF0	8-5
	Infinity Filter - On	IMGINF1	8-5
	*Compensation Off	IMGCOR0	8-6
	Compensation On	IMGCOR1	8-6
	*Pixel Depth - 8 bits/ pixel (grayscale)	IMGBPP8	8-6
	Pixel Depth - 1 bit/ pixel (B&W)	IMGBPP1	8-6
	*Don't Sharpen Edges	IMGEDG0	8-7
	Sharpen Edges (0- 23)	IMGEDG##	8-7
	*File Format - JPEG	IMGFMT6	8-7
	File Format - KIM	IMGFMT0	8-7
	File Format - TIFF binary	IMGFMT1	8-7
	File Format - TIFF binary group 4, compressed	IMGFMT2	8-7
	File Format - TIFF grayscale	IMGFMT3	8-7
	File Format - Uncompressed binary	IMGFMT4	8-7
	File Format - Uncompressed grayscale	IMGFMT5	8-7
	File Format - BMP	IMGFMT8	8-7
	*Histogram Stretch Off	IMGHIS0	8-8
	Histogram Stretch On	IMGHIS1	8-8
	*Noise Reduction Off	IMGFSP0	8-9
	Noise Reduction On	IMGFSP1	8-9

選択項目	設定 * 印は初期設定を示す	シリアルコマンド # 印は数値入力を示す	ページ
画像送信 (続き)	Invert Image around X axis	IMGNVX1	8-8
	Invert Image around Y axis	IMGNVY1	8-8
	Rotate Image none	IMGROT0	8-9
	Rotate Image 90° right	IMGROT1	8-9
	Rotate Image 180° right	IMGROT2	8-9
	Rotate Image 90° left	IMGROT3	8-9
	JPEG Image Quality (0-100) *50	IMGJQF###	8-10
	*Gamma Correction Off	IMGGAM0	8-10
	Gamma Correction On (0-1000)	IMGGAM###	8-10
	Image Crop - Left (0-640) *0	IMGWNL###	8-10
	Image Crop - Right (0-640) *639	IMGWNR###	8-10
	Image Crop - Top (0-480) *0	IMGWNT###	8-10
	Image Crop - Bottom (0-480) *479	IMGWNB###	8-11
	Image Crop - Margin (1-238) *0	IMGMAR###	8-11
	Protocol - None (raw)	IMGXFR0	8-11
	Protocol - None (default USB)	IMGXFR2	8-11
	Protocol - Hmodem Compressed	IMGXFR3	8-11
	Protocol - Hmodem	IMGXFR4	8-11
Ship Every Pixel	IMGSUB1	8-12	

選択項目	設定 *印は初期設定を示す	シリアルコマンド # 印は数値入力を示す	ページ
画像送信 (続き)	Ship Every 2nd Pixel	IMGSUB2	8-12
	Ship Every 3rd Pixel	IMGSUB3	8-12
	*Document Image Filter Off	IMGUSH0	8-12
	Document Image Filter On (0-255)	IMGUSH###	8-12
	*Don't Ship Histogram	IMGHST0	8-13
	Ship Histogram	IMGHST1	8-13
画像サイズの互換性	Force VGA Resolution	IMGVGA1	8-14
	*Native Resolution	IMGVGA0	8-14
インテリジェント署名 取り込み	Optimize On	DECBND1	8-14
	*Optimize Off	DECBND0	8-14

3310 スキャナ製品仕様

項目	仕様
外形寸法 (代表値)	
高さ	26mm (1.02インチ)
長さ	74mm (2.91インチ)
幅	50mm (1.97インチ)
重量	70g (2.5オンス)
照明	
照明LED	633nm
エイマーLED	528nm
画像サイズ	844 x 640 ピクセル
スキュー角	±65°
ピッチ角	±45°
モーションの許容範囲 拡張ストリーミング プレゼンテーショントリガー	13 mil UPCバーコードの場合、240インチ/秒まで
シンボルコントラスト	グレード 1.0 (20%以上)
電圧条件	インプットコネクタで4.5 ~ 5VDC
消費電流 @5VDC	動作時 待機時 450mA, 2.3W 90mA, .45W
電源ノイズ防止	ピークで 100mV以下、10 ~ 100 kHz
温度範囲	
動作温度	(0°C ~ 40°C) +32°F to +104°F
保管温度	(-20°C ~ 70°C) -4°F to +158°F
湿度	5 ~ 95% 結露なきこと
耐落下	1.5mの高さから23°Cでコンクリートに30回落下させた衝撃に耐えること
振動	22 ~ 300 Hzで最大5Gに耐えること
ESD耐性	空気直接の場合15kVまで 間接的結合面の場合は8 kVまで
防塵防滴保護等級	IP53

分解能

標準性能

バーコード	標準レンジ (SR)
5 mil Code 39	55 mm - 159 mm (2.2" - 6.3")
7.5 mil Code 39	35 mm - 239 mm (1.4" - 9.4")
10 mil Code 39	26 mm - 330 mm (1.0" - 13.0")
20 mil Code 39	47 mm - 553 mm (1.9" - 21.8")
13 mil UPC	39 mm - 435 mm (1.5" - 17.1")
6.7 mil PDF417	36 mm - 178 mm (1.4" - 7.0")
10 mil PDF417	36 mm - 289 mm (1.4" - 11.4")
10 mil Data Matrix	47 mm - 216 mm (1.9" - 8.5")
20 mil Data Matrix	33 mm - 414 mm (1.3" - 16.3")

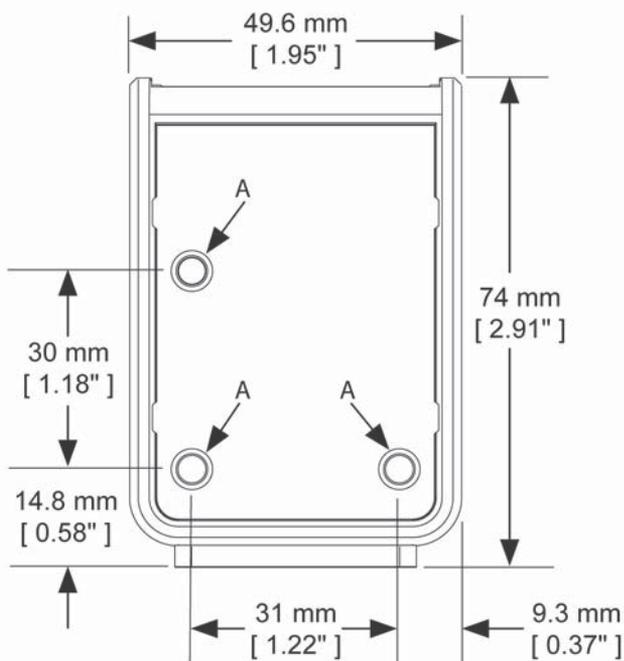
保証性能

バーコード	標準レンジ (SR)
5 mil Code 39	64 mm - 145 mm (2.5" - 5.7")
7.5 mil Code 39	59 mm - 221 mm (2.3" - 8.7")
10 mil Code 39	42 mm - 308 mm (1.7" - 12.1")
20 mil Code 39	64 mm - 488 mm (2.5" - 19.2")
13 mil UPC	55 mm - 410 mm (2.2" - 16.1")
6.7 mil PDF417	48 mm - 160 mm (1.9" - 6.3")
10 mil PDF417	49 mm - 274 mm (1.9" - 10.8")
10 mil Data Matrix	62 mm - 195 mm (2.4" - 7.7")
20 mil Data Matrix	47 mm - 377 mm (1.9" - 14.8")

注：バーコードの品質や環境条件によって性能に影響が出る可能性があります。

マウント仕様

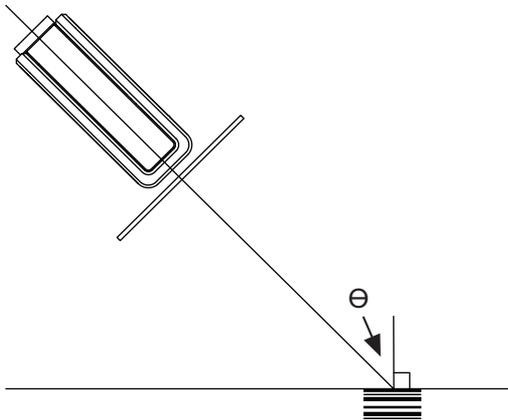
3310は ネジでスキャナを固定するための3つのM3 x 0.5mm穴が底面にあります。



Item	Description	Qty.
A	M3 x 0.5 mm Threaded Insert, 5.0 mm Max. Depth Do not exceed 3 cm-kg torque	3

マウントガイドライン

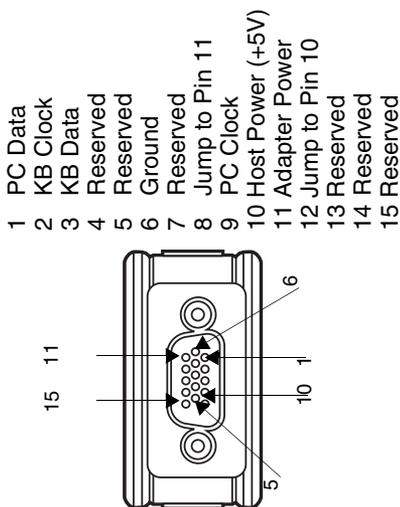
- 周囲と内部の光源による鏡面反射を避けてください。
- バーコードはスキャナの軸に垂直より少し傾けてください
- 鏡面反射を減らすためのスキュー角は周囲の照明光源、コードサイズ、コードタイプのようなアプリケーション条件によって大きく変化します。
- 必要以上の角度は避けてください。
- 表面の品質、マウントの距離、二次ウィンドウ、外部照明のような他の要因はこれらの提案に簡単に影響を与えます。
- もし二次ウィンドウを利用する場合、鏡面反射を避けるために、ウィンドウはできる限りスキャナのフロントに近くに光軸に対して90°の角度でマウントしてください。
- 二次ウィンドウにはハネウェル社は次のものを推奨します。
 - 光学的品質ガラス
 - 650nmの表示波長で95%以上の透過率
 - 両面が反射防止ガラス
 - 2mm以上の厚さの窓を使用しない
- バーコードの表面とイメージャー光軸のスキュー角が15° ~ 20°あれば鏡面反射を避けるのに十分です。
- コード圧縮を防ぐためにピッチ角を20°以上にしないでください。



標準ケーブルピンアウト

キーボードウェッジ

15 Pin D-type
ベースに接続

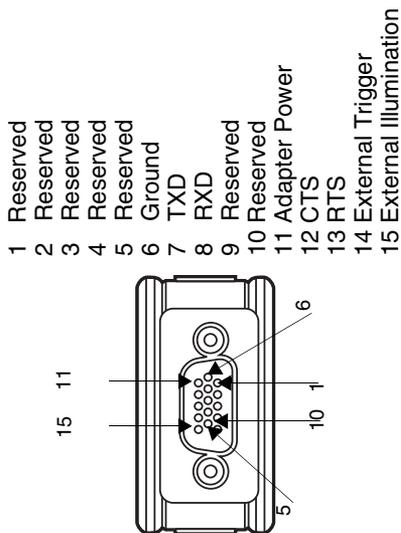


注： 不適切なピンアサインメントのケーブル使用は機器に損傷を与える可能性があります。
メーカー提供のものではないケーブルの仕様による損傷は保証対象となりません。

標準ケーブルピンアウト

シリアルアウトプット

15 Pin D-type
ベースに接続

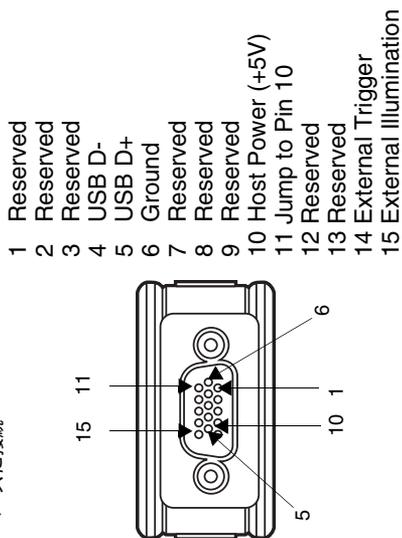


注： 不適切なピンアサインメントのケーブル使用は機器に損傷を与える可能性があります。
メーカー提供のものではないケーブルの仕様による損傷は保証対象となりません。

標準ケーブルピンアウト

USB

15 Pin D-type
ベースに接続



注： 不適切なピンアサインメントのケーブル使用は機器に損傷を与える可能性があります。
メーカー提供のものではないケーブルの仕様による損傷は保証対象となりません。

スキャナを水に浸けないでください。
修理 スキャナの筐体は耐水性ではありません。

修理、アップグレードはこの製品に付属していません。これらのサービスは、必ず正規のサービスセンターで受けてください（14-1ページの「[カスタマーサポート](#)」を参照してください。）

保守

スキャナは、最低限の手入れで確実に効率的な動作を提供します。特別な保守は不要ですが、以下の定期点検によって信頼性の高いスキャナの動作を確保できます。

機器の清掃

スキャナやベース筐体は、柔らかい布やレンズ用ティッシュを水（または水で薄めた中性洗剤）で軽く濡らして拭いてください。洗剤を使用する場合は、水だけで濡らした綺麗なレンズ用ティッシュでふき取ってください。



警告

研磨剤入りの布やティッシュを使用しないでください。
窓を傷つけることがあります。筐体や窓には溶剤アルコールやアセトンなどを絶対に使用しないでください。
表面や窓を傷めることがあります。

ウィンドウの清掃

スキャナの窓が汚れていると、読取性能が低下することがあります。汚れが目立ったり、十分に動作しない場合は、以下の「[ヘルスケア筐体](#)」のリストにある方法で窓を掃除してください。

ヘルスケア筐体

Vuquestスキャナのいくつかの構成は、ヘルスケア環境で化学製品の影響に抵抗するようにデザインされた外部プラスチック筐体があります。プラスチックは結晶質ですので、化学物質が筐体を通過するのを防ぎます。

重要！次のクリーニング方法はスキャナの消毒用筐体の安全が確認された方法です。これらはスキャナに適した方法です。以下のリストにある以外のクリーナーを使用して生じた損傷は保証の対象外となります。

- Sani-Cloth® HB wipes
- Sani-Cloth® Plus wipes
- Super Sani-Cloth® wipes
- Isopropyl Alcohol wipes (70%)
- CaviWipes™
- Virex® 256
- 409® Glass and Surface Cleaner
- Windex® Blue
- Clorox® Bleach – 10%
- Gentle dish soap and water

ケーブルとコネクタの点検

痛みやその他損傷の痕跡が無いかインターフェースケーブルとコネクタを点検してください。ケーブルがひどく傷んでいたりコネクタが損傷していると、スキャナの動作を妨げることがあります。ケーブルの交換については、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。ケーブルの交換手順は [13-2](#) ページに記載されています。

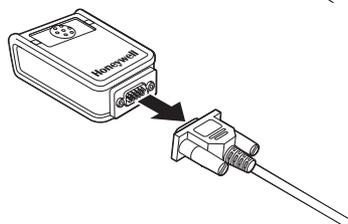
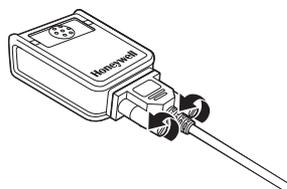
ケーブルの交換

標準のインターフェースケーブルが10ピンのモジュラコネクタと共に付属しています。適切に設置された場合、コネクタはフレキシブルリテンションタブによってスキャナのハンドルに収まります。インターフェースケーブルは現場で交換できるように設計されています。

- 交換用ケーブルはハネウェル社もしくは正規の販売店よりお求めください。
- 効果尿ケーブルご注文の際は、元々のインターフェースケーブルの部品番号をご指定ください。

インターフェースケーブルの交換

1. ホストシステムの電源をオフにします。
2. スキャナのケーブルをターミナルまたはコンピュータから外します。
3. 2つのネジを左に回し、ネジを緩めます。
4. コネクタをやさしく外します。
5. 新しいケーブルと交換します。コネクタを3310に差し込みます。2つのネジを右に回し、ネジを締めます。



トラブルシューティング

Vuquest スキャナ

電源を入れると、スキャナはそのつどセルフテストを自動的に実行します。お使いのスキャナが正常に機能しない場合は、以下のトラブルシューティングガイドに従って問題点を明らかにしてください。

電源が入っていますか？赤のエイミング証明ラインが点灯していますか？

赤のエイミング証明ラインが点灯していない場合は、以下の項目を確認してください。

- ケーブルが正しく接続されているか。
- ホストシステムの電源がオンになっているか（外部電源を使用しない場合）
- トリガーが動作するか。

シンボルの読取でスキャナに問題がありますか？

シンボルを正しく読み取らない場合は、以下の項目を確認してください。

- シンボルに汚れ、荒れ、傷、あるいは欠けがないか。
- シンボルの表面に霜や水滴が付いてないか。
- シンボルがスキャナ、またはスキャナが接続されているデコーダで有効になっているか。

バーコードが表示されても入力されませんか？

バーコードはホスト機器で正常に表示されていますが、入力するためにはまだキーを押す必要があります。（Enter/ReturnキーやTabキーなど）

- サフィックスを設定する必要があります。サフィックスを設定すると、スキャナはバーコードデータと必要なキー（CRなど）を出力し、アプリケーションにデータを入力することができます。詳細については、4-1 ページの「[プレフィックス/サフィックスについて](#)」を参照してください。スキャナがバーコードを間違っって読み取っていますか？

スキャナがバーコードを読み取っても、データがホスト画面に正しく表示されない場合は、

-
- スキャナが適切なターミナルインターフェース用に設定されていない可能性があります。
例えば、「12345」を読み取っても、ホストが「@es%」と表示する場合など。

正しいプラグ&プレイバーコードでスキャナを再設定してください。2-1ページからの[インターフェースの設定](#)を参照してください。

- スキャナがバーコードデータを正しく出力するように設定されていない可能性があります。
例えば、「12345」を読み取ってもホストが「A12345B」と表示する場合など。

正しいシンボルを選択してスキャナを再設定してください。これについては[第7章](#)を参照してください。

スキャナがバーコードをまったく読み取らない

1. 本書の後ろにあるサンプルバーコードを読み取ります。スキャナがサンプルバーコードを読み取る場合は、お使いのバーコードが読取可能か確認してください。（[第7章](#)を参照）
2. それでもサンプルバーコードを読み取れない場合は、7-2ページの[All Symbologies On](#)を読み取ってください。

スキャナで設定されているプログラミングオプションが不明の場合、または出荷時初期設定を復元したい場合は、1-6ページの「[初期設定の再設定](#)」のバーコードを読み取ります。

テクニカルサポート

インストールやトラブルシューティングに関するサポートが必要な場合は、次の販売店または最寄りのテクニカルサポートオフィスにご連絡ください。

北アメリカ/カナダ

Telephone: (800) 782-4263
E-mail: hsmnasupport@honeywell.com

ラテンアメリカ

Telephone: (803) 835-8000
Telephone: (800) 782-4263
E-mail: hsmiasupport@honeywell.com

ブラジル

Telephone: +55 (11) 5185-8222
Fax: +55 (11) 5185-8225
E-mail: brsuporte@honeywell.com

メキシコ

Telephone: 01-800-HONEYWELL (01-800-466-3993)
E-mail: soporte.hsm@honeywell.com

ヨーロッパ、中東、アフリカ

Telephone: +31 (0) 40 7999 393
Fax: +31 (0) 40 2425 672
E-mail: hsmeurosupport@honeywell.com

香港

Telephone: +852-29536436
Fax: +852-2511-3557
E-mail: aptechsupport@honeywell.com

シンガポール

Telephone: +65-6842-7155
Fax: +65-6842-7166
E-mail: aptechsupport@honeywell.com

中国

Telephone: +86 800 828 2803
Fax: +86-512-6762-2560
E-mail: aptechsupport@honeywell.com

日本

Telephone: +81-3-6730-7344
Fax: +81-3-6730-7222
E-mail: aptechsupport@honeywell.com

オンラインでのテクニカルサポート

www.honeywellaidc.comからオンラインでのテクニカルサポートがご利用いただけます。

製品のサービスと修理

ハネウェル社は世界中のサービスセンターを通して全製品に対するサービスを提供しています。保証または保証外のサービスを受けられる場合は、返品前に、以下の該当ロケーションに連絡し、RMA (Return Material Authorization) 番号を取得してください。

北アメリカ

Telephone: (800) 782-4263
E-mail: hsmnaservice@honeywell.com

ラテンアメリカ

Telephone: (803) 835-8000
Telephone: (800) 782-4263
Fax: (239) 263-9689
E-mail: laservice@honeywell.com

ブラジル

Telephone: +55 (11) 5185-8222
Fax: +55 (11) 5185-8225
E-mail: brservice@honeywell.com

メキシコ

Telephone: 01-800-HONEYWELL (01-800-466-3993)
Fax: +52 (55) 5531-3672
E-mail: mxservice@honeywell.com

ヨーロッパ、中東、アフリカ

Telephone: +31 (0) 40 2901 633
Fax: +31 (0) 40 2901 631
E-mail: euroservice@honeywell.com

香港

Telephone: +852-29536436
Fax: +852-2511-3557
E-mail: apservice@honeywell.com

シンガポール

Telephone: +65-6842-7155
Fax: +65-6842-7166
E-mail: apservice@honeywell.com

中国

Telephone: +86 800 828 2803
Fax: +86-512-6762-2560
E-mail: apservice@honeywell.com

日本

Telephone: +81-3-6730-7344

Fax: +81-3-6730-7222

E-mail: apservice@honeywell.com

オンラインでの製品のサービスと修理

www.honeywellaidc.comより製品のサービスならびに修理に関するオンラインサポートをご利用いただけます。

条件付保証

Honeywell International Inc. (以下ハネウェル社) は、出荷時にはその製品の材料および製造品質に欠陥がなく、お買い上げいただいた製品に適用されるハネウェル社の公式な仕様に適合することを保証いたします。この保証は、以下の場合にはハネウェル社の製品であっても対象外となります。() 設置または使用方法が不適切。() 正しい保守、サービス、および清掃手順に従わなかった場合を含めて事故や不注意で損傷。または() 以下の結果損傷した場合：(A) お客様または第三者が行った変更や改造、(B) インタフェース接続に過大な電圧や電流がかかったり流れたりした。(C) 静電気または静電気放電。(D) 指定の動作パラメータを超える条件で使用した。(E) ハネウェル社または正規代理店以外が行った製品の修理や整備。

この保証期間は、出荷時点から、ご購入時に製品に対してハネウェル社が公式に示した期間(「保証期間」)とします。欠陥品は、点検のために保証期間内にハネウェル社の工場または正規サービスセンターにかならず返却してください。RMA (Return Material Authorization) が無ければ、ハネウェル社はどんな製品も受け付けません。RMA は、ハネウェル社に連絡すれば取得できます。保証期間内にハネウェル社または正規サービスセンターに製品が返却され、材料または製造品質の欠陥によって製品が故障したことを確認した場合、ハネウェル社はその選択によって製品を無償で修理または交換いたします。ただし、ハネウェル社への返却送料はご負担ください。

該当する法律によって規定されている場合を除き、上記の保証は、明示的であっても暗黙のものであっても、また口頭であっても書面であっても限定されることなく、特定の目的に対する商品性や適合のあらゆる暗黙の保証を含む他のあらゆる契約に代わるものです。

この保証によるハネウェル社の賠償責任とお客様が受けられる唯一の補償は、欠陥品の修理または交換に限られます。いかなる場合も、ハネウェル社は、直接的、間接的、あるいは結果的な損害には一切責任を負いません。また、ここでお買い上げいただいた製品に関して生じたハネウェル社の賠償額は(そうした賠償責任が契約、保証、不法行為などに基づく請求によるものであっても関係なく)、その製品のためにハネウェル社にお支払いいただいた実際の金額を限度とします。

これらの賠償責任の限度は、そのような、けが、損失、損害などの可能性についてハネウエル社が知らされていた場合であってもまったく有効です。一部の州、地区、あるいは国などでは、偶発的または結果的な損害の除外または制限を認めていません。その場合、上記の制限または除外がお客様に適用されない場合があります。

この条件付保証項目はすべて区分されており、分離が可能です。つまり、いずれかの条項が無効のまま実施できない場合でも、その決定は他の項目を実施する有効性には関係ありません。ハネウエル社が製造または販売していない周辺装置を使用した場合には、この保証は無効になります。この周辺装置には、ケーブル、電源、クレイドル、およびドッキングステーションが含まれます。ハネウエル社は、これらの保証を製品の最初のエンドユーザにのみ適用します。これらの保証は譲渡できません。

Vuquest 3310スキャナの保証期間は2年です。

シンボルチャート

シンボル	AIM ID	AIM ID モディファイ (<i>m</i>)	コード ID (hex)
<i>All Symbologies</i>			(0x99)
Australian Post]X0		A (0x41)
Aztec Code]zm	0-9, A-C	z (0x7A)
British Post]X0		B (0x42)
Canadian Post]X0		C (0x43)
China Post]X0		Q (0x51)
Chinese Sensible Code (Han Xin Code)]X0		H (0x48)
Codabar]F <i>m</i>	0-1	a (0x61)
Codablock A]O6	0, 1, 4, 5, 6	V (0x56)
Codablock F]O <i>m</i>	0, 1, 4, 5, 6	q (0x71)
Code 11]H3		h (0x68)
Code 128]C <i>m</i>	0, 1, 2, 4	j (0x6A)
GS1-128]C1		l (0x49)
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)]X0		< (0x3C)
Code 39 (supports Full ASCII mode)]A <i>m</i>	0, 1, 3, 4, 5, 7	b (0x62)
Code 49]T <i>m</i>	0, 1, 2, 4	l (0x6C)
Code 93 and 93i]G <i>m</i>	0-9, A-Z, a-m	i (0x69)
Data Matrix]d <i>m</i>	0-6	w (0x77)
EAN-13 (including Bookland EAN)]E0		d (0x64)
EAN-13 with Add-On]E3		d (0x64)
EAN-13 with Extended Coupon Code]E3		d (0x64)
EAN-8]E4		D (0x44)
EAN-8 with Add-On]E3		D (0x44)

シンボル	AIM ID	AIM ID モディファイ (<i>m</i>)	コード ID (hex)
GS1 Composite	<i>jem</i>	0-3	y (0x79)
GS1 DataBar	<i>jem</i>	0	y (0x79)
GS1 DataBar Limited	<i>jem</i>		{ (0x7B)
GS1 DataBar Omnidirectional	<i>jem</i>		y (0x79)
GS1 DataBar Expanded	<i>jem</i>		} (0x7D)
InfoMail	<i>]X0</i>		, (0x2c)
Intelligent Mail Bar Code	<i>]X0</i>		M (0x4D)
Interleaved 2 of 5	<i>]lm</i>	0, 1, 3	e (0x65)
Japanese Post	<i>]X0</i>		J (0x4A)
KIX (Netherlands) Post	<i>]X0</i>		K (0x4B)
Korea Post	<i>]X0</i>		? (0x3F)
Matrix 2 of 5	<i>]X0</i>		m (0x6D)
MaxiCode	<i>]Um</i>	0-3	x (0x7 8)
MicroPDF417	<i>]Lm</i>	3-5	R (0x52)
MSI	<i>]Mm</i>	0	g (0x67)
NEC 2 of 5	<i>]X0</i>		Y (0x59)
OCR MICR (E 13 B)	<i>]o3</i>		O (0x4F)
OCR SEMI Font	<i>]o3</i>		O (0x4F)
OCR-A	<i>]o1</i>		O (0x4F)
OCR-B	<i>]o2</i>		O (0x4F)
PDF417	<i>]Lm</i>	0-2	r (0x72)
Planet Code	<i>]X0</i>		L (0x4C)
Postal-4i	<i>]X0</i>		N (0x4E)
Postnet	<i>]X0</i>		P (0x50)
QR Code and Micro QR Code	<i>]Qm</i>	0-6	s (0x73)
Straight 2 of 5 IATA	<i>]Rm</i>	0, 1, 3	f (0x66)
Straight 2 of 5 Industrial	<i>]S0</i>		f (0x66)
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	<i>]L2</i>		T (0x54)

シンボル	AIM ID	AIM ID モディファイ (<i>m</i>)	コード ID (hex)
Telepen]B <i>m</i>		t (0x54)
UPC-A]E0		c (0x63)
UPC-A with Add-On]E3		c (0x63)
UPC-A with Extended Coupon Code]E3		c (0x63)
UPC-E]E0		E (0x45)
UPC-E with Add-On]E3		E (0x45)
UPC-E1]X0		E (0x45)

注：「*m*」は、AIMモディファイのキャラクタを示します。AIMモディファイキャラクタの詳細については「International Technical Specification」の「Symbology Identifiers」を参照してください。

特定のシンボルに対するプレフィックス/サフィックスの入力は、汎用 (All Symbologies, 99) 入力に優先します。

コードIDとAIM IDの使用方法については、4-1ページからの [データ編集](#) と5-1からの [データフォーマット](#) を参照してください。

ASCII 変換チャート(Code Page 1252)

注：この表は、米国方式のキーボードに適用されます。特定のキャラクタは、国コード/PCの地域設定によって異なる場合があります。

Non-Printable Characters					
DEC	HEX	Character (Code)	DEC	HEX	Character (Code)
0	0	NULL	16	10	DATA LINK ESCAPE (DLE)
1	1	START OF HEADING (SOH)	17	11	DEVICE CONTROL 1 (DC1)
2	2	START OF TEXT (STX)	18	12	DEVICE CONTROL 2 (DC2)
3	3	END OF TEXT (ETX)	19	13	DEVICE CONTROL 3 (DC3)
4	4	END OF TRANSMISSION (EOT)	20	14	DEVICE CONTROL 4 (DC4)
5	5	END OF QUERY (ENQ)	21	15	NEGATIVE ACKNOWLEDGEMENT (NAK)
6	6	ACKNOWLEDGE (ACK)	22	16	SYNCHRONIZE (SYN)
7	7	BEEP (BEL)	23	17	END OF TRANSMISSION BLOCK (ETB)
8	8	BACKSPACE (BS)	24	18	CANCEL (CAN)
9	9	HORIZONTAL TAB (HT)	25	19	END OF MEDIUM (EM)
10	A	LINE FEED (LF)	26	1A	SUBSTITUTE (SUB)
11	B	VERTICAL TAB (VT)	27	1B	ESCAPE (ESC)
12	C	FF (FORM FEED)	28	1C	FILE SEPARATOR (FS) RIGHT ARROW
13	D	CR (CARRIAGE RETURN)	29	1D	GROUP SEPARATOR (GS) LEFT ARROW
14	E	SO (SHIFT OUT)	30	1E	RECORD SEPARATOR (RS) UP ARROW
15	F	SI (SHIFT IN)	31	1F	UNIT SEPARATOR (US) DOWN ARROW

Printable Characters								
DEC	HEX	Character	DEC	HEX	Character	DEC	HEX	Character
32	20	<SPACE>	64	40	@	96	60	`
33	21	!	65	41	A	97	61	a
34	22	"	66	42	B	98	62	b
35	23	#	67	43	C	99	63	c
36	24	\$	68	44	D	100	64	d
37	25	%	69	45	E	101	65	e
38	26	&	70	46	F	102	66	f
39	27	'	71	47	G	103	67	g

Printable Characters (Continued)								
DEC	HEX	Character	DEC	HEX	Character	DEC	HEX	Character
40	28	(72	48	H	104	68	h
41	29)	73	49	I	105	69	i
42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
48	30	0	80	50	P	112	70	p
49	31	1	81	51	Q	113	71	q
50	32	2	82	52	R	114	72	r
51	33	3	83	53	S	115	73	s
52	34	4	84	54	T	116	74	t
53	35	5	85	55	U	117	75	u
54	36	6	86	56	V	118	76	v
55	37	7	87	57	W	119	77	w
56	38	8	88	58	X	120	78	x
57	39	9	89	59	Y	121	79	y
58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z
59	3B	;	91	5B	[123	7B	{
60	3C	<	92	5C	\	124	7C	
61	3D	=	93	5D]	125	7D	}
62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
63	3F	?	95	5F	_	127	7F	

Extended ASCII Characters								
DEC	HEX	Character	DEC	HEX	Character	DEC	HEX	Character
128	80	€	171	AB	«	214	D6	Ö
129	81		172	AC	¬	215	D7	×
130	82	,	173	AD		216	D8	Ø
131	83	f	174	AE	®	217	D9	Ù
132	84	„	175	AF	¯	218	DA	Ú
133	85	…	176	B0	°	219	DB	Û
134	86	†	177	B1	±	220	DC	Ü
135	87	‡	178	B2	²	221	DD	Ý
136	88	^	179	B3	³	222	DE	Þ
137	89	‰	180	B4	´	223	DF	ß
138	8A	Š	181	B5	µ	224	E0	à
139	8B	‹	182	B6	¶	225	E1	á

Extended ASCII Characters (Continued)								
DEC	HEX	Character	DEC	HEX	Character	DEC	HEX	Character
140	8C	Œ	183	B7	·	226	E2	â
141	8D		184	B8	¸	227	E3	ã
142	8E	Ž	185	B9	¹	228	E4	ä
143	8F		186	BA	º	229	E5	å
144	90		187	BB	»	230	E6	æ
145	91	‘	188	BC	¼	231	E7	ç
146	92	’	189	BD	½	232	E8	è
147	93	“	190	BE	¾	233	E9	é
148	94	”	191	BF	¿	234	EA	ê
149	95	•	192	C0	À	235	EB	ë
150	96	–	193	C1	Á	236	EC	ì
151	97	—	194	C2	Â	237	ED	í
152	98	˜	195	C3	Ã	238	EE	î
153	99	™	196	C4	Ä	239	EF	ï
154	9A	š	197	C5	Å	240	F0	ð
155	9B	›	198	C6	Æ	241	F1	ñ
156	9C	œ	199	C7	Ç	242	F2	ò
157	9D		200	C8	È	243	F3	ó
158	9E	ž	201	C9	É	244	F4	ô
159	9F	ÿ	202	CA	Ê	245	F5	õ
160	A0		203	CB	Ë	246	F6	ö
161	A1	ı	204	CC	Ì	247	F7	÷
162	A2	ç	205	CD	Í	248	F8	ø
163	A3	£	206	CE	Î	249	F9	ù
164	A4	¤	207	CF	Ï	250	FA	ú
165	A5	¥	208	D0	Ð	251	FB	û
166	A6	¦	209	D1	Ñ	252	FC	ü
167	A7	§	210	D2	Ò	253	FD	ý
168	A8	¨	211	D3	Ó	254	FE	þ
169	A9	©	212	D4	Ô	255	FF	ÿ
170	AA	ª	213	D5	Õ			

印刷バーコードのコードページマッピング

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割り当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。

その場合は、バーコードが作成された時のコードページを選択してください。これでデータキャラクタが正しく表示されるはずですが。

コードページ	標準	内容
1	CP ISO646	
2 (初期設定)	ISO 2022	自動置換キャラクタ
3	CP Binary	
51	ISO 8859 1 51	西ヨーロッパ 置換キャラクタ
82	ISO 2022 11 Swe	スウェーデン置換キャラクタ
83	ISO 2022 69 Fra	フランス/ベルギー 置換キャラクタ
81	ISO 2022 25 Fra	フランス/ベルギー 置換キャラクタ
84	ISO 2022 11 Ger	ドイツ置換キャラクタ
85	ISO 2022 11 Ita	イタリア置換キャラクタ
86	ISO 2022 11 Swi	スイス置換キャラクタ
87	ISO 2022 11 UK	イギリス置換キャラクタ
88	ISO 2022 11 Dan	デンマーク置換キャラクタ
89	ISO 2022 11 Nor	ノルウェー置換キャラクタ
90	ISO 2022 11 Spa	スペイン置換キャラクタ
91	ISO 2022 85	スペイン置換キャラクタ
92	ISO 2022 16	ポルトガル置換キャラクタ
93	ISO 2022 84	ポルトガル置換キャラクタ
94	ISO 2022 60	ノルウェー置換キャラクタ

ユニコードキーマップ

6E	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E					
01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0F	4B	50	55	5A	5F	64	69
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	1A	1B	1C	1D	4C	51	56	5B	60	65	6A
1E	1F	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2B				5C	61	66		
2C	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	39	53	5D	62	67	6C				
3A	3B	3C			3D				3E	3F	38	40	4F	54	59	63	68			

104 Key U.S. スタイルキーボード

6E	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E					
01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0F	4B	50	55	5A	5F	64	69
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	1A	1B	1C	2B	4C	51	56	5B	60	65	6A
1E	1F	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A				5C	61	66		
2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	39	53	5D	62	67	6C			
3A	3B	3C			3D				3E	3F	38	40	4F	54	59	63	68			

105 Key European スタイルキーボード

サンプルシンボル

UPC-A



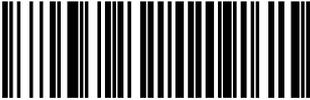
0 123456 7890

Interleaved 2 of 5



1234567890

Code 128



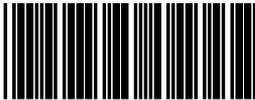
Code 128

EAN-13



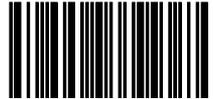
9 780330 290951

Code 39



BC321

Codabar



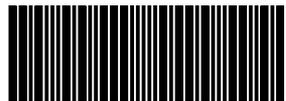
A13579B

Code 93



123456-9\$

Straight 2 of 5 Industrial



123456

サンプルシンボル

Matrix 2 of 5



6543210

GS1 DataBar



(01)00123456789012

PDF417



Car Registration

Postnet



Zip Code

Data Matrix



Test Symbol

QR Code



Numbers

4-CB (4-State Customer Bar Code)



01,234,567094,987654321,01234567891

ID-tag (UPU 4-State)



J18CUSA8E6N062315014880T

サンプルシンボル

Aztec



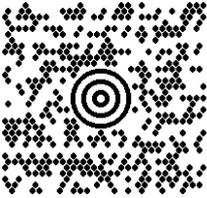
Package Label

Micro PDF417



Test Message

MaxiCode



Test Message

プログラミングチャート



K0K

0



K2K

2



K4K

4



K6K

6



K8K

8



K1K

1



K3K

3



K5K

5



K7K

7



K9K

9

プログラミングチャート



KAK
A



KBK
B



KCK
C



KDK
D



KEK
E



KFK
F



MNUSAV.
Save



MNUABT.
Discard



RESET_
Reset

注：文字または数字（Saveを読み取る前に）をスキャンしエラーした場合は Discardを読み取り、正確に文字または数字をもう一度スキャンして、Saveを読み取ってください。

Honeywell Scanning & Mobility

9680 Old Bailes Road
Fort Mill, SC 29707

www.honeywellaidc.com